

(様式第10)

千大院サ124号

令和4年10月4日

厚生労働大臣

殿

開設者名

国立大学法人千葉大学長

中山俊憲

千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
氏名	国立大学法人千葉大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

千葉大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻1-8-1
電話 (043) 222-7171

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
「神経内科」→「脳神経内科」にて診療 「内分泌内科」、「代謝内科」→「糖尿病・代謝・内分泌・老年内科」にて診療							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
「消化器外科」→「食道・胃腸外科」、「肝臓・胆のう・膵臓外科」にて診療 「内分泌外科」→「頭頸部耳鼻いんこう科」にて診療							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科		11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	糖尿病・代謝・内分泌・老年内科	2	腫瘍内科	3	食道・胃腸外科	4	肝臓・胆のう・膵臓外科	5	心療内科
6	リハビリテーション科	7	脳神経内科	8	形成外科	9	頭頸部耳鼻いんこう科	10	病理診断科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45	5	0	0	800	850

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	255	659	702.1
歯科医師	9	26	30.6
薬剤師	60	28	84.4
保健師	0	1	0.6
助産師	44	0	44.0
看護師	961	29	982.6
准看護師	0	1	1.0
歯科衛生士	1	2	3.0
管理栄養士	7	7	13.7

職種	員数
看護補助者	73
理学療法士	25
作業療法士	12
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	23
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	54

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	85
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	4	
医療社会事業従事者	18	
その他の技術員	153	
事務職員	367	
その他の職員	6	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	83	眼科専門医	11
外科専門医	71	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	14	放射線科専門医	26
小児科専門医	17	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	20	救急科専門医	15
		合計	349

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (横手 幸太郎)

任年月日 令和 2 年 4 月 1 日

令和2年4月1日就任前
 ・医療の質・安全管理委員会委員 (平成23年4月1日～平成26年3月31日、平成29年4月1日～令和2年3月31日)
 令和2年4月1日就任後
 ・医療の質・安全管理委員会委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	582 人	8 人	590 人
1日当たり平均外来患者数	1982 人	91 人	2072 人
1日当たり平均調剤数	入院：963 外来：33		剤
必要医師数	172		人
必要歯科医師数	6		人
必要薬剤師数	20		人
必要(准)看護師数	366		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	642.22 m ²	鉄筋コンクリート	26 床 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	有 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	507 m ²	病床数	42 床	
	[移動式の場合]	台数	2 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	85.71 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	403 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体搬送システム、生化学用自動分析装置、化学発光法測定装置、酵素免疫法測定装置、血液ガス分析装置、HbA1c分析装置、赤血球沈降速度分析装置、電気泳動分析装置、超低温保冷庫(ディープフリー		
細菌検査室	80 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	細菌同定・薬剤感受性分析装置、抗酸菌培養検査装置、自動染色装置、血液培養自動分析装置、細菌同定用質量分析装置、顕微鏡(蛍光を含む)、安全キャビネット		
病理検査室	961 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動包埋装置、組織切片薄切装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片薄切装置、パラフィン包埋機等		
病理解剖室	74 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、切出台、固定槽、撮影装置		
研究室	718 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、近赤外光イメージング装置、脳波計等		
講義室	736.01 m ²	鉄筋コンクリート	室数	4 室	収容定員	504 人
図書室	135 m ²	鉄筋コンクリート	室数	4 室	蔵書数	17150 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	84.7	%	逆紹介率	114.1	%
算出根拠	A: 紹介患者の数			18137	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			28671	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			3154	人
	D: 初診の患者の数			25126	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
宮坂 信之	東京医科歯科大学名誉教授	○	医療安全識見者かつ病院管理経験者	無	1
花輪 正明	塩野義製薬株式会社薬事部長		臨床研究識見者	無	3
藤原 康弘	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事長		臨床研究識見者	無	3
東宮 秀夫	一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事・研修事業本部長		臨床研究識見者	無	3
山崎 晋一郎	千葉県病院事業管理者		医療安全識見者かつ病院管理経験者	無	3
宗像 令夫	独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部 千葉大亥鼻イノベーションプラザチーフインキュベーションマネージャー		臨床研究識見者	無	3
中谷 晴昭	千葉大学理事		医療及び臨床研究に関する学識経験者	有	3
後藤 弘子	千葉大学大学院社会科学研究院教授		法律学専門家	有	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本学ホームページ及び本院ホームページにて、設置規程及び委員名簿（選定理由についても記載有）、監査結果報告書を掲載している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

その他の高度医療の種類の数	
取扱い患者数の合計（人）	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	29	51	拘束型心筋症	2
2	筋萎縮性側索硬化症	32	52	再生不良性貧血	58
3	脊髄性筋萎縮症	5	53	自己免疫性溶血性貧血	15
4	原発性側索硬化症	2	54	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
5	進行性核上性麻痺	7	55	特発性血小板減少性紫斑病	120
6	パーキンソン病	334	56	血栓性血小板減少性紫斑病	2
7	大脳皮質基底核変性症	10	57	原発性免疫不全症候群	36
8	ハンチントン病	3	58	IgA 腎症	63
9	シャルコー・マリー・トゥース病	28	59	多発性嚢胞腎	52
10	重症筋無力症	418	60	黄色靭帯骨化症	31
11	多発性硬化症/視神経脊髄炎	381	61	後縦靭帯骨化症	218
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	94	62	特発性大腿骨頭壊死症	36
13	封入体筋炎	9	63	下垂体性ADH分泌異常症	31
14	クロウ・深瀬症候群	60	64	下垂体性TSH分泌亢進症	6
15	多系統萎縮症	44	65	下垂体性PRL分泌亢進症	55
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	119	66	クッシング病	24
17	ライソゾーム病	6	67	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	30
18	副腎白質ジストロフィー	2	68	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	84
19	ミトコンドリア病	16	69	下垂体前葉機能低下症	125
20	もやもや病	64	70	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
21	プリオン病	4	71	先天性副腎皮質酵素欠損症	14
22	HTLV-1関連脊髄症	1	72	先天性副腎低形成症	1
23	特発性基底核石灰化症	7	73	アジソン病	3
24	全身性アミロイドーシス	9	74	サルコイドーシス	347
25	遠位型ミオパチー	1	75	特発性間質性肺炎	86
26	神経線維腫症	60	76	肺動脈性肺高血圧症	135
27	天疱瘡	58	77	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	78
28	表皮水疱症	2	78	リンパ脈管筋腫症	9
29	膿疱性乾癬(汎発型)	24	79	網膜色素変性症	537
30	スティーヴンス・ジョンソン症候群	8	80	バッド・キアリ症候群	3
31	中毒性表皮壊死症	2	81	特発性門脈圧亢進症	3
32	高安静脈炎	55	82	原発性胆汁性肝硬変	122
33	巨細胞性動脈炎	28	83	原発性硬化性胆管炎	31
34	結節性多発動脈炎	18	84	自己免疫性肝炎	92
35	顕微鏡的多発血管炎	69	85	クローン病	230
36	多発血管炎性肉芽腫症	21	86	潰瘍性大腸炎	451
37	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	29	87	好酸球性消化管疾患	34
38	悪性関節リウマチ	38	88	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
39	バージャー病	11	89	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
40	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	90	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
41	全身性エリテマトーデス	473	91	クリオピリン関連周期熱症候群	3
42	皮膚筋炎/多発性筋炎	182	92	全身型若年性特発性関節炎	14
43	全身性強皮症	126	93	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
44	混合性結合組織病	59	94	先天性ミオパチー	9
45	シェーグレン症候群	265	95	筋ジストロフィー	72
46	成人スチル病	18	96	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	4
47	再発性多発軟骨炎	9	97	遺伝性周期性四肢麻痺	1
48	ベーチェット病	184	98	脊髄空洞症	47
49	特発性拡張型心筋症	82	99	脊髄髄膜瘤	2
50	肥大型心筋症	142	100	遺伝性ジストニア	3

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
101	脳表ヘモジリン沈着症	4	151	副甲状腺機能低下症	13
102	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	152	偽性副甲状腺機能低下症	7
103	前頭側頭葉変性症	10	153	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	5
104	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1	154	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	9
105	痙攣重積型（二相性）急性脳症	3	155	脂肪萎縮症	1
106	片側巨脳症	1	156	家族性地中海熱	23
107	限局性皮質異形成	1	157	慢性再発性多発性骨髄炎	1
108	神経細胞移動異常症	4	158	強直性脊椎炎	21
109	ドラベ症候群	1	159	骨形成不全症	4
110	海馬硬化を伴う内側頭葉てんかん	3	160	軟骨無形成症	6
111	ウエスト症候群	11	161	リンパ管腫症/ゴーム病	2
112	レット症候群	3	162	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	1
113	スタージ・ウェーバー症候群	8	163	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	2
114	結節性硬化症	24	164	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	6
115	色素性乾皮症	2	165	後天性赤芽球癆	1
116	先天性魚鱗癬	5	166	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	3
117	家族性良性慢性天疱瘡	3	167	遺伝性鉄芽球性貧血	2
118	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	101	168	自己免疫性出血病XIII	3
119	特発性後天性全身性無汗症	20	169	クローンカイト・カナダ症候群	3
120	眼皮膚白皮症	1	170	ヒルシュスプリング病（全結腸型又は小腸型）	1
121	肥厚性皮膚骨膜炎	1	171	総排泄腔外反症	1
122	弾性線維性仮性黄色腫	4	172	総排泄腔遺残	4
123	マルファン症候群	27	173	先天性横隔膜ヘルニア	26
124	エーラス・ダンロス症候群	9	174	乳幼児肝巨大血管腫	1
125	ウィルソン病	1	175	胆道閉鎖症	18
126	VATER症候群	1	176	アラジール症候群	1
127	有馬症候群	1	177	I g G 4 関連疾患	112
128	クルーゾン症候群	14	178	黄斑ジストロフィー	15
129	アペール症候群	6	179	レーベル遺伝性視神経症	1
130	ファイファー症候群	4	180	好酸球形副鼻腔炎	9
131	アントレー・ビクスラー症候群	1	181	進行性ミオクロームステんかん	3
132	無脾症候群	1	182	シトリン欠損症	1
133	ウェルナー症候群	15	183	遺伝性自己炎症疾患	3
134	コケイン症候群	1	184	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	1
135	5p欠失症候群	1	185	無虹彩症	1
136	アンジェルマン症候群	2			
137	修正大血管転位症	2			
138	単心室症	2			
139	左心低形成症候群	1			
140	ファロー四徴症	5			
141	両大血管右室起始症	2			
142	アルポート症候群	1			
143	急速進行性糸球体腎炎	16			
144	抗糸球体基底膜腎炎	3			
145	一次性ネフローゼ症候群	32			
146	紫斑病性腎炎	3			
147	オスラー病	41			
148	閉塞性細気管支炎	7			
149	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	5			
150	肺胞低換気症候群	2			

（注） 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	185
合計患者数（人）	7705

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・感染対策向上加算 1 ・指導強化加算
・歯科外来診療環境体制加算 2	・患者サポート体制充実加算
・歯科診療特別対応連携加算	・重症患者初期支援充実加算
・特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1入院基本料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・特定機能病院入院基本料 精神病棟 7対1入院基本料	・ハイリスク妊娠管理加算
・救急医療管理加算	・ハイリスク分娩管理加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算 1
・診療録管理体制加算 2	・病棟薬剤業務実施加算 1
・医師事務作業補助体制加算 2（15対1）	・病棟薬剤業務実施加算 2
・25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上） ・夜間100対1急性期看護補助体制加算 ・夜間看護体制加算	・データ提出加算 2（イ）
・看護職員夜間12対1配置加算 1	・入退院支援加算 1 ・入退院支援加算 3 ・入院時支援加算 ・総合機能評価加算
・療養環境加算	・精神疾患診療体制加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神科急性期医師配置加算 2
・無菌治療室管理加算 1	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算 2	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料 3 ・算定上限日数に関する基準 ・精神疾患診断治療初回加算（イを算定する場合に限る。） ・救急体制充実加算 2 ・救命救急入院料 小児加算 ・早期離床・リハビリテーション加算
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料 1 ・算定上限日数に関する基準 ・特定集中治療室管理料 小児加算 ・早期離床・リハビリテーション加算 ・早期栄養介入管理加算
・精神科リエゾンチーム加算	・ハイケアユニット入院医療管理料 1 ・早期離床・リハビリテーション加算
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 1 母体・胎児集中治療室管理料 2 新生児集中治療室管理料
・医療安全対策加算 1	・新生児治療回復室入院医療管理料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等 (基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・小児入院医療管理料 1 ・小児入院医療管理料 注2の加算(プレイルーム加算) ・無菌治療管理加算 2 ・養育支援体制加算	
施設基準を満たしていれば届出の必要がない項目	
電子的保健医療情報活用加算	
臨床研修病院入院診療加算 (歯科診療以外)	
臨床研修病院入院診療加算 (歯科診療に限る)	
妊産婦緊急搬送入院加算	
個別栄養食事管理加算	
がん拠点病院加算 1 (イ)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料 注2の加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・外来栄養食事指導料の注2	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ロ	・精神科退院時共同指導料2
・がん患者指導管理料ハ	・禁煙治療補助システム指導管理加算
・がん患者指導管理料ニ	・歯科治療時医療管理料
・外来緩和ケア管理料	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・移植後患者指導管理料 1. 臓器移植後の場合	・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料
・移植後患者指導管理料 2. 造血幹細胞移植後の場合	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合） ・皮下連続式グルコース測定
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝学的検査
・一般不妊治療管理料	・染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査
・生殖補助医療管理料1	・骨髄微小残存病変量測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・BRCA1/2遺伝子検査
・二次性骨折予防継続管理料3	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来放射線照射診療料	・先天性代謝異常症検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体
・連携充実加算	・抗HLA抗体（スクリーニング検査） ・抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
・ニコチン依存症管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
・こころの連携指導料（Ⅱ）	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・がん治療連携計画策定料	・検体検査管理加算（Ⅰ）

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・検体検査管理加算（IV）	・CT撮影及びMRI撮影
・国際標準検査管理加算	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・心臓MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・乳房MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・時間内歩行試験 ・シャトルウォーキングテスト	・外来化学療法加算1
・胎児心エコー法	・無菌製剤処理料
・ヘッドアップティルト試験	・心大血管疾患リハビリテーション料（I） ・心大血管疾患リハビリテーション料 初期加算
・人工臓器検査 ・人工臓器療法	・脳血管疾患等リハビリテーション料（I） ・脳血管疾患等リハビリテーション料 初期加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・運動器リハビリテーション料（I） ・運動器リハビリテーション料 初期加算
・終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）	・呼吸器リハビリテーション料（I） ・呼吸器リハビリテーション料 初期加算
・脳波検査判断料1	・がん患者リハビリテーション料
・単線維筋電図	・歯科口腔リハビリテーション料2
・神経学的検査	・療養生活環境整備指導加算
・黄斑局所網膜電図	・療養生活継続支援加算
・全視野精密網膜電図	・救急患者精神科継続支援料
・コンタクトレンズ検査料1	・認知療法・認知行動療法1
・小児食物アレルギー負荷検査	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
・内服・点滴誘発試験	・医療保護入院等診療料
・前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）	・処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1
・CT透視下気管支鏡検査加算	・静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
・経気管支凍結生検法	・硬膜外自家血注入
・精密触覚機能検査	・エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）
・画像診断管理加算1	・エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）
・遠隔画像診断	・人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）
・ポジトロン断層撮影	・導入期加算1
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・透析液水質確保加算 ・慢性維持透析濾過加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等 (特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・緑内障手術 (濾過胞再建術 (needle 法))
・磁気による膀胱等刺激法	・網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)
・口腔粘膜処置	・網膜再建術
・手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型 (拡大副鼻腔手術) 及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・センチネルリンパ節加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・皮膚移植術 (死体)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・組織拡張器による再建手術 (一連につき) (乳房 (再建手術) の場合に限る)	・喉頭形成手術 (甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・骨移植術 (軟骨移植術を含む) (同種骨移植 (非生体) (同種骨移植 (特殊なものに限る)))	・上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る)
・骨移植術 (軟骨移植を含む) (自家培養軟骨移植術に限る)	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術
・後縦靭帯骨化症手術 (前方進入によるもの)	・乳房切除術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・椎間板内酵素注入療法	・センチネルリンパ節生検 (併用法) ・乳がんセンチネルリンパ節加算 1
・腫瘍脊椎骨全摘術	・センチネルリンパ節生検 (単独法) ・乳がんセンチネルリンパ節加算 2
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・乳腺悪性腫瘍手術 (乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴わないもの) 及び乳輪温存乳房切除術 (腋窩郭清を伴うもの))
・内視鏡下脳腫瘍生検術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)
・内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・頭蓋骨形成手術 (骨移動を伴うものに限る)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・肺悪性腫瘍手術 (壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの))
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合に限る。)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)
・緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び (水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・同種死体肺移植術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体部分肺移植術	・補助人工心臓
・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、 ・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、 ・胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、 ・腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	・植込型補助人工心臓（非拍動流型）
・内視鏡下筋層切開術	・同種心移植術
・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） （高速回転式アテレクトミーカテーテルによるもの） （エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの）	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
・経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
・経皮的僧帽弁クリップ術	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・不整脈手術（左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）に限る。）	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）に限る。）	・腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・経皮的中隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）
・ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）	・腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）	・胃瘻造設術
・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	・体外衝撃波胆石破碎術
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・腹腔鏡下肝切除術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
・同種死体肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・体外衝撃波腎石破碎術	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・子宮附属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術に限る。）
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・体外式膜型人工肺管理料
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・輸血管理料 I
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・コーディネート体制充実加算
・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法	・自己生体組織接着剤作成術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・自己クリオプレシビレート作製術（用手法）
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・同種クリオプレシビレート作製術
・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・同種死体腎移植術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・生体腎移植術	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る）（歯科診療に係るものに限る）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る）（歯科診療に係るものに限る）
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）	・顎関節人工関節全置換術（歯科）
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・レーザー機器加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・麻酔管理料（Ⅰ）
・膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外） ・埋没陰茎手術 ・陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）	・麻酔管理料（Ⅱ）
・精巣内精子採取術	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・高エネルギー放射線治療

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・1回線量増加加算（全乳房照射）	・遺伝子相同組換え修復欠損検査
・強度変調放射線治療（IMRT）	・染色体構造変異解析
・1回線量増加加算（前立腺照射）	・Y染色体微小欠失検査
・画像誘導放射線治療加算（IGRT）	・デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性
・体外照射呼吸性移動対策加算	・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出
・定位放射線治療	・クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出1
・定位放射線治療呼吸移動対策加算（その他のもの）	・遠隔連携遺伝カウンセリング
・画像誘導密封小線源治療加算	・植込型心電図検査
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・大腸CT撮影加算
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・廃用症候群リハビリテーション料（I）
・保険医療機関間の連携による病理診断	・児童思春期精神科専門管理加算
・デジタル病理画像による病理診断	・耳鼻咽喉科小児抗菌薬適正使用支援加算
・病理診断管理加算2	・一酸化窒素吸入療法（新生児の低酸素性呼吸困難に対して実施するものに限る。）
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・経皮的冠動脈形成術
・口腔病理診断管理加算2	・経皮的冠動脈ステント留置術
	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
施設基準を満たしていれば届出の必要がない項目	・経皮的冠動脈遮断術
・心臓ペースメーカー指導管理料（植込型除細動器移行期加算）	・ダメージコントロール手術
・高度難聴指導管理料	・人工授精
・アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料	・胚移植術
・外来リハビリテーション診療料	・採卵術
・がん治療連携管理料	・体外受精・顕微授精管理料
・認知症専門診断管理料	・受精卵・胚培養管理料
・連携強化診療情報提供料	・胚凍結保存管理料
・がんゲノムプロファイリング評価提供料	
・横隔神経電気刺激装置加算	手術件数の院内掲示が必要な手術（通則5,6区分1）
・造血器腫瘍遺伝子検査	・頭蓋内腫瘍摘出術等

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・黄斑下手術等	手術件数の院内掲示が必要な手術（通則5,6 その他の区分）
・鼓室形成手術等	・人工関節置換術
・肺悪性腫瘍手術等	・乳児外科対象手術
・経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	・冠動脈及び大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術
手術件数の院内掲示が必要な手術（通則5,6 区分2）	・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術
・靭帯断裂形成手術等	
・水頭症手術等	
・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	
・尿道形成手術等	
・角膜移植術	
・肝切除術等	
・子宮附属器悪性腫瘍手術等	
手術件数の院内掲示が必要な手術（通則5,6 区分3）	
・上顎骨形成術等	
・上顎骨悪性腫瘍手術等	
・バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	
・母指化手術等	
・内反足手術等	
・食道切除再建術等	
・同種腎移植術等	
手術件数の院内掲示が必要な手術（通則5,6 区分4）	
・胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術（通則4に掲げる手術を除く）	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 遺伝子パネル検査	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検症例検討会：年間約15回 臨床症例検討会：年間約170回	
剖検の状況	剖検症例数(例)	25
	剖検率(%)	5.8

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
拡張現実技術を用いた新方式聴診シミュレータにより最も効果的な医学教育手法の確立	藤本 善英	循環器内科	330,000	補委	文部科学省
植込型VAD装着後の運動耐容能低下に関する器質的・血行動態学的・分子生物学的解析	岩花 東吾	循環器内科	780,000	補委	文部科学省
房室結節リエントリー性頻拍の不整脈器質の解析	中野 正博	循環器内科	2,730,000	補委	文部科学省
植え込み型除細動器の遠隔モニタリングに記録される心房細動は脳梗塞の予測因子か？	仲野 美代	循環器内科	1,560,000	補委	文部科学省
難治性心血管疾患におけるマルチオミクス解析による病態解明と精密医療	小林 欣夫 (研究分担者)	循環器内科	325,000	補委	日本医療研究開発機構
中性脂肪蓄積心筋血管症の診療に直結するエビデンス創出研究	宮内 秀行 (研究分担者)	循環器内科	130,000	補委	日本医療研究開発機構
拡張現実聴診教育システムの改良と教育効果検証	小林 欣夫	循環器内科	300,000	補委	(公財)医学教育振興財団
プリン代謝におけるキサンチン酸化還元酵素に注目した虚血性心疾患患者における冠動脈プラーク形成メカニズムの解明	齋藤 佑一	循環器内科	300,000	補委	(公財)痛風・尿酸財団
ペースメーカーに記録される心房細動は脳卒中の予測因子となり得るのか？	近藤 祐介	循環器内科	400,000	補委	(公財)ちば県民保健予防財団
日本人の非弁膜症性心房細動症例における経皮的左心耳閉鎖術後の予後を検討する研究	近藤 祐介	循環器内科	700,000	補委	(公財)ちば県民保健予防財団
培養担子菌抽出物の放射線防護効果の解析と放射線治療に伴う障害軽減の検討	宇野 隆	放射線科	910,000	補委	日本学術振興会
画像と病理の対比に基づいた唾液腺腫瘍の包括的診断フロー構築	堀越 琢郎	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
子宮頸癌に対するRadiomicsを応用した新規IGBT法の開発	渡辺 未歩	放射線科	910,000	補委	日本学術振興会
食道癌における包括的ゲノム情報と画像情報の融合: Radiogenomicsの実践	横田 元	放射線科	780,000	補委	日本学術振興会
画像特微量を用いた肺癌のPD-L1発現推定と免疫チェックポイント阻害薬の効果予測	西山 晃	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
子宮頸癌のMR-only simulationを旨とした合成CTの新規開発	黒川 茉莉絵	放射線科	2,470,000	補委	日本学術振興会
形態画像と数値流体解析の統合による大動脈瘤の解析手法の確立と増大予測モデルの構築	窪田 吉紘	放射線科	1,430,000	補委	日本学術振興会
CT新技術と正確な線量評価法の開発による新たな小児被ばく低減指標および手法の確立	服部 真也	放射線科	3,120,000	補委	日本学術振興会
MRIによる多角的血流情報を用いた卵巣腫瘍悪性リスク・組織型予測システムの構築	高田 章代	放射線科	910,000	補委	日本学術振興会
SNPsの違いによるパーキンソン病の脳形態学的評価	大平 健司	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺動静脈奇形の数値流体解ならび4D-flow MRIにおける血流動態解析	阿久津 陽	放射線科	1,030,000	補委	日本学術振興会
川崎病性冠動脈瘤に対する新しい血管壁MRIイメージング手法の開発	松本 浩史	放射線部	2,340,000	補委	日本学術振興会
Radiomics技術とMR-Linacの多種MRIを応用した予後予測法の開発	阿部 幸太	放射線科	1,300,000	補委	日本学術振興会
AIとRadiogenomicsを応用した治療薬選択における癌不均等性の克服	横田 元	放射線科	50,000	補委	日本学術振興会
がん治療における緩和的放射線治療の評価と普及啓発のための研究	渡辺 未歩	放射線科	1,200,000	補委	厚生労働省
放射線治療の提供体制構築に資する研究	宇野 隆	放射線科	300,000	補委	厚生労働省
子宮頸癌IB期-II B期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法第III相ランダム化比較試験	渡辺 未歩	放射線科	50,000	補委	日本医療研究開発機構
慢性腰痛に対するケアアプリとロボットスーツを用いた治療法の開発	江口 和	整形外科	700,000	補委	大和証券ヘルス財団
慢性腰痛に対するケアアプリとロボットスーツを用いた治療法の開発	江口 和	整形外科	900,000	補委	日本損害保険協会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
腰痛患者のアクティブサポートを目的とした生体情報リアルタイム計測スマートコルセットの開発	折田 純久	整形外科	2,000,000	(補委) 公益財団法人カインズデジタルイノベーション財団
AI組込型情報提示システムを導入した低侵襲脊椎手術支援システムの開発	折田 純久	整形外科	2,600,000	(補委) 日本学術振興会
骨癒合促進特化型ユニバーサルiPS血小板製剤の開発	大鳥 精司	整形外科	13,000,000	(補委) 日本学術振興会
令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	大鳥 精司	整形外科	200,000	(補委) 厚労省
令和3年度慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業費補助金	大鳥 精司	整形外科	3,000,000	(補委) 厚労省
令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	稲毛 一秀	整形外科	200,000	(補委) 厚労省
患者レジストリを利活用した脊柱靭帯骨化症の治療成績向上のための多施設臨床研究	古矢 丈雄	整形外科	780,000	(補委) 東京医科歯科大学
Deep learning-based radiomics can predict the neurological prognosis of acute cervical spinal cord injury	牧 聡	整形外科	123,230	(補委) AO SPINE
がん患者における運動機能と移動機能に関する調査研究	古矢 丈雄	整形外科	400,000	(補委) ちば県民保健予防財団
外傷性頸部症候群における頸椎カラー固定の有効性に関する検討	古矢 丈雄	整形外科	1,000,000	(補委) JA共済
がん診療における運動器管理指針の基盤確立を目指す臨床研究	古矢 丈雄	整形外科	500,000	(補委) 帝京大学
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	古矢 丈雄	整形外科	250,000	(補委) 筑波大学
非骨傷性頸髄損傷の病態解明	古矢 丈雄	整形外科	2,340,000	(補委) 日本学術振興会
「AI(Radiomics)を用いた整形外科疾患の機能予後予測」に関する研究	牧 聡	整形外科	3,000,000	(補委) 日本整形外科学会
AI(Radiomics)を用いた整形外科疾患の機能予後予測	牧 聡	整形外科	1,820,000	(補委) 日本学術振興会
腱板断裂症性関節症に対する手術の現在と未来	落合 信靖	整形外科	1,000,000	(補委) ジンマーバイオメット社(共同研究)
「小卵胞内卵子成熟」理論に基づく難治性PCOSの新治療開発	生水 真紀夫	婦人科・周産期母性科	700,000	(補委) 日本学術振興会
子宮体癌の代謝プロファイル異常の解明と治療への応用	三橋 暁	婦人科・周産期母性科	600,000	(補委) 日本学術振興会
母子ペアゲノム配列情報に基づく非自己バリエーションの妊娠アウトカムに対する意義	碓井 宏和	婦人科・周産期母性科	3,200,000	(補委) 日本学術振興会
ファルマコゲノミクスによる妊婦ミネルコルチコイド合成経路と血圧調節作用の解明	中田 恵美里	婦人科・周産期母性科	2,000,000	(補委) 日本学術振興会
血流豊富な妊娠組織遺残を維持する分子機構の分泌性蛋白質スクリーニングによる探索	佐藤 明日香	婦人科・周産期母性科	280,000	(補委) 日本学術振興会
進行卵巣癌患者血中・腹水中エクソソーム関連分子による抗がん薬効果予測モデルの構築	植原 貴史	婦人科・周産期母性科	780,000	(補委) 日本学術振興会
子宮腺筋症に対する選択的プロゲステロン受容体調節薬の有効性の検討	齊藤 佳子	婦人科・周産期母性科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
子宮内膜癌における長鎖非コードRNA H19を介した発がんメカニズムの解明	金子 明夏	婦人科・周産期母性科	1,900,000	(補委) 日本学術振興会
プロラクチン受容体解析とエクソソーム解析による母乳分泌不全の原因解明	小林 達也	婦人科・周産期母性科	900,000	(補委) 日本学術振興会
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究	忍足 俊幸	眼科	200,000	(補委) 厚生労働省
高血糖モデルにおける眼軸長延長抑制	馬場 隆之	眼科	800,000	(補委) 文部科学省
サイトメガロウイルスのマウス眼における線維柱帯構造変化	清水 大輔	眼科	1,400,000	(補委) 文部科学省
POEMS症候群治療における眼所見と全身症状の関係に関する研究	岩瀬 雄仁	眼科	400,000	(補委) 文部科学省
高濃度血管皮増殖因子ヒト脈絡膜モデルを用いたバキコロイドの病態解明	横内 裕敬	眼科	1,000,000	(補委) エイムオー・ジャパン株式会社

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗PD-1抗体治療の効果を示す直接的バイオマーカーの検索	猪爪 隆史	皮膚科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
鼻副鼻腔原発の粘膜型悪性黒色腫の免疫ゲノム解析および重粒子線の影響解明	猪爪 隆史	皮膚科	200,000	補委 文部科学省科学研究費
悪性黒色腫の腫瘍特異的疲弊T細胞に発現する新規接着因子の機能解析と臨床応用	猪爪 隆史	皮膚科	100,000	補委 文部科学省科学研究費
エピゲノム情報に注目した悪性黒色腫の新しい治療標的分子の解明	山本 洋輔	皮膚科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
大規模レセプトデータ(NDB)を活用した皮膚感染症の治療実態に関する疫学研究	宮地 秀明	皮膚科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
オルガノイド技術を応用した露光部皮膚癌に対する免疫反応を評価するシステムの確立	猪爪 隆史	皮膚科	500,000	補委 加齢皮膚医学研究基金
アンドロゲン受容体ならびにエピゲノム修飾を標的とした去勢抵抗性前立腺癌の克服	市川 智彦	泌尿器科	4,300,000	補委 日本学術振興会
リキッドバイオプシーを応用したアミノ酸トランスポーター前立腺癌治療モデル構築	坂本 信一	泌尿器科	1,200,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌AR-V7標的遺伝子の同定を目的とした網羅的エピゲノム解析	今村 有佑	泌尿器科	1,200,000	補委 日本学術振興会
ホルモン治療中の前立腺癌再発を早期に検出可能にするバイオマーカーの開発	竹内 信善	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
網羅的マイクロRNA発現解析による去勢抵抗性前立腺癌・新規治療標的分子の探索	新井 隆之	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
微小環境下の前立腺癌エピゲノム変化に基づく去勢抵抗性獲得機序の解明	金坂 学斗	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌の神経依存的去勢抵抗性増殖のメカニズムの解明	五島 悠介	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌の去勢抵抗性増殖を起こすFAK-YAP経路を活性化する新規GPCRの探索	五島 悠介	泌尿器科	900,000	補委 日本学術振興会
HOXC8を標的とした去勢抵抗性前立腺癌の新規治療法の確立	黒住 顕	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
尿路上皮癌治療耐性に関するスーパーエンハンサーの同定とマスター遺伝子の探索	加藤 繭子	泌尿器科	1,400,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌におけるAR依存性を軸としたエピジェネティックな治療抵抗性獲得機構の解明	佐藤 広明	泌尿器科	1,400,000	補委 日本学術振興会
成人ならびに小児における稀少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	市川 智彦	泌尿器科 遺伝子診療部	3,000,000	補委 日本医療研究開発機構
内視鏡外科手術のデータベース構築に資する横断的基盤整備	坂本 信一	泌尿器科	3,905,385	補委 日本医療研究開発機構
NKT細胞免疫系アプローチを用いたアレルギー性鼻炎に対するワクチン療法の開発	米倉 修二	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
下咽頭インピーダンス検査およびLPR動物モデルを用いた咽頭逆流症の病態解明	鈴木 猛司	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
機能性RNAを起点とした治療抵抗性頭頸部扁平上皮癌のドラッグリポジショニング戦略	吉川 直子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補委 日本学術振興会
頭頸部癌患者エクソソーム由来機能性RNA解析に基づく治療抵抗性分子機序の探索	越塚 慶一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	910,000	補委 日本学術振興会
血清エクソソームを用いた口腔癌の再発転移マーカーの探索	木下 崇	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
DNAメチル化異常特性に基づく化学放射線治療効果予測と発癌分子機構の解明	黒川 友哉	耳鼻咽喉・頭頸部外科	650,000	補委 日本学術振興会
唾液腺癌に対するホウ素中性子捕捉療法後のゲノム学的変化の解明	福本 一郎	耳鼻咽喉・頭頸部外科	780,000	補委 日本学術振興会
α-galcerシートとNKT細胞免疫系を用いたアレルギー性鼻炎の新規治療法	栗田 惇也	耳鼻咽喉・頭頸部外科	910,000	補委 日本学術振興会
鼻副鼻腔原発の粘膜型悪性黒色腫の免疫ゲノム解析および重粒子線の影響解明	花澤 豊行	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
IL-21受容体発現Tissue-resident memory T細胞から見る好酸性副鼻腔炎のEndotype	飯沼 智久	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,000,000	補委 一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
遺伝的背景改善による発達障害に対する根治的治療法の基盤技術開発	塩濱 直	小児科	1,500,000	補委 AMED
microRNA病態に基づいたレット症候群の治療薬開発	塩濱 直	小児科	1,000,000	補委 AMED

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
グリア細胞株由来神経栄養因子に基づく治療抵抗性気分障害の病態解明と治療薬の開発	新津 富央	精神神経科 こどものこころ診療部	1,300,000	(補委) 文部科学省科学研究費
将来の妊娠に備えた精神科薬物療法を臨床現場に実装する研究	橋本 佐	精神神経科 こどものこころ診療部	1,000,000	(補委) 文部科学省科学研究費
医療観察法鑑定入院における付添人と医療者との連携方法とその効果検証に関する研究	椎名 明大	精神神経科 こどものこころ診療部	2,210,000	(補委) 文部科学省科学研究費
オキシトシン-GABAバスキュレイに着目した最難治統合失調症の病態解析	金原 信久	精神神経科 こどものこころ診療部	780,000	(補委) 文部科学省科学研究費
患者レジストリを二次利用した潜在的患者ニーズの自動抽出方法の検討	佐々木 剛	精神神経科 こどものこころ診療部	975,000	(補委) 文部科学省科学研究費
高用量抗精神病薬によるグリア損傷および電気けいれん療法によるその修復	小田 靖典	精神神経科 こどものこころ診療部	2,210,000	(補委) 文部科学省科学研究費
統合失調症の自閉症的特性／オキシトシン／バソプレシンに着目した治療反応性の検討	仲田 祐介	精神神経科 こどものこころ診療部	1,690,000	(補委) 文部科学省科学研究費
N-メチル-D-アスパラギン酸受容体作動薬による治療抵抗性統合失調症治療の再検討	木村 大	精神神経科 こどものこころ診療部	1,560,000	(補委) 文部科学省科学研究費
被虐待歴を持つ妊婦のオキシトシン系システムの検討	橋 真澄	精神神経科 こどものこころ診療部	1,430,000	(補委) 文部科学省科学研究費
気分障害患者のライフイベントに関連した心理的苦悩症状のための尺度開発	佐藤 愛子	精神神経科 こどものこころ診療部	1,820,000	(補委) 文部科学省科学研究費
退院後の地域生活を見据えた切れ目ない診療モデルの普及と地域生活支援体制の構築に向けた研究	伊豫 雅臣	精神神経科 こどものこころ診療部	10,140,000	(補委) 厚生労働省科学研究費
地域精神保健医療福祉体制の機能強化を推進する政策研究	椎名 明大 (研究分担者)	精神神経科 こどものこころ診療部	300,000	(補委) 厚生労働省科学研究費
治療抵抗性統合失調症薬の安全性の検証による望ましい普及と体制構築に向けた研究	新津 富央 (研究分担者)	精神神経科 こどものこころ診療部	600,000	(補委) 厚生労働省科学研究費
「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するフルボキサミンの重症化予防効果に関する医師主導治験」の開始に向けた調整・管理に関する研究	新津 富央	精神神経科 こどものこころ診療部	9,983,847	(補委) AMED
令和2年度千葉県子ども心の診療ネットワーク事業	佐々木 剛	精神神経科 こどものこころ診療部	7,800,000	(補委) 千葉県
スーパーエンハンサーを標的とした口腔癌薬剤耐性機構の解明による治療法開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	4,420,000	(補委) 文部科学省
癌関連collagenを標的とした新たな治療抵抗性の克服を目指す日米共同研究	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	5,200,000	(補委) 文部科学省
口腔癌悪性を決定するスーパーエンハンサーによる系統的転写制御機構の解明	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	4,680,000	(補委) 文部科学省
骨石灰化因子Plod2の機能不全がもたらす癌顎骨浸潤・転移機構の解明	坂本 洋右	歯科・顎・口腔外科	1,950,000	(補委) 文部科学省
non coding RNA吸着性環状RNAの癌増殖浸潤転移における役割の解明	笠松 厚志	歯科・顎・口腔外科	5,590,000	(補委) 文部科学省
血小板活性化因子PAFの癌・非癌細胞での細胞増殖作用機構解明と	伊豫田 学	歯科・顎・口腔外科	1,820,000	(補委) 文部科学省
microRNA吸着能を持つ環状RNA搭載エクソソームの開発	吉村 周作	歯科・顎・口腔外科	1,820,000	(補委) 文部科学省
CRISPRスクリーニング法を用いたセツキシマブ耐性分子機構の解明	喜田 晶洋	歯科・顎・口腔外科	2,470,000	(補委) 文部科学省
薬剤誘導性LH2コンディショナルKOマウスを用いた癌進展機構の解明	山本 亜有美	歯科・顎・口腔外科	2,210,000	(補委) 文部科学省
癌特異的吸着機能因子を搭載したエクソソームの開発	馬場 隆緒	歯科・顎・口腔外科	2,080,000	(補委) 文部科学省
口腔癌の抗癌剤耐性を決定するtandem duplicatorの全ゲノム解析	宮本 勲	歯科・顎・口腔外科	2,210,000	(補委) 文部科学省
クロマチンアクセシビリティ解析による口腔癌放射線耐性因子の同定と新規治療法の開発	齋藤 智昭	歯科・顎・口腔外科	1,950,000	(補委) 文部科学省
ヒト唾液腺細胞の機能維持・長期安定培養法に基づく新規自家移植法の開発研究	福嶋 玲雄	歯科・顎・口腔外科	2,210,000	(補委) 文部科学省
全身麻酔中の高炭酸ガス血症維持が術後回復過程と退院時アウトカムに与える影響	磯野 史朗	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
呼吸困難感に対するオピオイドを用いた症状緩和とプロトコール確立	田口 奈津子	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,073,267	(補委) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
マスク人工呼吸中の呼吸時流量制限のメカニズム研究	雨宮 めぐみ	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,117,608	補助委託 日本学術振興会
マスク換気困難のメカニズムの解明とマスク人工呼吸法の改善の研究	雨宮 めぐみ	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,740,170	補助委託 日本学術振興会
小児声門上器具使用時の声門部開通性の時系列評価研究	石橋 克彦	麻酔・疼痛・緩和医療科	286,449	補助委託 日本学術振興会
スガマデクス投与による声門狭窄発生のメカニズム:ランダム化比較試験	石橋 克彦	麻酔・疼痛・緩和医療科	2,110,577	補助委託 日本学術振興会
高流量鼻カニューレ酸素療法による術後上気道閉塞の治療効果の解明	坂口 雄一	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,831,198	補助委託 日本学術振興会
筋弛緩拮抗薬投与後の再クラーレ化危険因子とそのメカニズム解明に関する研究	村松 隆宏	麻酔・疼痛・緩和医療科	2,167,667	補助委託 日本学術振興会
非拘束、非接触ベッドセンサー生体情報モニターの小児術後管理における有用性検討	波照間 友基	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,332,936	補助委託 日本学術振興会
術前経胸壁心臓超音波検査による麻酔導入時低血圧予測及び予防法の確立	多羅尾 健太郎	麻酔・疼痛・緩和医療科	1,500,000	補助委託 日本学術振興会
看護師が成す癌死72時間前の予測に関する非接触非拘束型生体情報モニターによる解析	波照間 友基	麻酔・疼痛・緩和医療科	500,000	補助委託 日本学術振興会
経頭蓋電気刺激による脳神経疾患での姿勢制御異常に対する新規治療開発	樋口 佳則	脳神経外科	500,086	補助委託 日本学術振興会
新プロテオミクス解析から捉える下垂体腫瘍における遺伝子型-表現型連関の解明	堀口 健太郎	脳神経外科	1,145,903	補助委託 日本学術振興会
安静時fMRIを用いた脳腫瘍患者の脳内ネットワークの機能的結合の解析	廣野 誠一郎	脳神経外科	1,370,292	補助委託 日本学術振興会
脳梗塞に対する血清抗体マーカーによる発症予測と病型診断	吉田 陽一	脳神経外科	1,342,076	補助委託 日本学術振興会
免疫チェックポイント分子を用いた肺移植拒絶反応における新規免疫寛容の誘導	海寶 大輔	呼吸器外科	2,730,000	補助委託 日本学術振興会
高悪性度神経内分泌腫瘍切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究	吉野 一郎	呼吸器外科	637,000	補助委託 日本医療研究開発機構
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	吉野 一郎	呼吸器外科	300,000	補助委託 国立がん研究センター研究開発費
抗線維化薬による肺移植後慢性移植肺機能不全の予防	山中 崇寛	呼吸器外科	400,000	補助委託 令和4年度ちば県民保健予防基金助成金
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	巽 浩一郎	呼吸器内科	6,000,000	補助委託 厚生労働省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	寺田 二郎	呼吸器内科	100,000	補助委託 厚生労働省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	坂尾 誠一郎	呼吸器内科	100,000	補助委託 厚生労働省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	杉浦 寿彦	呼吸器内科	100,000	補助委託 厚生労働省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	田邊 信宏	呼吸器内科	100,000	補助委託 厚生労働省
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	巽 浩一郎	呼吸器内科	3,650,000	補助委託 日本医療研究開発機構
薬剤性間質性肺炎・重症薬疹に関するバイオマーカー候補の適格性確認と規制要件案の作成に関する研究	安部 光洋	呼吸器内科	400,000	補助委託 日本医療研究開発機構
慢性血栓塞栓性肺高血圧症における肺動脈バルーン形成術の医療の質評価及びフィードバックシステムを構築する社会実装研究	巽 浩一郎	呼吸器内科	100,000	補助委託 日本医療研究開発機構
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に関する多施設共同レジストリ研究	巽 浩一郎	呼吸器内科	100,000	補助委託 日本医療研究開発機構
レジストリを活用した慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対するエドキサパンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	巽 浩一郎	呼吸器内科	1,400,000	補助委託 日本医療研究開発機構
患者レジストリJapan PH Registryを利活用した肺動脈性肺高血圧症に対する抗IL-6受容体抗体適応拡大のための医師主導治験	巽 浩一郎	呼吸器内科	500,000	補助委託 日本医療研究開発機構
患者レジストリJapan PH Registryを活用した肺動脈性肺高血圧症のアンメットメディカルニーズに対するエビデンス創出研究	巽 浩一郎	呼吸器内科	100,000	補助委託 日本医療研究開発機構
患者レジストリJapan PH Registryを活用した肺動脈性肺高血圧症のアンメットメディカルニーズに対するエビデンス創出研究	重田 文子	呼吸器内科	400,000	補助委託 日本医療研究開発機構
ゲノム編集技術を用いた難治性遺伝性呼吸器疾患の病態解析と次世代新規治療法開発	鈴木 拓児	呼吸器内科	3,400,000	補助委託 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GM-CSF吸入療法の新たな効能: 肺胞/間質性マクロファージのバランスへの介入	鈴木 拓児	呼吸器内科	50,000	(補委) 文部科学省
GFP発現ラットによる肺移植および骨髄移植技術を用いた肺高血圧症の包括的研究	坂尾 誠一郎	呼吸器内科	5,800,000	(補委) 文部科学省
GFP発現ラットによる肺移植および骨髄移植技術を用いた肺高血圧症の包括的研究	西村 倫太郎	呼吸器内科	100,000	(補委) 文部科学省
CTEPH血管リモデリングの病態解明から新規治療へ; 血管内皮細胞に着目して	須田 理香	呼吸器内科	800,000	(補委) 日本学術振興会
AlphaLISA法による免疫介在性有害事象に特異的な自己抗体の探索	岩澤 俊一郎	呼吸器内科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
自己抗体マーカーによる睡眠時無呼吸症候群の脳梗塞・心筋梗塞発症予測とモニタリング	寺田 二郎	呼吸器内科	700,000	(補委) 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における組織常在マクロファージの役割と治療応用	重田 文子	呼吸器内科	900,000	(補委) 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における組織常在マクロファージの役割と治療応用	巽 浩一郎	呼吸器内科	50,000	(補委) 日本学術振興会
肺動脈性肺高血圧症における組織常在マクロファージの役割と治療応用	坂尾 誠一郎	呼吸器内科	50,000	(補委) 日本学術振興会
慢性閉塞性肺疾患における呼気ガス分析を用いた診断システムの探索	川田 奈緒子	呼吸器内科	800,000	(補委) 日本学術振興会
重症肺高血圧症モデルマウスにおける内皮血球転換と肺血管リモデリング機構の解明	関根 亜由美	呼吸器内科	600,000	(補委) 日本学術振興会
CD26/DPP-4を介した難治性呼吸器疾患の新規治療戦略	川崎 剛	呼吸器内科	800,000	(補委) 日本学術振興会
気管支肺胞洗浄の危険性探索とバルーンカテーテルを用いた気管支肺胞洗浄法の開発	安部 光洋	呼吸器内科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
腸内細菌叢の変容が肺高血圧症の病態に関与する機序の解明と臨床応用のシーズ探索	田邊 信宏	呼吸器内科	600,000	(補委) 日本学術振興会
腸内細菌叢の変容が肺高血圧症の病態に関与する機序の解明と臨床応用のシーズ探索	重城 喬行	呼吸器内科	600,000	(補委) 日本学術振興会
好中球NETsに着目した慢性閉塞性肺疾患の病態解明	伊狩 潤	呼吸器内科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
塩化鉄誘導肺線維症モデルにおけるマクロファージ・中皮細胞を標的とした病態成立機構	見上 英樹	呼吸器内科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
KRAS変異肺がん細胞における複数のがん抑制遺伝子の変異併存時の治療標的探索	下村 巖	呼吸器内科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
Radiomics解析による新型コロナウイルス関連肺炎の予後予測モデルの構築	川田 奈緒子	呼吸器内科	1,000,000	(補委) 公益財団法人日本呼吸器財団
呼吸器系先天異常疾患の診療体制構築とデータベースおよび診療ガイドラインに基づいた医療水準向上に関する研究	照井 慶太	小児外科	300,000	(補委) 厚生労働省
Long-read sequenceによるヒルシュスプルング病の包括的遺伝子解析	照井 慶太	小児外科	900,000	(補委) 日本医療研究開発機構
患者由来同所性異種移植(PDOX)モデルを用いた神経芽腫難治性メカニズムの解明	秦 佳孝	小児外科	800,000	(補委) 日本医療研究開発機構
神経芽腫難治微小病変の可視化とセラノステイクスによる新規治療開発	中田 光政	小児外科	1,000,000	(補委) 日本医療研究開発機構
インドシアニングリーン修飾リボソームを用いた小児肝がん新規治療法の確立	小松 秀吾	小児外科	1,100,000	(補委) 日本医療研究開発機構
胆道閉鎖症の便中脂溶性代謝物の網羅的探索による病因と病態の解明	柴田 涼平	小児外科	2,700,000	(補委) 日本医療研究開発機構
神経芽腫における抗腫瘍免疫抑制機序解明と新規免疫療法の開発	吉澤 比呂子	小児外科	1,000,000	(補委) 日本医療研究開発機構
腸管神経系異常疾患の病態における腸管免疫系の関与	文田 貴志	小児外科	1,600,000	(補委) 日本医療研究開発機構
小児短腸症候群患者の腸管順応における腸内細菌叢がもたらす役割の解明	川口 雄之亮	小児外科	1,200,000	(補委) 日本医療研究開発機構
POEMS症候群の至適治療戦略の構築	三澤 園子	脳神経内科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
重症筋無力症の革新的治療AChR-Fcの臨床応用へ向けた生体内での作用機構の解明	鶴沢 顕之	脳神経内科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
末梢神経軸索興奮性、脳機能画像による神経障害性疼痛の病態解明と個別化治療の確立	桑原 聡	脳神経内科	500,000	(補委) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
運動ニューロン疾患における神経興奮性検査を用いた新規治療薬開発	澁谷 和幹	脳神経内科	800,000	補委 日本学術振興会
POEMS症候群におけるサイトカインプロファイル解析と臓器特異的治療点の探索	水地 智基	脳神経内科	300,000	補委 日本学術振興会
プロテオーム解析を用いた特発性後天性全身性無汗症の標的抗原の網羅的解析	荒木 信之	脳神経内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
エクソソームmiRNAを用いた多発性硬化症の血液脳関門破綻バイオマーカーの開発	栢田 大生	脳神経内科	2,000,000	補委 日本学術振興会
標的抗原細胞外領域とIgG1Fc融合タンパク質による自己抗体病の革新的治療法開発	森 雅裕	脳神経内科	300,000	補委 日本学術振興会
神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	桑原 聡	脳神経内科	18,460,000	補委 厚生労働省
神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	三澤 園子	脳神経内科	800,000	補委 厚生労働省
神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証	鶴沢 顕之	脳神経内科	400,000	補委 厚生労働省
運動失調症の医療水準, 患者のQOLの向上に資する研究班	桑原 聡	脳神経内科	700,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患領域の基盤的調査研究	桑原 聡	脳神経内科	900,000	補委 厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	桑原 聡	脳神経内科	1,000,000	補委 厚生労働省
新規発見アト抗原に基づいたアト抗体陽性慢性炎症性脱髄性多発神経炎/中枢末梢連合脱髄症の診断基準・診療ガイドライン作成のためのエビデンスの創出とバイオバンク・レジストリ構築	桑原 聡	脳神経内科	800,000	補委 日本医療研究開発機構
IgG4自己抗体陽性の慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験	桑原 聡	脳神経内科	300,000	補委 日本医療研究開発機構
運動失調症の治療法開発を見据えた病型別前向き自然歴・バイオマーカーの確立	桑原 聡	脳神経内科	500,000	補委 日本医療研究開発機構
長期寛解を目指した革新的重症筋無力症治療薬の開発	桑原 聡	脳神経内科	2,740,000	補委 日本医療研究開発機構
軽度アルツハイマー型認知症を対象とする八味地黄丸の認知機能に対する有効性と安全性を確認する探索的オープン標準治療対照無作為化割付多施設共同試験	平野 成樹	脳神経内科	177,000	補委 日本医療研究開発機構
多施設連携プラットフォーム(MABB)を基盤にした各種認知症疾患に対する日本発の包括的な診断・層別化バイオマーカーシステムの確立	平野 成樹	脳神経内科	3,700,000	補委 日本医療研究開発機構
血液脳関門破綻を可視化する革新的プロトコル開発	栢田 大生	脳神経内科	1,800,000	補委 公益財団法人 高橋産業経済研究財団
敗血症における細胞外マトリックスタンパク質の機能解明と革新的治療の創出	栗田 健郎	救急科・集中治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会
A novel treatment for REBOA complications: Hydrogen gas inhalation therapy to alleviate oxidative stress due to ischemia-reperfusion injury	松村 洋輔	救急科・集中治療部	4,800,000	補委 日本学術振興会
Metabolome解析による高度侵襲下のエネルギー代謝動態評価	大島 拓	救急科・集中治療部	300,000	補委 日本学術振興会
先進的ゲノム網羅解析統合による敗血症遺伝子多型研究の新展開	中田 孝明	救急科・集中治療部	5,100,000	補委 日本学術振興会
ECPR症例における神経学的予後予測バイオマーカーの網羅的探索	安部 隆三	救急科・集中治療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
脂肪細胞における脂質受容体を介した病原脂質の解毒に関する研究	島田 忠長	救急科・集中治療部	1,400,000	補委 日本学術振興会
層状化合物を利用した体外式肺腎補助装置の開発	高橋 希	救急科・集中治療部	1,000,000	補委 日本学術振興会
in vitroアッセイによる新規血管透過性亢進抑制物質の網羅的探索	岩瀬 信哉	救急科・集中治療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
敗血症におけるIL-22関連蛋白の腸管恒常性破綻への関与とその制御	大網 毅彦	救急科・集中治療部	1,800,000	補委 日本学術振興会
網羅的タンパク質解析を用いた心停止/心停止後症候群に関わる新規物質の発見	今枝 太郎	救急科・集中治療部	1,600,000	補委 日本学術振興会
急性腸間膜虚血における新規biomarkerの開発・検証	柄澤 智史	救急科・集中治療部	1,100,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
網羅的サイトカイン解析を用いた非高齢/高齢敗血症それぞれの予後予測マーカーの探索	島居 傑	救急科・集中治療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
Mitigation of the cytokine storm with blood purification induced by the ische mia-reperfusion injury: A novel treatment for REBOA complications	林 洋輔	救急科・集中治療部	1,700,000	補委 日本学術振興会
敗血症性DICにおけるCD69-Myl9/12システムの関与	宮内 清司	救急科・集中治療部	1,200,000	補委 日本学術振興会
救急医療予測アルゴリズム研究開発	安部 隆三	救急科・集中治療部	6,286,000	補委 日本医療研究開発機構
皮下脂肪組織由来細胞のシングルセル解析と計算生物学に基づく革新的脂肪移植の開発	窪田 吉孝	形成・美容外科	4,400,000	補委 文部科学省
拠点病院集中型HIV診療から、地域分散型HIV患者の医療・介護体制の構築	猪狩 英俊	感染症内科	6,693,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に対するNafamostat,Favipiravir併用特定臨床研究	猪狩 英俊	感染症内科	1,000,000	補委 厚生労働省
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究	谷口 俊文	感染症内科	200,000	補委 厚生労働省
HIV感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制の整備に資する研究	谷口 俊文	感染症内科	800,000	補委 厚生労働省
千葉県における一般診療所に対する抗菌薬適正使用を推進する標準モデルを検証・推進するための研究	谷口 俊文	感染症内科	7,666,000	補委 厚生労働省
HIV感染症及びその併存疾患や関連医療費の実態把握のための研究	谷口 俊文	感染症内科	4,100,000	補委 厚生労働省
HIV・エイズの早期治療実現に向けての研究	谷口 俊文	感染症内科	11,540,000	補委 日本学術振興会
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	猪狩 英俊	感染症内科	585,000	補委 日本医療研究開発機構
結核低蔓延時代の結核診療についての研究	猪狩 英俊	感染症内科	520,000	補委 日本医療研究開発機構
ブラジルと日本の薬剤耐性を含む真菌感染症診断に関する研究とリファレンス協力体制強化	渡邊 哲	真菌医学研究センター(感染症内科)	26,260,000	補委 日本医療研究開発機構
集団機能ゲノミクスによる病原真菌の適応機構の解明と遺伝子を標的とした新規治療法の開発(分担課題:候補遺伝子のストレス応答及び病原性に対する機能評価)	渡邊 哲	真菌医学研究センター(感染症内科)	3,000,000	補委 日本医療研究開発機構
ハイリスク患者に対する肺炎球菌ワクチンの理想的な接種プログラムの確立	石和田 稔彦	真菌医学研究センター(感染症内科)	1,300,000	補委 日本学術振興会
JAMEP基本的臨床推論能力評価試験(GM-ITE: General Medicine In-Training Examination)質向上についての研究	鋪野 紀好(研究分担者)	総合診療科	6,500,000	補委 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進事業)(1年目)
寝たきり度を用いた院内転倒予測モデルの多様な医療機関での検証と実用化に関する研究	鋪野 紀好(研究分担者)	総合診療科	18,630,000	補委 令和3年度科学研究費助成事業(基盤研究B)(1年目)
Post-CC OSCEを国家試験化するにあたっての妥当性・信頼性・公平性等の検証に関する研究	鋪野 紀好(研究分担者)	総合診療科	1,100,000	補委 令和3年度厚生労働行政推進調査事業補助金(地域医療基盤開発推進事業)(1年目)
学術誌抄録から学習した疾患名の分散表現は疾患同士の距離を表現しうるか	横川 大樹	総合診療科	4,680,000	補委 令和3年度科学研究費助成基金(若手研究)(1年目)
ワクチン副反応	上原 孝紀(業務責任者)	総合診療科	2,604,000	補委 令和3年度「薬害新型ワクチン接種後の副反応に係る専門的な医療機関運営業務委託」
ICTを利用した医学教育コンテンツの開発と活用に向けた研究	生坂 政臣(研究協力者)	総合診療科	13,165,000	補委 令和3年度厚生労働科学研究費
総合診療科病棟診療支援の取り組み	上原 孝紀	総合診療科	30,000	補委 2021年度医療安全ベストプラクティス
細胞性自然免疫応答賦活によるC型肝炎における肝発がん予防法の開発	加藤 直也	消化器内科	22,823,077	補委 日本医療研究開発機構
B型肝炎ウイルスの感染複製増殖機構解明による創薬基盤形成に関する研究	加藤 直也	消化器内科	3,000,000	補委 日本医療研究開発機構
C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	加藤 直也	消化器内科	900,000	補委 日本医療研究開発機構
B型肝炎に関する病態生理の新たな解明に基づく制御法開発	千葉 哲博	消化器内科	1,800,000	補委 日本医療研究開発機構
高張り応力を伴う循環器疾患に随伴する消化管血管異形成の形成・消退の実態解明	加藤 直也	消化器内科	200,000	補委 日本医療研究開発機構
癌の自然免疫回避機構を標的とした肝癌の包括的マネジメント	加藤 直也	消化器内科	3,900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
液状検体に対する分子バーコードを用いた超高感度システムによる膵癌早期診断法の開発	三方 林太郎	消化器内科	800,000	補 委	日本学術振興会
肝臓におけるマルチキナーゼ阻害剤のエピジェネティックな耐性機序の検討	日下部 裕子	消化器内科	400,000	補 委	日本学術振興会
食道バレット腺癌の遺伝子的、及び機能的側面から見た病態解析	沖元 謙一郎	消化器内科	300,000	補 委	日本学術振興会
エクソソーム制御による慢性肝疾患関連サルコペニアに対する新規治療法の開発	中村 昌人	消化器内科	800,000	補 委	日本学術振興会
分子標的薬が肝予備能に与える影響の解明と進行肝細胞癌の新規治療戦略の構築	近藤 孝行	消化器内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会
クローン病の胆汁腸肝循環動態とFXR/FGF19の機能解析	齊藤 景子	消化器内科	1,000,000	補 委	日本学術振興会
allograftマウスモデルによる肝細胞癌の癌免疫逃避機構の解明	千葉 哲博	消化器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎と原発性硬化性胆管炎に共通する免疫機構解析による疾患形成機序の解明	太田 佑樹	消化器内科	1,700,000	補 委	日本学術振興会
ゲノム異常に着目した食道扁平上皮癌の革新的な診断・治療方法の開発	明杖 直樹	消化器内科	300,000	補 委	日本学術振興会
FGF19・FGFR4シグナル阻害による肝臓分子標的薬の新規治療戦略	神崎 洋彰	消化器内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
腸管相関の腫瘍免疫制御に着目した非アルコール性脂肪性肝疾患関連肝癌抑止法の創出	佐久間 崇文	消化器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
社会実装可能な人工知能を用いた画期的大腸癌深達度診断システムの開発	松村 倫明	消化器内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
肝細胞分化におけるヒストンメチル化酵素SETDB1の意義と再生医療への応用	金山 健剛	消化器内科	600,000	補 委	日本学術振興会
非代償性肝硬変の体外細胞分化誘導によるアルブミン補充療法の確立に向けた基礎的検討	清野 宗一郎	消化器内科	2,100,000	補 委	日本学術振興会
細胞診アーカイブスのゲノム情報;最難治癌に対する精密医療を目指して	大山 広	消化器内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
ゲノム解析による膵・胆管合流異常の進化系統学的発癌機序の解明	高橋 幸治	消化器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
ネオ抗原の質的評価を通じた抗腫瘍免疫応答の解明	石野 貴雅	消化器内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
バレット食道の発癌リスクの層別化を目指した内視鏡的生検組織の多面的検討	徳長 鎮	消化器内科	2,700,000	補 委	日本学術振興会
本邦の慢性肝疾患患者の多施設共同前向き長期観察研究	中村 昌人	消化器内科	5,000,000	補 委	アッヴィ合同会社
早期大腸癌に対する大腸浸水内視鏡的粘膜切除術(UEMR),内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)に対しての短期予後,多施設前向きNon-compared phase2及び非劣性phase3 adaptive design study	沖元 謙一郎	消化器内科	500,000	補 委	内視鏡医学研究振興財団
進行肝細胞癌に対する革新的治療開発を目指した重粒子線治療と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法の免疫応答機構の解明	小笠原 定久	消化器内科	1,000,000	補 委	日本対がん協会
Understanding the mechanism of energy metabolism in intratumor immune microenvironment in metabolic related hepatocellular carcinoma	小笠原 定久	消化器内科	7,079,150	補 委	ギリアード・サイエンス
肝臓における可溶性MHCクラスII関連A分子の制御機構の解明と、その応用による革新的発癌抑止法の開発	中本 晋吾	消化器内科	2,000,000	補 委	武田科学振興財団
自然免疫シグナルから迫る造血器腫瘍の分子病態	武藤 朋也	血液内科	1,713,800	補 委	日本学術振興会
自然免疫シグナル経路を介した造血器腫瘍制御機構の統合的解明と治療応用	武藤 朋也	血液内科	3,200,000	補 委	日本学術振興会
骨髄形質細胞の遺伝子解析によるALアミロイドーシスの分子病態解明	堺田 恵美子	血液内科	1,200,000	補 委	日本学術振興会
POEMS症候群患者血小板および骨髄間質細胞の遺伝子発現解析	塚本 祥吉	血液内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
新規多発性骨髄腫モデルマウスを用いた統合的エピジェネティック治療の確立	三村 尚也	輸血・細胞療法部	1,100,000	補 委	日本学術振興会
POEMS症候群の疾患特異的抗体を用いた病態メカニズムの解明	栢森 健介	血液内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会
本邦における初発急性前骨髄球性白血病に対するATRA・ATO併用分化誘導療法の確立	堺田 恵美子	血液内科	500,000	補 委	日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自然免疫シグナルから迫る造血器腫瘍の分子病態	武藤 朋也	血液内科	3,000,000	補委 持田記念医学薬学振興財団
自然免疫シグナルから迫る白血病の分子基盤	武藤 朋也	血液内科	1,000,000	補委 先進医薬研究振興財団
自然免疫シグナルから迫る造血器腫瘍の分子病態	武藤 朋也	血液内科	2,000,000	補委 日本白血病研究基金
クローン性造血における自然免疫とエネルギー代謝のクロストーク	武藤 朋也	血液内科	3,000,000	補委 内藤記念科学助成金
ポドサイト障害抑制因子の探索と慢性腎臓病治療薬開発の試み	辰元 為仁	腎臓内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
ポドサイトにおけるユビキチン・プロテアソームで発現調整を受ける分子の網羅的解析	牧野 慎市	腎臓内科	900,000	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病患者における腸内細菌叢とCKD-MBD進展予防に関する研究	若林 華恵	腎臓内科	1,000,000	補委 日本腎臓財団
ウイルス感染に対する自然免疫系	中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	35,000,000	補委 国立研究開発法人科学技術振興機構
気道リモデリング修復による新規喘息治療戦略の確立	中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	7,100,000	補委 日本学術振興会
濾胞性制御性T細胞分化誘導による新規SLE治療法確立のための基礎的検討	鈴木 浩太郎	アレルギー・膠原病内科	1,099,982	補委 日本学術振興会
アレルギー性気道炎症局所における制御性T細胞の機能維持機構の解明	須藤 明	アレルギー・膠原病内科	1,101,355	補委 日本学術振興会
アレルギー性気道炎症における侵害刺激受容体TRPV2の役割	前澤 裕子	アレルギー・膠原病内科	1,335,626	補委 日本学術振興会
罹患組織の単細胞RNAシーケンス解析を起点としたIgG4関連疾患の病態の解明	池田 啓	アレルギー・膠原病内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
IgE産生制御による食物アレルギー治療戦略の開発	玉地 智宏	アレルギー・膠原病内科	1,026,845	補委 日本学術振興会
Fizzled受容体シグナルによるアレルギー性気道炎症の誘導機構の解明とその制御	岩田 有史	アレルギー・膠原病内科	1,414,926	補委 日本学術振興会
喘息の気道上皮細胞における“炎症記憶”に関する研究	横田 雅也	アレルギー・膠原病内科	1,297,847	補委 日本学術振興会
ANCA関連血管炎の病態形成におけるTLR9の役割の解析	古田 俊介	アレルギー・膠原病内科	1,431,057	補委 日本学術振興会
難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上に資する研究	古田 俊介	アレルギー・膠原病内科	250,000	補委 厚生労働省
I型インターフェロンによる自己反応性B細胞活性化及びびろープス腎炎発症機構の解明	岩本 太郎	アレルギー・膠原病内科	2,100,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの病態形成におけるFGFR1陽性CD4陽性T細胞の役割の解明	田中 繁	アレルギー・膠原病内科	2,100,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの病態形成における濾胞ヘルパーT細胞に発現するPAD4の役割の解明	鈴木 一正	アレルギー・膠原病内科	2,100,000	補委 日本学術振興会
アレルギー性気道炎症の超急性期相における樹状細胞の役割の解明	古矢 裕樹	アレルギー・膠原病内科	1,844,803	補委 日本学術振興会
組織修復型制御性T細胞による破壊関節修復法の開発	粕谷 忠道	アレルギー・膠原病内科	1,329,733	補委 日本学術振興会
健康長寿の促進に向けた新規老化関連因子の探索と老化予測システムの開発	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	2,000,000	補委 日本医療研究開発機構
早老症疾患特異的iPS細胞を用いた老化促進メカニズムの解明を目指す研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	50,603,847	補委 日本医療研究開発機構
早老症に立脚したヒト老化病態の解明とその制御への応用(個体・臓器老化研究拠点)	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	10,000,000	補委 日本医療研究開発機構
フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	600,000	補委 国立長寿医療研究センター
家族性LCAT欠損症を対象としたLCAT-GMAC治療実用化に向けた医師主導治験	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	90,440,000	補委 日本医療研究開発機構
早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	5,770,000	補委 厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,250,000	補委 厚生労働省
原発性脂質異常症に関する調査研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	200,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
原発性脂質異常症に関する調査研究	小倉 正恒	糖尿病・代謝・内分泌内科	200,000	補委	厚生労働省
多層的モデルの解析に基づく老化と関連疾患の分子病態解明	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	12,100,000	補委	日本学術振興会
老化モデル疾患を対象としたNAD前駆体による革新的治療および老化抑制機序の検討	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	300,000	補委	日本学術振興会
糖尿病の血管合併症におけるPericyte老化の役割の解明	前澤 善朗	糖尿病・代謝・内分泌内科	3,800,000	補委	厚生労働省
加齢や生活習慣による腎障害の病態解明に資する危険因子、生体マーカーの包括的検討	越坂 理也	糖尿病・代謝・内分泌内科	900,000	補委	日本学術振興会
AKAP13を用いた骨代謝調節機構の解明	小出 尚史	糖尿病・代謝・内分泌内科	200,000	補委	日本学術振興会
R3hdm1を用いた筋腎連関の機序解明および新規治療戦略の確立	石川 崇広	糖尿病・代謝・内分泌内科	800,000	補委	日本学術振興会
早老症Werner症候群患者検体を用いた老化に伴うインスリン抵抗性の機序解明	木下 大輔	糖尿病・代謝・内分泌内科	900,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症の残余リスク抑制:コレステロール搬出促進薬の開発基盤	小倉 正恒	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
AKAP13を用いたグルココルチコイドの新たな骨代謝調節機構の解明	石田 晶子	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝糖新生におけるType2 Innate Lymphoid Cellの役割の解明	藤本 真徳	糖尿病・代謝・内分泌内科	900,000	補委	日本学術振興会
老化をHDLで減速させる-早老症ウエルナー症候群から探る老化と脂質のクロストーク	山本 雅	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヒト老化モデルのエクソソームがもたらす老化機序の解明	加藤 尚也	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
心停止下ドナー心移植におけるドナー心評価法と虚血再灌流障害制御法の確立	松宮 護郎	心臓血管外科	7,319,965	補委	日本学術振興会
スマートウォッチを利用した機械学習による発作性心房細動診断アルゴリズム開発研究	乾 友彦	心臓血管外科	2,448,070	補委	日本学術振興会
Vector flow mappingを用いた非侵襲的心拍出量測定法の開発	諫田 朋佳	心臓血管外科	1,524,000	補委	日本学術振興会
植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測に基づいた個別化精密医療・最適化補助人工心臓治療の実現	松宮 護郎 (研究分担者)	心臓血管外科	160,000	補委	日本医療研究開発機構
難治性心血管疾患におけるマルチオミックス解析による病態解明と精密医療	松宮 護郎 (研究分担者)	心臓血管外科	250,000	補委	日本医療研究開発機構
高張り応力を伴う循環器疾患に伴随する消化管血管異形成の形成・消退の実態解明	松宮 護郎 (研究分担者)	心臓血管外科	400,000	補委	日本医療研究開発機構
エクソソーム・腸内細菌叢解析による癌宿主連環制御に基づく食道・胃癌分子治療開発	松原 久裕	食道・胃腸外科	3,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道扁平上皮癌幹細胞を標的とした新規エピジェネティック治療戦略の開発	村上 健太郎	食道・胃腸外科	390,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CTコログラフィーにおけるテクスチャ解析を用いたスクリーニング検査の開発	栃木 透	食道・胃腸外科	1,040,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
食道扁平上皮癌におけるFra-1による低酸素誘導因子カスケード制御機構の解析	豊住 武司	食道・胃腸外科	1,170,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
消化器癌術後難治性婁孔に対する再生医療技術を用いた組織充填剤の開発	平澤 壮一郎	食道・胃腸外科	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胃癌腹膜播種に対する癌由来エクソソームを用いた革新的個別化治療の開発	松本 泰典	食道・胃腸外科	1,950,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
CRP遺伝子多型解析による食道癌リンパ節転移リスク診断キットの開発	松原 久裕	食道・胃腸外科	440,000	補委	秋田大学
切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチン+5-FU)療法とbDCF(biweeklyドセキタル+CF)療法のランダム化第Ⅲ相比較試験	松原 久裕	食道・胃腸外科	877,500	補委	静岡県立がんセンター
HER2増幅固型癌に対するトラスツズマブペルツズマブ併用療法のバスケットトライアル	松原 久裕	食道・胃腸外科	1,153,000	補委	東京医科歯科大学
胃癌エクソソームマーカー候補群の臨床的有用性評価	松原 久裕	食道・胃腸外科	1,100,000	補委	東ソー株式会社(共同研究)
肝内胆管癌癌源・癌細胞の可塑性と癌間質微小環境制御による新規治療法の開発	大塚 将之	肝胆膵外科	1,170,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内臓脂肪による免疫老化と慢性炎症が手術侵襲に及ぼす影響とオステオポンチンの関与	古川 勝規	肝胆膵外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
肝胆膵領域癌におけるLGR5を標的としたSTAT3活性抑制による新規治療の開発	久保 木知	肝胆膵外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
分泌蛋白を含む癌微小環境と補体因子による膵胆道癌進展機構の解明と測定系の開発	高野 重紹	肝胆膵外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
ユビキチンE3リガーゼをターゲットにした消化器癌の進展、転移制御機構の解明	酒井 望	肝胆膵外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
肝内胆管癌におけるIL-32-Gankyrin axisを介した癌進展機序の解明研究	三島 敬	肝胆膵外科	910,000	補委 日本学術振興会
障害肝における肝障害後肝再生機構の解明と再生促進治療開発:肝切除術の適応拡大へ	小西 孝宜	肝胆膵外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
機械学習により層別化した化学療法未導入検体の解析による膵癌の化学療法抵抗性の解明	川原 健治	肝胆膵外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
大腸癌の転移制御におけるSmurf2-Yylaxisの役割	佐藤 菜実	肝胆膵外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
肝胆膵領域癌におけるIRG1を介した抗炎症作用に基づく新規治療戦略	吉住 有人	肝胆膵外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
血中フコシル化プロサボシン値の測定系構築および新規膵癌biomarkerとしての臨床応用に関する研究	大塚 将之	肝胆膵外科	1,300,000	補委 麻布大学 富士フィルム 和光純薬
抗酸化物質の微小管作用メカニズムの解明と新たな臨床応用	高田 護	乳腺甲状腺外科	1,850,000	補委 日本学術振興会
低酸素応答分子を標的とした新規乳癌治療薬の開発	高田 護	乳腺甲状腺外科	2,000,000	補委 高橋産業経済財団
天然化合物による急性骨髄性白血病のエピジェネティックに対する薬理作用と抗がん機序の解明	平崎 能郎	和漢診療科	1,300,000	補委 公益財団法人がんの子どもを守る会
肺扁平上皮がんの多面的アプローチによる分子標的薬の開発	滝口 裕一	腫瘍内科	700,000	補委 日本学術振興会
ゲノム解析による膵・胆管合流異常の進化系統学的発癌機序の解明	高橋 幸治	腫瘍内科	2,400,000	補委 日本学術振興会
医療情報データベースに保存された医療情報の実践的な利活用のためのデータ検証(バリデーション)業務	鈴木 隆弘	企画情報部	11,935,314	補委 医薬品医療機器総合機構
MID-NET®データの特性解析及びデータ抽出条件・解析手法等に関する研究	鈴木 隆弘	企画情報部	3,500,000	補委 医薬品医療機器総合機構
アウトカム定義のバリデーションに関連する調査業務	鈴木 隆弘	企画情報部	2,600,000	補委 医薬品医療機器総合機構
中央集約型と分散型の併用による医療情報共有のためのトラスト(信頼関係)の評価法	松下 一之	検査部	4,509,134	補委 文部科学省
がん細胞のリボソーム構成タンパク質の発現解析と転写後調節への関与	松下 一之	検査部	1,215,336	補委 文部科学省
臨床検査の異常反応の検出と精度保証の研究	松下 一之	検査部	50,000	補委 文部科学省
がん遺伝子パネル検査の外部精度評価スキームの戦略的実践によって検査の質向上を図る	松下 一之	検査部	50,000	補委 文部科学省
メタゲノムによる新意義を持つ臨床細菌検査の開発とそれへのDNAメチル化解析の応用	西村 基	検査部	481,955	補委 文部科学省
マルチオミクスを用いた新規歯周疾患マーカーの開発	西村 基	検査部	100,000	補委 文部科学省
1本鎖DNA/RNA選択的解析によるCOVID-19を含む感染症検査の広範な改良	西村 基	検査部	3,600,000	補委 文部科学省
質量分析によるビタミンD関連マーカーの高精度分析およびGC遺伝子多型との関連解析	石毛 崇之	検査部	1,100,000	補委 文部科学省
検体・項目多重化によるステロイドホルモンのハイスループットLC/MS検査法の開発	石毛 崇之	検査部	50,000	補委 文部科学省
消化器・難治がんのリボソーム生合成の新規メカニズム解明と診断、治療法への応用	北村 浩一	検査部	350,000	補委 金沢大学がん進展制御研究所
小児科医師確保計画を踏まえた小児医療の確保についての政策研究	吉村 健佑	次世代医療構想センター	4,071,000	補委 厚生労働省
新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた、地域における医療提供体制の強化のための研究	吉村 健佑	次世代医療構想センター	54,612,000	補委 厚生労働省
地域の合意形成を加速化させるデジタルトランスフォーメーションの実現のための研究	佐藤 大介	次世代医療構想センター	3,501,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
今般の感染症対応や将来の医療需要を踏まえたDPCデータ等を活用した急性期医療の確保のための研究	佐藤 大介	次世代医療構想センター	1,448,000	補委 厚生労働省
指定難病と医療介護データの統合による経時的解析可能な難病データベース基盤の開発	佐藤 大介	次世代医療構想センター	16,510,000	補委 日本学術振興会
数理科学と医療管理学を融合した新興感染症の推計モデルと医療費資源配分手法	佐藤 大介	次世代医療構想センター	5,980,000	補委 日本学術振興会
「システム思考に立脚した地域包括ケアシステム構築方法論と評価用ロジックモデルの開発」	堀井 聡子	次世代医療構想センター	6,240,000	補委 日本学術振興会
機能性RNA解析に基づく治療抵抗性小児白血病に対する革新的治療標的の探索	岡田 玲緒奈	次世代医療構想センター	4,680,000	補委 日本学術振興会
令和3年度千葉県国保ヘルスアップ支援事業特定検診レセプトデータ等分析業務	佐藤 大介	次世代医療構想センター	23,000,000	補委 千葉県
千葉県医自治体等と連携した生活習慣病予防介入プログラムの開発とその実効性の検証	吉村 健佑	次世代医療構想センター	15,000,000	補委 千葉県旭市・ノボノルディスクファーマ
医療分野における秘密計算ディープラーニングの適用検証、実証(共同研究)	吉村 健佑	次世代医療構想センター	22,000,000	補委 附属医療院・NTTCOM
専門職連携のための専門職連携によるFD実践のための基盤研究とプログラム開発	伊藤 彰一	総合医療教育研修センター	1,040,000	補委 日本学術振興会
英国大学と協働で開発するグローバル・地域包括ケアIPEプログラムの構築	朝比奈 真由美	総合医療教育研修センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
回復期リハビリテーション病棟におけるEBP実装プログラムの検証	酒井 郁子	総合医療教育研修センター	3,770,000	補委 日本学術振興会
特定行為研修修了者の複数配置に関する実態把握及び有効活用に影響する要因の調査(201A2008)	酒井 郁子	総合医療教育研修センター	8,716,000	補委 厚生労働省
臨床実習中の学習者に自発的行動を促す新しい対面指導法の開発に関する研究	横尾 英孝	総合医療教育研修センター	780,000	補委 日本学術振興会
外国人患者が安心する医療を提供するために医学英語教育プログラムとは何か？	稲川 知子	総合医療教育研修センター	1,040,000	補委 日本学術振興会
機械学習を用いた医学生におけるアンプロフェッショナルな行動に関する予測モデル	鋪野 紀好	総合医療教育研修センター 総合診療科	780,000	補委 日本学術振興会
実践的EBM能力を有する医療者養成のための教育プログラム開発とその効果検証	笠井 大	総合医療教育研修センター 呼吸器内科	650,000	補委 日本学術振興会
オンライン模擬医療面接におけるmini-CEXを用いた学生評価の信頼性の検証	塚本 知子	総合医療教育研修センター 総合診療科	780,000	補委 日本学術振興会
NKT細胞再生によるがん免疫治療技術開発拠点	本橋 新一郎	未来開拓センター	20,000,000	補委 日本医療研究開発機構
再発・進行頭頸部がん患者を対象としたiPS-NKT細胞動注療法に関する第I相試験	本橋 新一郎	未来開拓センター	26,000,000	補委 日本医療研究開発機構
再発・進行頭頸部がん患者を対象とした他家iPS-NKT細胞および自家DC/Gal併用療法に関する臨床研究	本橋 新一郎	未来開拓センター	12,906,700	補委 日本医療研究開発機構
エピジェネティクス解析とその制御による多面的機能誘導的自家脂肪移植法の確立	黒田 正幸 (研究分担者)	未来開拓センター	900,000	補委 日本学術振興会
エピジェネティクス編集技術を用いた革新的脂肪移植治療法開発に資する基盤的研究	黒田 正幸 (研究分担者)	未来開拓センター	4,300,000	補委 日本学術振興会
移植後生着細胞からのアプローチによる脂肪細胞遺伝子治療製品の移植効率向上研究	黒田 正幸	未来開拓センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
家族性LCAT欠損症を対象としたLCAT-GMAC治療実用化に向けた医師主導治験	黒田 正幸 (研究分担者)	未来開拓センター	90,440,000	補委 日本医療研究開発機構 (AMED)
プラチナ系抗がん薬による腎障害回避を目的とした新規尿中バイオマーカーの臨床応用	鈴木 貴明	薬剤部	1,690,000	補委 日本学術振興会
血液脳関門の薬物透過性を予測する血液マーカーに関する検討	石川 雅之	薬剤部	390,000	補委 日本学術振興会
拠点病院集中型のHIV診療から、地域分散型のHIV患者の医療・介護体制の構築	鈴木 貴明 (研究分担者)	薬剤部	700,000	補委 厚生労働省
薬物の中枢移行性予測を可能とする新規血液マーカーの開発	鈴木 翔太	薬剤部	470,000	補委 日本学術振興会
持続的血液濾過透析中の抗菌薬の吸着クリアランスの評価と投与設計への応用	山崎 伸吾	薬剤部	470,000	補委 日本学術振興会
血中カルニチンをバイオマーカーとしたレンパチニブの疲労倦怠感に関するPK/PD解析	高塚 博一	薬剤部	460,000	補委 日本学術振興会
重症髄膜炎患者に対するメロペネムの髄液動態を考慮した投与設計法の検討	新部 陽子	薬剤部	420,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
化学構造から高尿酸血症誘発薬剤を予測する新規手法の確立	佐山 美紗	薬剤部	150,000	補 委	公益財団法人痛風・尿酸財団
英国大学と協働で開発するグローバル・地域包括ケアIPEプログラムの構築	石井 伊都子 (研究分担者)	薬剤部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
専門職連携のための専門職連携によるFD実践のための基盤研究とプログラム開発	石井 伊都子 (研究分担者)	薬剤部	1,040,000	補 委	日本学術振興会
新治療法開発のための医薬品・医療機器・再生医療等製品創造と科学の双翼プロジェクト	花岡 英紀	臨床試験部	205,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
無症状及び軽症COVID-19患者に対するネルフィナビルの有効性及び安全性を模索するランダム化非盲検並行群間比較試験	花岡 英紀	臨床試験部	20,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
成人発症スチル病(AOSD)に対する5-アミノプリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム(5-ALA HCL/SFC)投与の医師主導治験	花岡 英紀	臨床試験部	33,000,000	補 委	日本医療研究開発機構

計424件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Saito Y, Nishi T, Wakabayashi S, et al.	循環器内科	Differential Impact of Clinical and Genetic Factors on High Platelet Reactivity in Coronary Artery Disease Patients Treated with Clopidogrel and Prasugrel	J Atheroscler Thromb. 2021. doi: 10.5551/jat.63035.	Original Article
2	Saito Y, Kobayashi Y, Fujii K, et al.	循環器内科	Clinical expert consensus document on intravascular ultrasound from the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (2021)	Cardiovasc Interv Ther. 2022;37:40-51.	Others
3	Saito Y, Nishi T, Wakabayashi S, et al.	循環器内科	Derivation of Novel Scoring System Predicting High Platelet Reactivity on Prasugrel in Patients With Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb. 2021. doi: 10.5551/jat.63300.	Original Article
4	Saito Y, Saito Y, Kato K, et al.	循環器内科	Gender differences in factors associated with vasospastic angina	Int J Cardiol. 2021. doi: 10.1016/j.ijcard.2021.11.047	Original Article
5	Saito Y, Tateishi K, Kanda M, et al.	循環器内科	Volume-Outcome Relationships for Percutaneous Coronary Intervention in Acute Myocardial Infarction	J Am Heart Assoc. 2022;11:e023805.	Original Article
6	Nishi T, Yamashita R, Imura S, et al.	循環器内科	Deep learning-based intravascular ultrasound segmentation for the assessment of coronary artery disease.	Int J Cardiol. 2021 Jun 15;333:55-59. doi: 10.1016/j.ijcard.2021.03.020. Epub 2021 Mar 16.	Original Article
7	Imori Y*, Kato K* (*First two authors equally contributed to this work), Cammann VL, et al., Seifert B, Wakita M,	循環器内科	Ethnic comparison in takotsubo syndrome: novel insights from the International Takotsubo Registry.	Clin Res Cardiol. 2021 May 19. doi: 10.1007/s00392-021-01857-4	Original Article
8	Hashimoto O, Saito Y, Sasaki H, et al.	循環器内科	Treatment Strategies and In-Hospital Mortality in Patients with Type A Acute Aortic Dissection and Coronary Artery Involvement	J Thorac Cardiovasc Surg. 2022. doi: 10.1016/j.jtcvs.2022.03.016.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
9	Suzuki S, Saito Y, Yamashita D, et al.	循環器内科	Clinical characteristics and prognosis of patients with no standard modifiable risk factors in acute myocardial infarction	Heart Lung Circ . 2022 Jul 14;S1443-9506(22)00970-2.	Original Article
10	Tateishi K, Saito Y, Kitahara H, et al.	循環器内科	Impact of glycemic variability on coronary and peripheral endothelial dysfunction in patients with coronary artery disease	J Cardiol. 2022;79:65-70	Original Article
11	Tateishi K, Saito Y, Kitahara H, et al.	循環器内科	Relation of Glucose Variability to Vulnerable Plaque Formation in Patients With Coronary Artery Disease	Heart Vessels. 2022. doi: 10.1007/s00380-022-02063-6.	Original Article
12	Sato T, Saito Y, Matsumoto T, et al.	循環器内科	Impact of CADILLAC and GRACE risk scores on short- and long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction	J Cardiol . 2021 Sep;78(3):201-205.	Original Article
13	Yamazaki T, Saito Y, Kobayashi T, et al.	循環器内科	Factors associated with discordance between fractional flow reserve and resting full-cycle ratio	J Cardiol. 2022;80:9-13	Original Article
14	Saito K, Kondo Y, Takahashi M, et al.	循環器内科	Factors that predict ventricular arrhythmias in the late phase after acute myocardial infarction.	ESC Heart Fail . 2021 Oct;8(5):4152-4160.	Original Article
15	Takahira H, Kajiyama T, Kondo Y, et al.	循環器内科	Pathophysiological background and prognosis of common atrial flutter in non-elderly patients: Comparison to Atrial Fibrillation	J Cardiol. 2021 Nov;78(5):362-367.	Original Article
16	Nakano Mi, Kondo Y, Kajiyama T, et al.	循環器内科	Impact of arial high-rate episodes and atrial cardiomyopathy on future stroke in patients with dual chamber permanent pacemakers.	Clinical Cardiol. 2021 Oct 19. doi: 10.1002/clc.23739.	Original Article
17	Kajiyama T, Kondo Y, Nakano Ma, et al.	循環器内科	Concomitant Use and Interaction of Subcutaneous Implantable Defibrillator and Epicardial Pacemaker.	J Arrhythm . 2021 Dec 16;38(1):155-156.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
18	Ono R, Kajiyama T, Takekuma Y, et al.	循環器内科	Renal Hyperperfusion Injury after Percutaneous Angioplasty for Renovascular Hypertension As a Sequela of Neuroblastoma.	JACC Case Rep. 2021;3(9):1211-1215.	Case report
19	Kanda M, Tateishi K, Nakagomi A, et al.	循環器内科	Association between early intensive care or coronary care unit admission and post-discharge performance of activities of daily living in patients with acute decompensated heart failure	PLoS One. 2021 May 10;16(5):e0251505.	Original Article
20	Sasaki H, Mahara K, Mai T, et al.	循環器内科	Short Coaptation Length is a Predictor of Recurrent Mitral Regurgitation After Mitral Valve Plasty	Heart, Lung and Circulation 2021;30:1414	Original Article
21	Yokota H, Mukai H, Hattori S, et al.	放射線科	Band-like hyperintensity along the ventral surface of the brain stem on FLAIR and DWI in leptomeningeal carcinomatosis of lung adenocarcinoma	Radiol Case Rep. 2021 Dec 16;17(3):544-548. doi: 10.1016/j.radcr.2021.11.054. eCollection 2022 Mar.	Original Article
22	Saiga A, Koizumi J, Osumi K, et al.	放射線科	Celiac Artery Dissection and Retroperitoneal Hemorrhage in Median Arcuate Ligament Syndrome Treated With a Stent and Transcatheter Arterial Embolization: Preprocedural 4-Dimensional Computed Tomography Angiography Assessment	Vasc Endovascular Surg. 2022 Jan;56(1):75-79. doi: 10.1177/15385744211028738. Epub 2021 Jul 22.	Case report
23	Kubota Y, Yokota H, Sakai T, et al.	放射線科	Clinical feasibility of single-shot fluid-attenuated inversion recovery with wide inversion recovery pulse designed to reduce cerebrospinal fluid and motion artifacts for evaluation of uncooperative patients in acute stroke protocol	J Magn Reson Imaging. 2021 Jun;53(6):1833-1838. doi: 10.1002/jmri.27483. Epub 2020 Dec 24.	Original Article
24	Saiga A, Yamamoto M, Kondo H, et al.	放射線科	Bowstring Phenomenon in Renal Artery Aneurysm Exclusion Using a Viabahn Stent Graft	Vasc Endovascular Surg. 2021 May;55(4):402-404. doi: 10.1177/1538574420975556. Epub 2020 Nov 26.	Case report
25	Saiga A, Hashiba J, Koizumi J, et al.	放射線科	Late Nonanastomotic Pseudoaneurysm From the Prosthetic Graft: A Successful Transcatheter Arterial Embolization Using Coils	Vasc Endovascular Surg. 2021 Apr;55(3):304-307. doi: 10.1177/1538574420975584. Epub 2020 Nov 23.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
26	Saiga A, Koizumi J, Ueda H, et al.	放射線科	Ischemic Lumbar Plexopathy After Transarterial Embolization of Type II Endoleak Using N-Butyl-2-cyanoacrylate.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2022 Apr;45(4):536-538. doi: 10.1007/s00270-021-03019-5. Epub 2022 Jan 3.	Case report
27	Koizumi J, Ono S, Ichikawa T, et al.	放射線科	Using non-obstructive generalized angioscopy to directly visualize a tumour during intravascular biopsy.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2021 Aug 26;jeab156. doi: 10.1093/ehjci/jeab156.	Case report
28	Hattori S, Yokota H, Takada T, et al.	放射線科	Impact of clinical information on CT diagnosis by radiologist and subsequent clinical management by physician in acute abdominal pain	Eur Radiol. 2021 Aug;31(8):5454-5463.	Original Article
29	Ota J, Yokota H, Kawasaki T, et al.	放射線部	Evaluation of Radiation Protection Methods for Assistant Staff during CT Imaging in High-energy Trauma: Lens Dosimetry with a Phantom Study. Health Phys 2021;120:635-640. doi: 10.1097/HP.0000000000001391.	Health Phys 2021 Jun 1;120(6):635-640.	Original Article
30	Murata T, Yokota H, Yamato R, et al.	放射線部	Development of attenuation correction methods using deep learning in brain-perfusion single-photon emission computed tomography.	Med Phys. 2021 Aug;48(8):4177-4190.	Original Article
31	Ota J, Yokota H, Kobayashi T, et al.	放射線部	Head CT dose reduction with organ-based tube current modulation.	Med Phys 2022 Mar;49(3):1964-1971. doi: 10.1002/mp.15467. Epub 2022 Jan 27.	Original Article
32	Tuneda M, Teiji Nishio, Takatomo Ezura, et al.	放射線科	Plastic scintillation dosimeter with a conical mirror for measuring 3D dose distribution	Med Phys 2021 Oct;48(10):5639-5650. doi: 10.1002/mp.15164. Epub 2021 Aug 20.	Original Article
33	Yawara Eguchi , Toru Toyoguchi , Kazuhide Inage ,et a.	整形外科	Advanced glycation end products are associated with sarcopenia in older women: aging marker dynamics	J Women Aging. 2021 Jun;33(3):328-340	Original Article
34	Inage K, Orita S, Eguchi Y, et al.	整形外科	Time-Course Changes in Bone Metabolism Markers and Density in Patients with Osteoporosis Treated with Romosozumab: A Multicenter Retrospective Study	Yonsei Med J 2021 Sep;62(9):829-835.	Original Article
35	Eguchi Y, Suzuki M, Orita S, et al.	整形外科	Usefulness of dynamic stabilization with mobile percutaneous pedicle screw for thoracic vertebral fractures in diffuse idiopathic skeletal hyperostosis.	BMJ Case Rep. 2021 Apr 7;14(4):e242042.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
36	Soichiro Tokeshi , Yawara Eguchi , Munetaka Suzuki , et al.	整形外科	Relationship between Skeletal Muscle Mass, Bone Mineral Density, and Trabecular Bone Score in Osteoporotic Vertebral Compression Fractures	Asian Spine J. 2021 Jun;15(3):365-372.	Original Article
37	Enomoto K, Eguchi Y, Sato T, et al.	整形外科	Usefulness of Simultaneous Magnetic Resonance Neurography and Apparent T2 Mapping for the Diagnosis of Cervical Radiculopathy	Asian Spine J. 2021 May 20	Original Article
38	Takaoka H, Inage K, Eguchi Y, et al.	整形外科	Comparison between intervertebral oblique lumbar interbody fusion and transforaminal lumbar interbody fusion: a multicenter study.	Sci Rep. 2021 Aug17;11(1):16673.	Original Article
39	Umimura T, Orita S, Inage K, et al.	整形外科	Percutaneously-quantified advanced glycation end-products (AGEs) accumulation associates with low back pain and lower extremity symptoms in middle-aged low back pain patients	J Clin Neurosci. 2021 Feb;84:15-22.	Original Article
40	Hirohito Kanamoto , Sumihisa Orita , Kazuhide Inage , et al.	整形外科	Effect of Ultrasound-Guided Hydrorelease of the Multifidus Muscle on Acute Low Back Pain	J Ultrasound Med. 2021 May;40(5):981-987.	Original Article
41	Maki S, Furuya T, Yoshii T, et al.	整形外科	Machine Learning Approach in Predicting Clinically Significant Improvements After Surgery in Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Spine (Phila Pa 1976). 2021 Dec 15;46(24):1683-1689.	Original Article
42	Miura M, Maki S, Miura K, et al.	整形外科	Automated detection of cervical ossification of the posterior longitudinal ligament in plain lateral radiographs of the cervical spine using a convolutional neural network.	Sci Rep. 2021 Jun 16;11(1):12702.	Original Article
43	Inoue T, Maki S, Yoshii T, et al.	整形外科	Japanese Multicenter Research Organization for Ossification of the Spinal Ligament. Is anterior decompression and fusion more beneficial than laminoplasty for K-line (+) cervical ossification of the posterior longitudinal ligament? An analysis using propensity score matching.	J Neurosurg Spine. 2022 Jan 14:1-8. /2021.11.SPINE211205. Online ahead of print.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
44	Okimatsu S, Maki S, Furuya T, et al.	整形外科	Determining the short-term neurological prognosis for acute cervical spinal cord injury using machine learning.	J Clin Neurosci. 2022 Feb 5;96:74-79. doi: 10.1016/j.jocn.2021.11.037. PMID: 34998207	Original Article
45	Suzuki T, Maki S, Yamazaki T, et al.	整形外科	Detecting Distal Radial Fractures from Wrist Radiographs Using a Deep Convolutional Neural Network with an Accuracy Comparable to Hand Orthopedic Surgeons.	J Digit Imaging. 2022 Feb;35(1):39-46. doi: 10.1007/s10278-021-00519-1. PMID: 34913132	Original Article
46	Matsuoka A, Tate S, Otsuka S, et al.	婦人科	Right diaphragm resection using a ball-type electrode and soft coagulation for advanced ovarian cancer: techniques and tips.	Int J Gynecol Cancer. 2021 Apr 22;ijgc-2021-002399.	Others
47	Tate S, Nishikimi K, Matsuoka A, et al.	婦人科	Introduction of rectosigmoid colectomy improves survival outcomes in early-stage ovarian cancer patients.	Int J Clin Oncol. 2021 May;26(5):986-994.	Original Article
48	Tate S, Nishikimi K, Matsuoka A, Otsuka S, Shiko Y, Ozawa Y, Kawasaki Y, Shozu M.	婦人科	Bevacizumab in First-Line Chemotherapy Improves Progression-Free Survival for Advanced Ovarian Clear Cell Carcinoma.	Cancers (Basel). 2021 Jun 25;13(13):3177.	Original Article
49	Habu Y, Mitsuhashi A, Hanawa S, et al.	婦人科	High prevalence of pulmonary embolism prior to cancer therapies in patients with ovarian and endometrial cancers detected by contrast-enhanced CT using D-dimer as an index.	J Surg Oncol. 2021 Jul;124(1):106-114.	Original Article
50	Nishikimi K, Tate S, Matsuoka A, Otsuka S, Shozu M.	婦人科	Surgical Techniques and Outcomes of Colorectal Anastomosis after Left Hemicolectomy with Low Anterior Rectal Resection for Advanced Ovarian Cancer.	Cancers (Basel). 2021 Aug 23;13(16):4248.	Original Article
51	Kobayashi T, Ishikawa H, Ishii K, et al.	婦人科	Time-lapse monitoring of fertilized human oocytes focused on the incidence of 0PN embryos in conventional in vitro fertilization cycles.	Sci Rep. 2021 Sep 22;11(1):18862.	Original Article
52	Meika Kaneko, Yoshie Reien, Hanae Morio, et al.	婦人科	Effects of islatravir (4'-ethynyl-2'-fluoro-2'-deoxyadenosine or EFdA) on renal tubular cells and islatravir's interactions with organic anion transporters.	J Pharmacol Sci. 2021 Jun;146(2):82-87.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
53	Iwase T, Baba T, Saito Y, et al.	眼科	Surgical outcomes of vitrectomy for breakthrough vitreous hemorrhage in eyes with exudative age-related macular degeneration.	Int Ophthalmol. 2021 May;41(5):1835-1844.	Original article
54	Baba T, Miura G, Tatsumi T, et al.	眼科	Characteristics and surgical outcomes of rhegmatogenous retinal detachments that develop after intravitreal injections.	Jpn J Ophthalmol. 2021 Jul;65(4):492-496.	Original article
55	Kakisu M, Baba T, Iwase T, et al.	眼科	Relationship between retinal sensitivities and optical coherence tomographic findings in eyes with myopic chorioretinal atrophy.	Eur J Ophthalmol. 2021 Apr 7;11206721211008038. doi: 10.1177/11206721211008038.	Case report
56	Kawamata Y, Baba T, Yokouchi H, et al.	眼科	Partial detachment of internal limiting membrane flap and spontaneous re-covering of macular hole by flap.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2021 Apr 14;22:101089. doi: 10.1016/j.ajoc.2021.101089.	Case report
57	Baba T, Tatsumi T, Oshitari T, et al.	眼科	Four Cases of Rhegmatogenous Retinal Detachment That Recurred More than 10 Years after Initial Reattachment by Pars Plana Vitrectomy.	Case Rep Ophthalmol. 2021 Apr 12;12(1):219-226. doi: 10.1159/000511372.	Case report
58	Nizawa T, Kitahashi M, Baba T, et al.	眼科	Improvements of Retinal Sensitivity after Intravitreal Injection of Aflibercept in Eyes with Neovascular Age-Related Macular Degeneration with or without Polypoidal Choroidal Vasculopathy.	Ophthalmologica. 2021;244(4):347-360.	Original article
59	Ikeda M, Baba T, Aikawa Y, et al.	眼科	Case of Macular Hole Secondary to Ocular Toxoplasmosis Treated Successfully by Vitrectomy with Inverted Internal Limiting Membrane Flap.	Case Rep Ophthalmol. 2021 May 10;12(2):363-368. doi: 10.1159/000514910.	Case report
60	Kakisu M, Baba T, Tatsumi T, et al.	眼科	Refractive errors after sutureless intrascleral fixation of intraocular lens.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2021 Oct;259(10):3003-3009.	Original article
61	Miura G, Baba T, Tatsumi T, et al.	眼科	Effects of Cataract Surgery on Vision-Related Quality of Life in Patients with Retinitis Pigmentosa and the Predictive Factors of Quality of Life Improvement.	Biomed Res Int. 2021 Sep 13;2021:3846867. doi: 10.1155/2021/3846867.	Original article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
62	Shimizu N, Oshitari T, Yotsukura J, et al.	眼科	Ten-year epidemiological study of ocular and orbital tumors in Chiba University Hospital.	BMC Ophthalmol. 2021 Sep 23;21(1):344. doi: 10.1186/s12886-021-02108-w.	Original article
63	Miura G, Baba T, Tatsumi T, et al.	眼科	The Impact of Cataract Surgery on Contrast Visual Acuity and Retinal Sensitivity in Patients with Retinitis Pigmentosa.	J Ophthalmol. 2021 Nov 15;2021:2281834. doi: 10.1155/2021/2281834.	Original article
64	Miyachi H, Wakabayashi S, Sugihira T, et al.	皮膚科	Keratinocyte IL-36 receptor/MyD88 signaling mediates Malassezia-induced IL-17-dependent skin inflammation.	J Infect Dis. 2021;223:1753-1765.	Original Article
65	Shinno-Hashimoto H, Hashimoto Y, Wei Y, et al.	皮膚科	Abnormal composition of microbiota in the gut and skin of imiquimod-treated mice.	Sci Rep. 2021;11:11265.	Original Article
66	Miyachi H, Konishi T, Kumazawa R, et al.	皮膚科	Treatments and outcomes of generalized pustular psoriasis: a cohort of 1516 patients in a nationwide inpatient database in Japan.	J Am Acad Dermatol. 2022; 86:1266-1274.	Original Article
67	Kawashima S, Inozume T, Kawazu M, et al.	皮膚科	TIGIT/CD155 axis mediates resistance to immunotherapy in patients with melanoma with the inflamed tumor microenvironment.	J Immunother Cancer. 2021;9:e003134.	Original Article
68	Matsuzawa T, Shu J, Nakamura Y, et al.	皮膚科	Anaplastic large-cell lymphoma presenting as large ulcerated tumors and small papules in a 15-year-old girl	Dermatologica Sin. 2022;40:54-55	Case report
69	Kamada S, Namekawa T, Ikeda K, et al.	泌尿器科	Functional inhibition of cancer stemness-related protein DPP4 rescues tyrosine kinase inhibitor resistance in renal cell carcinoma	Oncogene. 2021Jun;40(22):3899-3913	Original Article
70	Rii J, Sakamoto S, Sugiura M, et al.	泌尿器科	Functional analysis of LAT3 in prostate cancer: Its downstream target and relationship with androgen receptor.	Cancer Sci.2021 Sep;112(9):3871-3883	Original Article
71	Maimaiti M, Sakamoto S, Sugiura M, et al.	泌尿器科	The heavy chain of 4F2 antigen promote prostate cancer progression via SKP-2	Sci Rep. 2021 Jun 1;11(1):11478.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
72	Kamada S, Ikeda K, Suzuki T, et al.	泌尿器科	Clinicopathological and Preclinical Patient-Derived Model Studies Define High Expression of NRN1 as a Diagnostic and Therapeutic Target for Clear Cell Renal Cell Carcinoma	Front Oncol. 2021 Nov 3;11:758503.	Original Article
73	Xue Zhao, Shinichi Sakamoto, Maihulan Maimaiti, et al.	泌尿器科	Contribution of LAT1-4F2hc in Urological Cancers via Toll-like Receptor and Other Vital Pathways	Cancers (Basel) 2022 Jan 4;14(1):229.	Review
74	Hagemann J, Onorato GL, Tomohisa Inuma, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Differentiation of COVID-19 signs and symptoms from allergic rhinitis and common cold: An ARIA-EAACI-GA 2 LEN consensus	Allergy.2021 Aug;8:2354-2366	Original Article
75	Hozaka Y, Kita Y, Yasudome R, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	RNA-Sequencing Based microRNA Expression Signature of Colorectal Cancer: The Impact of Oncogenic Targets Regulated by miR-490-3p	Int J Mol Sci. 2021 Sep;22:9876	Original Article
76	Hozaka Y, Seki N, Tanaka T, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Molecular Pathogenesis and Regulation of the miR-29-3p-Family: Involvement of ITGA6 and ITGB1 in Intra-Hepatic Cholangiocarcinoma	Cancers (Basel) .2021 Jun;13:2804	Original Article
77	Ichiro Fukumoto, Kazuki Yamasaki, Shuji Yonekura, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A case of jugular bulb diverticulum causing pulsatile tinnitus	Clinical Case Reports.2021 Sep;9(9):e04745.	Case report
78	John Pang, Nam Nguyen, Jens Luebeck, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Extrachromosomal DNA in HPV-Mediated Oropharyngeal Cancer Drives Diverse Oncogene Transcription	Clin Cancer Res.2021 Dec;27:6772-6786	Original Article
79	Kase-Kato I, Asai S, Minemura C, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Molecular Pathogenesis of the Coronin Family: CORO2A Facilitates Migration and Invasion Abilities in Oral Squamous Cell Carcinoma	Int J Mol Sci.2021 Nov;22:12684	Original Article
80	Kawazu M, Katsushige Kawase, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Transcript-targeted analysis reveals isoform alterations and double-hop fusions in breast cancer	Commun Biol.2021 Nov;4(1):1320.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
81	Koma A, Asai S, Minemura C, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of Oncogenic Targets by Tumor-Suppressive miR-139-5p and miR-139-3p Regulation in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Int J Mol Sci.2021 Sep;22:9947	Original Article
82	Minami Koriyama , Yoshitaka Okamoto , Takeshi Suzuki , et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Characteristics of Japanese cypress pollen-induced allergic rhinitis by environmental challenge chamber.	Allergol Int.2022 Jan;1:144-146	Original Article
83	Misawa K, Yamada S, Mima M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Novel prognostic value and potential utility of opioid receptor gene methylation in liquid biopsy for oral cavity cancer.	Curr Probl Cancer.2022 Jan;46:100834	Original Article
84	Mizuno K, Tanigawa K, Misono S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Regulation of Oncogenic Targets by Tumor-Suppressive miR-150-3p in Lung Squamous Cell Carcinoma	Biomedicines.2021 Dec;9:1883	Original Article
85	Nagasaki J, Kawase Katsushige, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	PD-1 blockade therapy promotes infiltration of tumor-attacking exhausted T cell clonotypes	Cell Rep.2022 Feb;38(5):110331.	Original Article
86	Nakagawa T, Kurokawa T, Mima M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	DNA Methylation and HPV-Associated Head and Neck Cancer.	Microorganisms.2021 Apr;10:801	Original Article
87	Nepal P, Hozaka Y, Tanaka T, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of Oncogenic Targets Controlled by Tumor-Suppressive miR-30a-5p in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Anticancer Res.2021 Oct;41:4821-4836	Original Article
88	Oshima S, Asai S, Seki N, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Identification of Tumor Suppressing Genes Regulated by miR-31-5p and miR-31-3p in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Int J Mol Sci.2021 Jun;22:6199	Original Article
89	Pfaar O, Bergmann KC, Tomohisa Iinuma, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Technical standards in allergen exposure chambers worldwide – an EAACI Task Force Report.	Allergy.2021 Dec;12:3589-3612	Original Article
90	Pfaar O, Blumchen K, Tomohisa Iinuma, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Precision medicine reaching out to the patients in allergology – a German-Japanese workshop report.	Allergol Select. 2021 May;5:162-179	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
91	Shinden Y, Hirashima T, Nohata N, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Molecular pathogenesis of breast cancer: impact of miR-99a-5p and miR-99a-3p regulation on oncogenic genes	J Hum Genet.2021 May;66:519-534	Original Article
92	Shunichi Asai, Ayaka Koma, Nijiro Nohata, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of miR-1/miR-133 Clustered miRNAs: PFN2 Facilitates Malignant Phenotypes in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Biomedicines.2022 Mar;10(3):663	Original Article
93	Takeshi Suzuki , Yosuke Seki , Tomoaki Matsumura , et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	"Gas" laryngopharyngeal reflux cause unexplained chronic cough	Auris Nasus Larynx. 2021 Oct;48:1026-1030	Original Article
94	Takeshi Suzuki , Yosuke Seki, Tomoaki Matsumura , et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Reflux-related Extraesophageal Symptoms Until Proven Otherwise: A Direct Measurement of Abnormal Proximal Exposure Based on Hypopharyngeal Multichannel Intraluminal Impedance as a Reliable Indicator for Successful Treatment Outcomes	J Neurogastroenterol Motil.2022 Jan;28:69-77	Original Article
95	Tanaka N, Minemura C, Asai S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Identification of miR-199-5p and miR-199-3p Target Genes: Paxillin Facilitates Cancer Cell Aggressiveness in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Genes (Basel).2021 Nov;27:1910	Original Article
96	Yonekura S, Gotoh M, Kaneko S, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Disease-Modifying Effect of Japanese Cedar Pollen Sublingual Immunotherapy Tablets	J Allergy Clin Immunol Pract.2021 Jul;9:4103-4116	Original Article
97	Yonekura S, Gotoh M, Okano M, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Japanese cedar pollen sublingual immunotherapy is effective in treating seasonal allergic rhinitis during the pollen dispersal period for Japanese cedar and Japanese cypress.	Allergol Int. 2022 Jan;71:140-143	Original Article
98	Sawada D, Ito A, Shiohama T, et al.	小児科	Spontaneous spinal cord infarction in a 10-year-old Japanese girl.	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14909.	Case report
99	Shiohama T, Hisada A, Yamamoto M, et al.	小児科	Decreased head circumference at birth associated with maternal tobacco smoke exposure during pregnancy on the Japanese prospective birth cohort study	Sci Rep . 2021 Sep 23;11(1):18949.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
100	Sawada D, Naito S, Aoyama H, et al.	小児科	Remitting and exacerbating white matter lesions in leukoencephalopathy with thalamus and brainstem involvement and high lactate.	Brain Dev. 2021 Aug;43(7):798-803.	Case report
101	Konda Y, Minamitani K, Takatani T, et al.	小児科	A case of "asymmetrical" Graves' disease with lateral radioisotope uptake.	Pediatr Int. 2021 Sep;63(9):1137-1139.	Case report
102	Sasaki T, Hashimoto K, Niitsu T, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	lifenprodil tartrate treatment of adolescents with post-traumatic stress disorder:A double-blind, placebo-controlled trial.	Psychiatry Research 2022 ;311:114486.	Original Article
103	Shibata S, Oda Y, Ohki N, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Narcolepsy-like symptoms triggered by lemborexant in the context of hyperactive delirium in a patient with bipolar depression: a case report.	Journal of Clinical Sleep Medicine 2022 Jan.	Case report
104	Hasegawa T, Seo T, Kubota Y, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Reliability and validity of the Japanese version of the 4A's Test for delirium screening in the elderly patient.	Asian Journal of Psychiatry . 2022 Jan;67:102918.	Original Article
105	Kanahara N, Yamanaka H, Shiko Y, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	The effects of cumulative antipsychotic dose on brain structures in patients with schizophrenia: Observational study of multiple CT scans over a long-term clinical course.	Psychiatry Research:Neuroimaging 2022 Jan; 319.	Original Article
106	Kimura H.	精神神経科 こどものこころ診療部	Japanese Society of Neuropsychopharmacology (as an author of English translation team). Japanese Society of Neuropsychopharmacology : "Guideline for Pharmacological Therapy of Schizophrenia".	Neuropsychopharmacology Reports 2021 Sep;41(3):266-324.	Original Article
107	Kogure M, Kanahara N, Miyazawa A, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Interacting Roles of COMT and GAD1 Genes in Patients with Treatment-Resistant Schizophrenia: a Genetic Association Study of Schizophrenia Patients and Healthy Controls.	Journal of Molecular Neuroscience 2021 Dec; 71: 2575-2582.	Original Article
108	Iyo M, Ishigooka J, Nakamura M, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Safety and Effectiveness of Lurasidone in Patients with Schizophrenia: A 12-Week, Open-Label Extension Study.	Neuropsychiatric Disease and Treatment 2021 Aug; 17: 2683-2695.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
109	Tanemura N, Sasaki T, Sato J. et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Disease areas requiring pediatric-specific formulations addressed by drug development for pediatric patients: Lessons after the Pediatric Regulation in the European Union.	Clinical Research Professionals 2021; 24-35.	Original Article
110	Shiina A, Sato A, Iyo M, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Identifying factors associated with criminal responsibility by analyzing court trial verdicts.	International Journal of Law and Psychiatry 2021 Jul-Aug; 77.	Original Article
111	Nakata Y, Kanahara N, Kimura A, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Oxytocin system dysfunction in patient with treatment-resistant schizophrenia: Alterations of blood oxytocin levels and effect of a genetic variant of OXTR.	Journal of Psychiatric Research 2021 Jun; 138: 219-227.	Original Article
112	Iyo M, Ishigooka J, Nakamura M, et al.	精神神経科 こどものこころ診療部	Efficacy and safety of lurasidone in acutely psychotic patients with schizophrenia: A 6-week, randomized, double-blind, placebo-controlled study.	Psychiatry and Clinical Neurosciences 2021 Apr; 75: 227-235.	Original Article
113	Shiina A, Hasegawa T, Iyo M.	精神神経科 こどものこころ診療部	Possible effect of blonanserin on gambling disorder: A clinical study protocol and a case report.	World Journal of Clinical Cases 2021 Apr; 9: 2469-2477.	Original Article
114	Kimura H, Kanahara N, Iyo M.	精神神経科 こどものこころ診療部	Rationale and neurobiological effects of treatment with antipsychotics in patients with chronic schizophrenia considering dopamine supersensitivity.	Behavioural Brain Research 2021 Apr; 403.	Review
115	Koma A, Asai S, Minemura C et al.	歯科・顎・口腔外科	Impact of Oncogenic Targets by Tumor-Suppressive miR-139-5p and miR-139-3p Regulation in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma.	International Journal of Molecular Sciences. 2021 Sep 14;22(18):9947.	Original Article
116	Saito T, Terajima M, Taga Y et al.	歯科・顎・口腔外科	Decrease of lysyl hydroxylase 2 activity causes abnormal collagen molecular phenotypes, defective mineralization and compromised mechanical properties of bone.	Bone. 2022 Jan;154:116242.	Original Article
117	Ando T, Kasamatsu A, Kawasaki K et al.	歯科・顎・口腔外科	Tumor Suppressive Circular RNA-102450: Development of a Novel Diagnostic Procedure for Lymph Node Metastasis from Oral Cancer.	Cancers (Basel). 2021 Nov 15;13(22):5708	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
118	Kase-Kato I, Asai S, Minemura C et al.	歯科・顎・口腔外科	Molecular Pathogenesis of the Coronin Family: CORO2A Facilitates Migration and Invasion Abilities in Oral Squamous Cell Carcinoma.	International Journal of Molecular Sciences. 2021 Nov 24;22(23):12684	Original Article
119	Tanaka N, Minemura C, Asai S et al.	歯科・顎・口腔外科	Identification of miR-199-5p and miR-199-3p Target Genes: Paxillin Facilitates Cancer Cell Aggressiveness in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma.	Genes (Basel). 2021 Nov 27;12(12):1910	Original Article
120	Nozaki R, Kasamatsu A, Moss J et al.	歯科・顎・口腔外科	Lysyl hydroxylase 2 deficiency promotes filopodia formation and fibroblast migration.	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2022 Jan 8;587:146-152.	Original Article
121	Kawasaki K, Kasamatsu A, Ando T et al.	歯科・顎・口腔外科	Ginkgolide B Regulates CDDP Chemoresistance in Oral Cancer via the Platelet-Activating Factor Receptor Pathway.	Cancers (Basel). 2021 Dec 15;13(24):6299.	Original Article
122	Komatsu M, Saito K, Miyamoto I et al.	歯科・顎・口腔外科	Aberrant GIMAP2 expression affects oral squamous cell carcinoma progression by promoting cell cycle and inhibiting apoptosis.	Oncology Letters. 2022 Feb;23(2):49.	Original Article
123	Nobuchi T, Saito T, Kasamatsu A, et al.	歯科・顎・口腔外科	Assay for transposase-accessible chromatin with high-throughput sequencing reveals radioresistance-related genes in oral squamous cell carcinoma cells.	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2022 Feb 1;597:115-121.	Original Article
124	Oshima S, Asai S, Seki N et al.	歯科・顎・口腔外科	miR-199-3p Target Genes: Paxillin Facilitates Cancer Cell Aggressiveness in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma.	International Journal of Molecular Sciences. 2021 Jun 8;22(12):6199	Original Article
125	Tarao K, Daimon M, Son K, et al.	麻酔・疼痛・緩和医療科	Risk factors including preoperative echocardiographic parameters for post-induction hypotension in general anesthesia.	J Cardiol. 2021 Sep;78(3):230-236.	Original Article
126	Taiji S, Nishino T, Jin H, et al.	麻酔・疼痛・緩和医療科	Changes in breathing pattern during severe hypothermia and autoresuscitation from hypothermic respiratory arrest in anesthetized mice.	Physiol Rep. 2021 Dec;9(23):e15139.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
127	Kubota M, Yoshida Y, Kobayashi E, et al	脳神経外科	Serum anti-SERPINE1 antibody as a potential biomarker of acute cerebral infarction	Sci Rep. 2021 Nov 5;11(1):21772. doi: 10.1038/s41598-021-01176-8.	Original Article
128	Hara A, Koyama-Nasu R, Takami M, et al	脳神経外科	CD1d expression in glioblastoma is a promising target for NKT cell-based cancer immunotherapy	Cancer Immunol Immunother. 2021 May;70(5):1239-1254. doi: 10.1007/s00262-020-02742-1. Epub 2020 Oct 31.	Original Article
129	Hirono S, Gao Y, Matsutani T, et al	脳神経外科	Metabolic, immunohistochemical, and genetic profiling of a cerebellar liponeurocytoma with spinal dissemination: a case report and review of the literature	Brain Tumor Pathol. 2021 Jul;38(3):257-262. doi: 10.1007/s10014-021-00405-2. Epub 2021 Jun 17.	Original Article
130	Higuchi Y, Ikegami S, Horiguchi K, et al	脳神経外科	Predicting Potential of Rapid Tumor Growth in Small to Medium Vestibular Schwannomas on the Basis of Sway Assessed Using Posturography	World Neurosurg. 2021 Apr;148:e406-e414. doi: 10.1016/j.wneu.2020.12.175. Epub 2021 Jan 11.	Original Article
131	Hirono S, Ozaki K, Kobayashi M, et al	脳神経外科	Oncological and functional outcomes of supratotal resection of IDH1 wild-type glioblastoma based on (11)C-methionine PET: a retrospective, single-center study	Sci Rep. 2021 Jul 15;11(1):14554. doi: 10.1038/s41598-021-93986-z.	Original Article
132	Li Y, Yoshida Y, Kobayashi E, et al	脳神経外科	Serum anti-AP3D1 antibodies are risk factors for acute ischemic stroke related with atherosclerosis	Sci Rep. 2021 Jun 29;11(1):13450. doi: 10.1038/s41598-021-92786-9.	Original Article
133	Hiwasa T, Wang H, Goto KI, et al	脳神経外科	Serum anti-DIDO1, anti-CPSF2, and anti-FOXJ2 antibodies as predictive risk markers for acute ischemic stroke	BMC Med. 2021 Jun 9;19(1):131. doi: 10.1186/s12916-021-02001-9.	Original Article
134	Ito, M, Higuchi Y, Horiguchi K, et al	脳神経外科	An aberrant venous channel mimicking the perilyabyrinthine cells in the petrous bone of a patient with vestibular schwannoma: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons 2021; 2(18): CASE21487	Case report
135	Ozaki K, Higuchi Y, Nakano S, et al	脳神経外科	Arachnoid cyst alone causes hemifacial spasm: illustrative case. Arachnoid cyst alone causes hemifacial spasm: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons 2022; 3(15): CASE2275	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
136	Wakita S, Tamiya A, Higuchi Y, et al	脳神経外科	Metastasis of Renal Cell Carcinoma to Spinal Hemangioblastoma in a Patient with von Hippel-Lindau Disease: A Case Report	NMC Case Rep J. 2021 Jun 5;8(1):129-135. doi: 10.2176/nmccrj.cr.2020-0143. eCollection 2021.	Case report
137	Sugiyama T, Tajima Y, Yoshida Y, et al	脳神経外科	Transarterial embolization for falx dural arteriovenous fistula through the artery of Davidoff and Schechter: A case report	Radiol Case Rep. 2021 Dec 28;17(3):700-705. doi: 10.1016/j.radcr.2021.12.013. eCollection 2022 Mar.	Case report
138	Sasaki M, Hirono S, Gao Y, et al	脳神経外科	Clinicopathological and Genomic Features of Pediatric Intracranial Myxoid Mesenchymal Tumor with both of EWSR1-CREM Gene Fusion and MAP3K13 Mutation: A Case Report and Comparison with Adult Cases in the Literature	NMC Case Rep J. 2022 May 18;9:101-109. doi: 10.2176/jns-nmc.2021-0385. eCollection 2022.	Case report
139	Onozato Y, Nakajima T, Yokota H	呼吸器外科	Radiomics is feasible for prediction of spread through air spaces in patients with nonsmall cell lung cancer	Sci Rep. 2021 Jun; 11(1):13526	Original Article
140	Hata A, Nakajima T, Matsusaka K	呼吸器外科	Genetic alterations in squamous cell lung cancer associated with idiopathic pulmonary fibrosis	Int J Cancer. 2021 Jun;148(12):3008-3018	Original Article
141	Abe M, Tsushima K, Ishii D, et al.	呼吸器内科	Risk factors for acute exacerbation following bronchoalveolar lavage in patients with suspected idiopathic pulmonary fibrosis: A retrospective cohort study.	Adv Respir Med. 2021 Apr 21;89(2):101-109.	Original Article
142	Sakao S, Kawakami E, Shoji H, et al.	呼吸器内科	Metabolic remodeling in the right ventricle of rats with severe pulmonary arterial hypertension.	Mol Med Rep. 2021 Apr;23(4):227.	Original Article
143	Shimomura I, Watanabe N, Yamamoto T, et al.	呼吸器内科	Selective targeting of KRAS-driven lung tumorigenesis via unresolved ER stress.	JCI Insight. 2021 Apr 8;6(7):e137876.	Original Article
144	Ishiwata T, Ujii H, Gregor A, et al.	呼吸器内科	Pilot study using virtual 4-D tracking electromagnetic navigation bronchoscopy in the diagnosis of pulmonary nodules: a single center prospective study.	J Thorac Dis. 2021 May;13(5):2885-2895.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
145	Miwa H, Sakao S, Sanada TJ, et al.	呼吸器内科	Cell tracking suggests pathophysiological and therapeutic role of bone marrow cells in Sugen5416/hypoxia rat model of pulmonary arterial hypertension.	Can J Cardiol. 2021 Jun;37(6):913-923.	Original Article
146	Saito G, Ebata T, Ishiwata T, et al.	呼吸器内科	Risk factors for skeletal-related events in non-small cell lung cancer patients treated with bone-modifying agents.	Support Care Cancer. 2021 Jul;29(7):4081-4088.	Original Article
147	Yamamoto K, Tanabe N, Takahashi Y, et al.	呼吸器内科	Characteristics of patients meeting the new definition of pre-capillary pulmonary hypertension (Nice 2018) in a single Japanese pulmonary hypertension center	BMC Pulm Med. 2021 Aug 9;21(1):260.	Original Article
148	Saito G, Oya Y, Taniguchi Y, et al.	呼吸器内科	Real-world survey of pneumonitis and its impact on durvalumab consolidation therapy in patients with non-small cell lung cancer who received chemoradiotherapy after durvalumab approval (HOPE-005/CRIMSON).	Lung Cancer. 2021 Sep 5;161:86-93.	Original Article
149	Matsumura A, Shigeta A, Kasai H, et al.	呼吸器内科	Interventricular septal curvature as an additional echocardiographic parameter for evaluating chronic thromboembolic pulmonary hypertension: A single-center retrospective study.	BMC Pulm Med. 2021 Oct 20;21(1):328.	Original Article
150	Saito G, Kono M, Koyanagi Y, et al.	呼吸器内科	Significance of Brain Imaging for Staging in Patients With Clinical Stage T1-2 N0 Non-Small-Cell Lung Cancer on Positron Emission Tomography/Computed Tomography.	Clin Lung Cancer. 2021 Nov;22(6):562-569.	Original Article
151	Shigeta A, Tanabe N, Naito A, et al.	呼吸器内科	Preoperative soluble cluster of differentiation 40 ligand level is associated with outcome of pulmonary endarterectomy.	JTCVS Open. 2021 Dec;8:618-629.	Original Article
152	Shoji H, Yoshida Y, Sanada TJ, et al.	呼吸器内科	The Isoquinoline-Sulfonamide Compound H-1337 Attenuates SU5416/Hypoxia-Induced Pulmonary Arterial Hypertension in Rats.	Cells. 2021 Dec 27;11(1):66.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
153	Takahashi Y, Kawasaki T, Sato H, et al.	呼吸器内科	Functional Roles for CD26/DPP4 in Mediating Inflammatory Responses of Pulmonary Vascular Endothelial Cells.	Cells. 2021 Dec 11;10(12):3508.	Original Article
154	Yanagisawa A, Naito A, Sanada TJ, et al.	呼吸器内科	Vascular involvement in chronic thromboembolic pulmonary hypertension is associated with spirometry obstructive impairment.	BMC Pulm Med. 2021 Dec 9;21(1):407.	Original Article
155	Yoshioka K, Sato H, Kawasaki T, et al.	呼吸器内科	Transcriptome Analysis of Peripheral Blood Mononuclear Cells in Pulmonary Sarcoidosis.	Front Med (Lausanne). 2022 Jan 24;9:822094.	Original Article
156	Isaka Y, Hirasawa Y, Terada J, et al.	呼吸器内科	Preliminary study regarding the predicted body weight-based dexamethasone therapy in patients with COVID-19 pneumonia.	Pulm Pharmacol Ther. 2022 Feb;72:102108.	Original Article
157	Shikano K, Abe M, Shiko Y, et al.	呼吸器内科	What are the factors affecting the recovery rate of bronchoalveolar lavage fluid?.	Clin Respir J. 2022 Feb;16(2):142-151.	Original Article
158	Shimada A, Kawata N, Sato H, et al.	呼吸器内科	Dynamic quantitative magnetic resonance imaging assessment of areas of the lung during free-breathing of patients with chronic obstructive pulmonary disease.	Acad Radiol. 2022 Feb;29 Suppl 2:S215-S225.	Original Article
159	Yoshioka K, Abe M, Shiko Y, et al.	呼吸器内科	Clinical Characteristics and Risk Factors of Lung Injury Induced by Nab-Paclitaxel.	Drug Des Devel Ther. 2022 Mar 22;16:759-767.	Original Article
160	Nagata J, Kawasaki T, Iesato K, et al.	呼吸器内科	A Case of Candidemia after Long-term Presence of Urethral Foreign Bodies.	IDCases. 2021 Jun 8;25:e01176.	Case report
161	Suzuki Y, Sekine A, Nishiyama A, et al.	呼吸器内科	A case of pulmonary arterial hypertension with V/Q SPECT/CT that showed localized uptake of 99mTc just below the pleura and a unique distribution.	Respirol Case Rep. 2021 Sep 14;9:e0847.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
162	Kasai H, Terada J, Nagata J, et al.	呼吸器内科	A case of thoracic air leak syndrome with pleural parenchymal fibroelastosis after treatment for hematologic malignancy while awaiting lung transplantation: Imaging and pathological findings of rapid loss in lung volume.	Respir Med Case Rep. 2022 Mar 14;37:101630.	Case report
163	Hashimoto Y, Suzuki T, Hashimoto K.	呼吸器内科	Old drug fluvoxamine, new hope for COVID-19.	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. 2022 Feb;272(1):161-163.	Review
164	Ikeda H, Togashi Y.	呼吸器内科	Aging, cancer, and antitumor immunity.	Int J Clin Oncol. 2022 Feb;27(2):316-322.	Review
165	Kawasaki T, Nakagawa N, Murata M, et al.	呼吸器内科	Diagnostic accuracy of urinary antigen tests for legionellosis A systematic review and meta-analysis.	Respir Investig. 2022 Mar;60(2):205-214.	Review
166	Fujimoto K, Kimura Y, Allegretti JR, et al.	小児外科	Functional Restoration of Bacteriomes and Viromes by Fecal Microbiota Transplantation.	Gastroenterology. 2021;160:2089-2102.	Original Article
167	Hiratsuka K, Nakamura N, Sato N, , et al.	小児外科	How Parents of Adolescents and Young Adults with Biliary Atresia Surviving with Native Livers Transfer the Responsibility of Medical Treatment to Their Children in Japan.	J Pediatr Nurs. 2021;61:115-121.	Original Article
168	Hishiki T, Honda S, Takama Y, , et al.	小児外科	Feasibility of Real-Time Central Surgical Review for Patients with Advanced-Stage Hepatoblastoma in the JPLT3 Trial.	Children (Basel) 2022; 9: 234.	Original Article
169	Hiyama E, Hishiki T, Watanabe K, et al.	小児外科	The prognostic evaluation of marginal positive resection in hepatoblastoma: Japanese experience.	Hepatoma Res 2021;7:44.	Original Article
170	Ito M, Terui K, Nagata K, et al.	小児外科	Clinical guidelines for the treatment of congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Int. 2021;63:371-90.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
171	Kawakubo N, Hishiki T, Arakawa A, et al.	小児外科	Surgical Treatment for Pneumothorax and Tumor-bronchial Fistula Secondary to Pulmonary Metastasis of Osteosarcoma in Pediatric and Adolescent Patients.	J Pediatr Hematol Oncol. 2022 Jan 28.	Original Article
172	Kawanishi Y, Endo M, Fujii M, et al.	小児外科	Optimal timing of delivery for pregnancies with prenatally diagnosed congenital diaphragmatic hernia: a propensity-score analysis using the inverse probability of treatment weighting.	J Perinatol. 2021;41:1893-900.	Original Article
173	Kawano T, Souzaki R, Sumida W, et al.	小児外科	Laparoscopic approach for abdominal neuroblastoma in Japan: results from nationwide multicenter survey.	Surg Endosc. 2022 May;36(5):3028-3038.	Original Article
174	Kawano T, Souzaki R, Sumida W, et al.	小児外科	Current thoracoscopic approach for mediastinal neuroblastoma in Japan—results from nationwide multicenter survey.	Pediatr Surg Int. 2021 Dec;37(12):1651-1658.	Original Article
175	Mise N, Terui K, Mitsunaga T, et al.	小児外科	Delivery time of two cases of fetal intestinal volvulus.	Pediatr Int. 2022;64:e15137.	Original Article
176	Nagae G, Yamamoto S, Fujita M, et al.	小児外科	Genetic and epigenetic basis of hepatoblastoma diversity.	Nat Commun. 2021;12:5423.	Original Article
177	Nakata M, Honda H, Iwama A, et al.	小児外科	Wnt5a plays a critical role in anal opening in mice at an early stage of embryonic development.	Pediatric Surgery International. 2022;38:743-747.	Original Article
178	Nishimura K, Terui K, Mise N, et al.	小児外科	Larger Physique as a Risk Factor for Infantile Appendicitis: A Retrospective Study.	Pediatr Rep. 2022;14:20-5.	Original Article
179	Ohira M, Nakamura Y, Takimoto T, et al.	小児外科	Retrospective Analysis of INRG Clinical and Genomic Factors for 605 Neuroblastomas in Japan: A Report from the Japan Children's Cancer Group Neuroblastoma Committee (JCCG-JNBSG).	Biomolecules. 2021 Dec 23;12(1):18.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
180	Komatsu S, Terui K, Nakata M, et al.	小児外科	Combined Use of Three-Dimensional Construction and Indocyanine Green-Fluorescent Imaging for Resection of Multiple Lung Metastases in Hepatoblastoma.	Children (Basel). 2022;9:376.	Original Article
181	Okawada M, Ohfuji S, Yamoto M, et al.	小児外科	Thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia in neonates: findings of a multicenter study in Japan.	Surg Today. 2021;51:1694-702.	Original Article
182	Terui K, Furukawa T, Nagata K, et al.	小児外科	Best pre-ductal PaO ₂ prior to extracorporeal membrane oxygenation as predictor of mortality in patients with congenital diaphragmatic hernia: a retrospective analysis of a Japanese database.	Pediatr Surg Int. 2021;37:1667-73.	Original Article
183	Watanabe K, Mori M, Hishiki T, et al.	小児外科	Feasibility of dose-dense cisplatin-based chemotherapy in Japanese children with high-risk hepatoblastoma: Analysis of the JPLT3-H pilot study.	Pediatr Blood Cancer. 2022 Feb;69(2):e29389.	Original Article
184	Kudo W, Kouchi K, Takenouchi A, et al.	小児外科	Recurrent massive bleeding from a small intestinal arteriovenous malformation after surgery for biliary atresia in an infant: a case report and literature review.	Surg Case Rep. 2021;7:204.	Original Article
185	Yoshizawa H, Terui K, Nakata M, et al.	小児外科	Amylase Levels Are Useful for Diagnosing Omphalomesenteric Cysts: A Case Report.	Pediatr Rep. 2022;14:127-30.	Original Article
186	Furugane R, Kobayashi T, Hashizume N, et al.	小児外科	Recurrent outflow obstruction of a choked catheter for peritoneal dialysis caused by a fallopian tube fimbria in a five-month-old female.	J Pediatr Surg Case Reports. 2022; Volume 76: Article 102131.	Original Article
187	Akamine H, Uzawa A, Kuwabara S.	脳神経内科	Adequate Initial Dosage and Tapering Methods of Steroids to Reduce the Total Corticosteroid Dose in Myasthenia Gravis	JAMA Neurol. 2021 Sep 1;78(9):1153.	Others

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
188	Aoki R, Mori M, Suzuki Y I, Uzawa A, et al.	脳神経内科	Cryptococcal Meningitis in a Fingolimod-Treated Patient: Positive Antigen Test a Year Before Onset	Neurol Clin Pract.2021 Aug;11(4):e549-e550.	Case report
189	Araki N, Yamanaka Y, Poudel A, et al.	脳神経内科	Electrogastrography for diagnosis of early-stage Parkinson's disease	Parkinsonism Relat Disord.2021;86:61-66.	Original Article
190	Asseyer S, Masuda H, Mori M, et al.	脳神経内科	AQP4-IgG autoimmunity in Japan and Germany: Differences in clinical profiles and prognosis in seropositive neuromyelitis optica spectrum disorders	Mult Scler J Exp Transl Clin.2021;7(2):20552173211006862.	Original Article
191	Hiraga A, Mori M, Kuwabara S.	脳神経内科	Dementia and Parkinson-like syndrome with basal ganglia lesion in neuromyelitis optica spectrum disorders	Neurocase.2021;27(2):223-226.	Original Article
192	Hirano S, Sakakibara R, Komatsu N, et al.	脳神経内科	Characteristics of Early-Onset Dementia in Chiba Prefecture, Japan: A Multicenter Survey	Dement Geriatr Cogn Disord.2021;50(3):283-288.	Original Article
193	Homma H, Tanaka H, Jin M, et al.	脳神経内科	DNA damage in embryonic neural stem cell determines FTLDs' fate via early-stage neuronal necrosis	Life Science Alliance.2021 Jun 15;4(7):e202101022.	Original Article
194	Hiwasa T, Wang H, Goto K I, et al.	脳神経外科	Serum anti-DIDO1, anti-CPSF2, and anti-FOXJ2 antibodies as predictive risk markers for acute ischemic stroke	BMC Med.2021;19(1):131.	Original Article
195	Kobayashi M, Kuwabara S.	脳神経内科	The Association of Visually Guided Saccades and DAT-SPECT Findings in Parkinson's Disease	Eur Neurol.2021;84(2):110-118.	Original Article
196	Kojima Y, Uzawa A, Ozawa Y, et al.	脳神経内科	Rate of change in acetylcholine receptor antibody levels predicts myasthenia gravis outcome	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021 Sep;92(9):963-968.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
197	Kristensen A G, Gylfadottir S, Itani M, et al.	脳神経内科	Sensory and motor axonal excitability testing in early diabetic neuropathy	Clin Neurophysiol.2021;132(7):1407-1415.	Original Article
198	Kumutpongpanich T, Ogasawara M, Ozaki A, et al.	脳神経内科	Clinicopathologic Features of Oculopharyngodistal Myopathy With LRP12 CGG Repeat Expansions Compared With Other Oculopharyngodistal Myopathy Subtypes	JAMA Neurol.2021 Jul 1;78(7):853-863.	Others
199	Kurumada K, Sugiyama A, Hirano S, et al.	脳神経内科	Pareidolia in Parkinson's Disease and Multiple System Atrophy	Parkinsons Dis.2021 Oct 31;2021:2704755.	Original Article
200	Lee C, Suzuki Y, Misawa S.	脳神経内科	Role of plasma exchange for autoimmune autonomic ganglionopathy: A case report	Ther Apher Dial.2021 Dec;25(6):1016-1017.	Case report
201	Liu J, Mori M, Zimmermann H, et al.	脳神経内科	Anti-MOG antibody-associated disorders: differences in clinical profiles and prognosis in Japan and Germany	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021;92(4):377-383.	Original Article
202	Liu W, Yamamoto T, Yamanaka Y, et al.	脳神経内科	Neuropsychiatric Symptoms in Parkinson's Disease After Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation	Front Neurol.2021;12:656041.	Original Article
203	Luijten L W G, Leonhard S E, van der Eijk A A, et al.	脳神経内科	Guillain-Barre syndrome after SARS-CoV-2 infection in an international prospective cohort study	Brain.2021 Dec 16;144(11):3392-3404.	Original Article
204	Maimaitiming B, Uzawa A, Ozawa Y, et al.	脳神経内科	High mobility group box 1 is involved in the pathogenesis of passive transfer myasthenia gravis model	Neuroreport.2021;32(9):803-807.	Original Article
205	Ozawa Y, Uzawa A, Yasuda M, et al.	脳神経内科	Long-term outcomes and prognostic factors in generalized myasthenia gravis	J Neurol. 2021 Oct;268(10):3781-3788.	Others
206	Sakurai T, Hirano S, Abe M, et al.	脳神経内科	Dysfunction of the left angular gyrus may be associated with writing errors in ALS	Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener.2021;22(3-4):267-275.	Others

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
207	Sano K, Asahina M, Uehara T, et al.	脳神経内科	Clear cell injury associated with reduced expression of carbonic anhydrase II in eccrine glands consistently occurs in patients with acquired idiopathic generalized anhidrosis	J Dermatol.2021 Apr;48(4):439-446.	Original Article
208	Sawai S, Mori M, Makino T, et al.	脳神経内科	Severe orthostatic hypotension associated with lesions of the area postrema in neuromyelitis optica spectrum disorder	eNeurologicalSci.2021;23:1003-35.	Case report
209	Shikino K, Sato R, Hanazawa N, et al.	脳神経内科	Chronic clicking tinnitus due to palatal tremor: essential or secondary?	Lancet.2021 Jun 19;397(10292):e16.	Others
210	Shimizu S, Iijima M, Fukami Y, et al.	脳神経内科	Efficacy and Safety of Rituximab in Refractory CIDP With or Without IgG4 Autoantibodies (RECIPE): Protocol for a Double-Blind, Randomized, Placebo-Controlled Clinical Trial	JMIR Res Protoc.2020;9(4):e17117.	Others
211	Sugimoto K, Mori M, Liu J, et al.	脳神経内科	Novel serum autoantibodies against β -actin (ACTB) in amyotrophic lateral sclerosis	Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener.2021 Aug;22(5-6):388-394.	Original Article
212	Sugiyama A, Onishi Y, Ito K, et al.	脳神経内科	Marked Respiratory Failure in an Ambulant Patient with Immune-mediated Necrotizing Myopathy and Anti-Kv1.4 and Anti-titin Antibodies	Intern Med.2021 Aug 15;60(16):2671-2675.	Original Article
213	Sugiyama A, Cooper G, Hirano S, et al.	脳神経内科	Cognitive Impairment in Multiple System Atrophy Is Related to White Matter Damage Detected by the T1-Weighted/T2-Weighted Ratio	Eur Neurol.2021;84(6):435-443.	Original Article
214	Sugiyama A, Suzuki M, Suichi T, et al.	脳神経内科	Gerstmann's Syndrome in a Patient Double-positive for Antibodies against the N-methyl-D-aspartate Receptor and NH(2)-terminal of α -enolase	Intern Med.2021;60(9):1463-1468.	Original Article
215	Sugiyama A, Takeda T, Koide M, et al.	脳神経内科	Coexistence of neuronal intranuclear inclusion disease and amyotrophic lateral sclerosis: an autopsy case	BMC Neurol.2021 Jul 9;21(1):273.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
216	Sugiyama A, Yokota H, Hirano S, Cooper G, Mukai H, Koide K, Wang J, Ito S, Finke C, Brandt A U, Paul F, Kuwabara S.	脳神経内科	Magnetic resonance T1w/T2w ratio in the middle cerebellar peduncle might be a sensitive biomarker for multiple system atrophy	Eur Radiol.2021;31(6):4277-4284.	Others
217	Sugiyama A, Yokota H, Misawa S, Mukai H, Sekiguchi Y, Koide K, Suichi T, Matsushima J, Kishimoto T, Tanei Z I, Saito Y, Ito S, Kuwabara S.	脳神経内科	Cerebral large artery stenosis and occlusion in POEMS syndrome	BMC Neurol.2021 Jun 24;21(1):239.	Original Article
218	Suzuki Y I, Ma Y, Shibuya K, Misawa S, Suichi T, Tsuneyama A, Nakamura K, Matamala J M, Dharmadasa T, Vucic S, Fan D, Kiernan M C , Kuwabara S.	脳神経内科	Effect of racial background on motor cortical function as measured by threshold tracking transcranial magnetic stimulation	J Neurophysiol.2021 Sep 1;126(3):840-844.	Original Article
219	Tohnai G, Nakamura R, Atsuta N, et al.	脳神経内科	Mutation screening of the DNAJC7 gene in Japanese patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Neurobiol Aging.2021 Dec 11;S0197-4580(21)00358-4.	Original Article
220	Uzawa A, Akamine H, Kojima Y, et al.	脳神経内科	High levels of serum interleukin-6 are associated with disease activity in myasthenia gravis	J Neuroimmunol.2021 Sep 15;358:577634.	Original Article
221	Van den Bergh P Y K, van Doorn P A, Hadden R D M, et al.	脳神経内科	European Academy of Neurology/Peripheral Nerve Society Guideline on diagnosis and treatment of chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy: Report of a joint Task Force – Second Revision	J Peripher Nerv Syst.2021 Sep;26(3):242-268.	Case report
222	Van den Bergh P Y K, van Doorn P A, Hadden R D M, et al.	脳神経内科	European Academy of Neurology/Peripheral Nerve Society guideline on diagnosis and treatment of chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy: Report of a joint Task Force-Second revision	Eur J Neurol.2021 Nov;28(11):3556-3583.	Others
223	Verboon C, Harbo T, Cornblath D R, et al.	脳神経内科	Intravenous immunoglobulin treatment for mild Guillain-Barré syndrome: an international observational study	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021 Oct;92(10):1080-1088.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
224	Wingerchuk D M, Fujihara K, Palace J, et al.	脳神経内科	Long-Term Safety and Efficacy of Eculizumab in Aquaporin-4 IgG-Positive NMOSD	Ann Neurol. 2021 Jun;89(6):1088-1098.	Original Article
225	Yamamoto Y, Matsui N, Uzawa A, et al.	脳神経内科	Intrathymic Plasmablasts Are Affected in Patients With Myasthenia Gravis With Active Disease	Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm.2021 Sep 24;8(6):e1087.	Original Article
226	Arends S, Drenthen J, van den Bergh P, et al.	脳神経内科	Electrodiagnosis of Guillain-Barre syndrome in the International GBS Outcome Study: Differences in methods and reference values	Clin Neurophysiol.2022 Jan 13;S1388-2457(22)00011-6.	Original Article
227	Doets A Y, Lingsma H F, Walgaard C, et al.	脳神経内科	Predicting Outcome in Guillain-Barre Syndrome: International Validation of the Modified Erasmus GBS Outcome Score	Neurology.2022 Feb 1;98(5):e518-e532.	Original Article
228	Fukushima W, Hara M, Kitamura Y, et al.	脳神経内科	A nationwide epidemiological survey of adolescent patients with diverse symptoms similar to those following human papillomavirus vaccination: background prevalence and incidence for considering vaccine safety in Japan	J Epidemiol.2022 Jan 5;32(1):34-43.	Original Article
229	Hasegawa T, Seo T, Kubota Y, et al.	脳神経内科	Reliability and validity of the Japanese version of the 4A's Test for delirium screening in the elderly patient	Asian J Psychiatr.2022 Jan;67:102918.	Original Article
230	Hatano T, Kano O, Sengoku R, et al.	脳神経内科	Evaluating the impact of adjunctive istradefylline on the cumulative dose of levodopa-containing medications in Parkinson's disease: study protocol for the ISTRA ADJUST PD randomized, controlled study	BMC Neurol.2022 Mar 3;22(1):71.	Others
231	Hiraga A, Kuwabara S.	脳神経内科	Isolated spinothalamic sensory impairment of the contralateral lower limb due to lateral medullary infarction	Neurol Sci.2022 Jan;43(1):725-726.	Others

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
232	Hiraga A, Kuwabara S.	脳神経内科	Ischemic Stroke Due to Metastatic Cervical Bone Tumor: The Importance of 'Peripheral Vision'	Am J Med.2022 Mar 17;S0002-9343(22)00197-8.	Case report
233	Masuda H, Mori M, Hirano S, et al.	脳神経内科	Silent progression of brain atrophy in aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2022 Jan;93(1):32-40.	Original Article
234	Niino M, Fukumoto S, Okuno T, et al.	脳神経内科	Correlation of the symbol digit modalities test with the quality of life and depression in Japanese patients with multiple sclerosis	Mult Scler Relat Disord.2022 Jan;57:103427.	Original Article
235	Ohira K, Yokota H, Hirano S, et al.	脳神経内科	DRD2 Taq1A Polymorphism-Related Brain Volume Changes in Parkinson's Disease: Voxel-Based Morphometry	Parkinsons Dis.2022 Mar 28;2022:8649195.	Original Article
236	Oide S , Okubo R, Mitsuhashi T, et al.	脳神経内科	Clinical gynaecological perspectives to improve validity in clinical research: comment on the article by Chiuve et al	J Epidemiol Community Health.2022 Mar 4;jech-2021-218426.	Others
237	Shibuya K, Otani R, Suzuki Y I, et al.	脳神経内科	Neuronal Hyperexcitability and Free Radical Toxicity in Amyotrophic Lateral Sclerosis: Established and Future Targets	Pharmaceuticals (Basel).2022 Mar 31;15(4):433.	Others
238	Sugiyama A, Terada J, Shionoya Y, et al.	脳神経内科	Sleep-related hypoventilation and hypercapnia in multiple system atrophy detected by polysomnography with transcutaneous carbon dioxide monitoring	Sleep Breath.2022 Jan 13;1-11.	Original Article
239	Suzuki Y, Shibuya K, Misawa S, et al.	脳神経内科	Fasciculation intensity and limb dominance in amyotrophic lateral sclerosis: a muscle ultrasonographic study	BMC Neurol.2022 Mar 11;22(1):85.	Others
240	Suzuki Y, Sugiyama A, Muto M, et al.	脳神経内科	Early Diagnosis of V180I Genetic Creutzfeldt-Jakob Disease at the Preserved Cognitive Function Stage	Cureus.2022 Mar 21;14(3):e23374.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
241	Tsuneyama A, Shibuya K, Misawa S, et al.	脳神経内科	Fatigue and activity-dependent conduction block in neuromuscular disorders	Clin Neurophysiol Pract.2022 Mar 2;7:71-77.	Others
242	Watanabe K, Shibuya K, Misawa S, et al.	脳神経内科	Impaired neuromuscular transmission in facial muscles of amyotrophic lateral sclerosis: A single-fiber electromyography study	Neurology and Clinical Neuroscience.2022 Mar;10(2):78-82.	Original Article
243	Yasuda M, Uzawa A, Ozawa Y, et al.	脳神経内科	Immunoabsorption apheresis versus intravenous immunoglobulin therapy for exacerbation of myasthenia gravis	Scand J Immunol.2022 Feb;95(2):e13122.	Original Article
244	Yasuda M, Yamanaka Y, Kano H, et al.	脳神経内科	Recurrent Cerebral Infarcts Associated with Uterine Adenomyosis: Successful Prevention by Surgical Removal	Intern Med.2022 Mar 1;61(5):735-738.	Original Article
245	Hirano S.	脳神経内科	Clinical implications for dopaminergic and functional neuroimage research in cognitive symptoms of Parkinson's disease	Mol Med.2021 Apr 15;27(1):40.	Review
246	Kohle F, Kuwabara S, Lehmann H C.	脳神経内科	Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy and pregnancy: systematic review	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021;92(5):473-478.	Review
247	Masuda H, Mori M, Kuwabara S.	脳神経内科	Remyelination and neuroprotective effects of alemtuzumab therapy in patients with multiple sclerosis	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021 Dec;92(12):1251.	Review
248	Mori M.	脳神経内科	Insights from the differences in clinical profiles of neuroimmune disorders between patients in Japan and those in Western countries	Clinical and Experimental Neuroimmunology.2021 Aug;12(3):146-147.	Review
249	Sawai S, Mori M, Kuwabara S.	脳神経内科	Methodology for identification of new target molecules in neuroimmunological disorders	Clinical and Experimental Neuroimmunology.2021 Aug;12(3):202-207.	Review

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
250	Uzawa A, Mori M, Kuwabara S.	脳神経内科	Different patterns of brainstem and cerebellar MRI abnormalities in demyelinating disorders with MOG and aquaporin-4 antibodies	J Neurol Neurosurg Psychiatry.2021;92(4)348.	Review
251	Imaeda T, Hattori N, Abe R, et al.	救急科・集中治療部	Interhospital transportation of a COVID-19 patient undergoing veno-venous extracorporeal membrane oxygenation by helicopter.	The American journal of emergency medicine 2021; 43: 290.e5-290.e7.	Case report
252	Shimazui T, Nakada TA, Yazaki M, et al.	救急科・集中治療部	Blood interleukin-6 levels predict multiple organ dysfunction in critically ill patients.	Shock 2021; 55: 790-795.	Original Article
253	Imaeda T, Nakada TA, Takahashi N, et al.	救急科・集中治療部	Trends in the incidence and outcome of sepsis using data from a Japanese nationwide medical claims database—the Japan Sepsis Alliance (JaSA) study group.	Critical care 2021; 25: 338.	Original Article
254	Hayashi Y, Shimada T, Hattori N, et al.	救急科・集中治療部	A prehospital diagnostic algorithm for strokes using machine learning: a prospective observational study.	Scientific reports 2021; 11: 20519.	Original Article
255	Tanaka K, Nakada TA, Takahashi N, et al.	救急科・集中治療部	Superiority of supervised machine learning on reading chest X-rays in intensive care units.	Frontiers in medicine 2021; 8: 676277.	Original Article
256	Hashida T, Hata N, Higashi A, et al.	救急科・集中治療部	Lifesaving hemostasis with resuscitative endovascular balloon occlusion of the aorta in a patient with cardiac arrest caused by upper gastrointestinal hemorrhage.	Frontiers in medicine 2021; 8: 777421.	Case report
257	Shimazui T, Nakada TA, Kuroiwa S, et al.	救急科・集中治療部	Speech recognition shortens the recording time of prehospital medical documentation.	American Journal of Emergency Medicine 2021; 49: 414-416.	Review
258	Watanabe E, Takasu O, Teratake Y, et al.	救急科・集中治療部	A thrombomodulin promoter gene polymorphism, rs2239562, influences both susceptibility to and outcome of sepsis.	Frontiers in medicine 2022; 8: 762198.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
259	Watanabe E, Akamatsu T, Ohmori M, et al.	救急科・集中治療部	Recombinant thrombomodulin attenuates hyper-inflammation and glycocalyx damage in a murine model of Streptococcus pneumoniae-induced sepsis.	Cytokine 2022; 149: 155723.	Original Article
260	Karasawa S, Nakada TA, Sato M, et al.	救急科・集中治療部	Early elevation of cell-free DNA after acute mesenteric ischemia in rats.	The Journal of surgical research 2022; 269: 28-35.	Original Article
261	Shinsuke Akita, Yoshihisa Yamaji, Hideki Tokumoto他	形成・美容外科	Where does subcutaneous lymph from the chest wall flow into after mastectomy?	J Plast Reconstr Aesthet Surg . 2021 Nov;74(11):2856-2862.	Original Article
262	Tatsuya Ishigaki , Shinsuke Akita , Akikazu Udagawa他	形成・美容外科	Central polydactyly of the foot: An experience of a treatment of 22 patients	J Orthop Sci . 2021 Dec 15;S0949-2658(21)00379-1.	Original Article
263	Hideki Tokumoto , Shinsuke Akita , Rikiya Nakamura 他	形成・美容外科	Lymphatic dysfunction on indocyanine green lymphography in breast cancer patients undergoing sentinel lymph node biopsy	J Plast Reconstr Aesthet Surg . 2021 Aug;74(8):1931-1971.	Original Article
264	Shinsuke Akita , Yoshihisa Yamaji, Hideki Tokumoto他	形成・美容外科	Correlation of the changes in physical activity and clinical results following lymphatic microsurgery	Microsurgery . 2021 Jan;41(1):44-49.	Original Article
265	Tatsuya Ishigaki , Shinsuke Akita , Hiroyuki Suzuki他	形成・美容外科	Cervical chondrocutaneous branchial remnants: A report of 29 cases and review of the literature	Auris Nasus Larynx . 2021 Apr	Original Article
266	Hideki Tokumoto , Shinsuke Akita , Yoshitaka Kubota他	形成・美容外科	The utility of free abdominal flap without Zone 4 procedure for unilateral breast reconstruction	Auris Nasus Larynx . 2021 Apr;48(2):288-294.	Original Article
267	Shinsuke Akita , Kenji Yoshida , Masaaki Omura他	形成・美容外科	Noninvasive, objective evaluation of lower extremity lymphedema severity using shear wave elastography: A preliminary study	J Plast Reconstr Aesthet Surg . 2021 Dec;74(12):3377-3385.	Original Article
268	Hideki Tokumoto , Shinsuke Akita , Yoshitaka Kubota他	形成・美容外科	Utility of autologous fibrin glue in the donor site of free abdominal flap for breast reconstruction: A randomized controlled study	J Plast Reconstr Aesthet Surg . 2021 Nov;74(11):2870-2875.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
269	Hidetoshi.I	感染制御部	Prevalence of positive IGRAs and innate immune system in HIV-infected individuals in Japan	J Infect Chemother . 2021 Apr;27(4):592-597.	Original Article
270	J Tawara, T Uehara, S Sakao, et al.	総合診療科	Drug fever due to favipiravir administration for the treatment of a COVID-19 patient	Intern Med•2021 Apr 1;60(7):1115-1117.	Case report
271	Ishizuka K, Yokokawa D, Mori T, et al.	総合診療科	Lateral cutaneous nerve entrapment syndrome (LACNES)	Am J Med•2021 Sep;134(9):e488-e489.	Case report
272	Ishizuka K, Tsukamoto T, Ikusaka M.	総合診療科	Arm Claudication due to Giant Cell Arteritis	Postgrad Med J•2021 Apr 9;postgradmedj-2021-139851	Case report
273	Ota T, Shikino K, Kimura T	総合診療科	Forearm rolling test in precentral gyrus cerebral infarction	Clin Case Rep•2021 June 17;9(6):e04201.	Case report
274	Shikino K, Ikusaka M.	総合診療科	Tonsillolith	Clin Case Rep•2021 Jun 22;9(6):e04243.	Case report
275	Ishizuka K, Shikino K, Ikusaka M	総合診療科	A 68-year-old man with acute exertional dyspnea and holosystolic murmur	Emerg Med J•2022 May;39(5):e2.	Case report
276	Shikino K, Ikusaka M	総合診療科	Steakhouse syndrome	Clin Case Rep•2021 Jun 9;9(6):e04329	Case report
277	Shikino K, Sato R, Hanazawa N, et al.	総合診療科	Chronic clicking tinnitus due to isolated palatal tremor	Lancet•2021 Jun 19;397(10292):e16.	Case report
278	Yanagita Y, Shikino K, Ikusaka M.	総合診療科	Grip myotonia	BMJ Case Rep . 2021 May 6;14(5):e240779.	Case report
279	Shikino K, Rosu C, Yokokawa D, et al.	総合診療科	Flexible e-learning video approach to improve fundus examination skills for medical students: A mixed-methods study	BMC Med Educ•2021 Aug 13;21(1):428.	Original Article
280	Hoshina Y, Shikino K, Yamauchi Y, et al.	総合診療科	Does a learner-centered approach using teleconference improve medical students' psychological safety and self-explanation in clinical reasoning conferences? a crossover study	PLoS One•2021 Jul 9;16(7):e0253884.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
281	Ishizuka K, Shikino K, Yokokawa D, et al.	総合診療科	Follicular lymphoma with hepatic accumulation on FDG-PET/CT masquerading IgG4-related disease.	Radiol Case Rep•2021 Aug 1;16(10):2886-2889.	Case report
282	Ishizuka K, Yokokawa D, Mori T, et al.	総合診療科	Dabigatran-induced oesophagitis improved by switching medication to apizaban	BMJ Case Rep•2021 Aug 16;14(8):e245443.	Case report
283	Tamura H, Ishizuka K, Mori T, et al.	総合診療科	Varicella zoster virus meningitis with rashes masked by a mask as a precaution for COVID-19	BMJ Case Rep•2021 Aug 17;14(8):e245102.	Case report
284	Ishizuka K, Ishizuka K, Katayama K, et al.	総合診療科	Non-episodic angioedema with eosinophilia after BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccination	QJM•2021 Dec 20;114(10):745-746.	Case report
285	Yokokawa D, Ohira Y, Ikegami A, et al.	総合診療科	Relationship between the presence of primary care physicians and health-related quality of life.	J Gen Fam Med•2021 Aug 11;23(2):87-93.	Case report
286	Ishikawa K, Okimoto K, Matsumura T 他	消化器内科	Comprehensive Analysis of Barrett's Esophagus: Focused on Carcinogenic Potential for Barrett's Cancer in Japanese Patients.	Dig Dis Sci. 2021 Aug;66(8):2674-2681.	Original Article
287	Takahashi S, Matsumura T, Kaneko T 他	消化器内科	Clinical Characteristics of Esophageal Motility Disorders in Patients With Heartburn.	J Neurogastroenterol Motil. 2021 Oct 30;27(4):545-554.	Original Article
288	Ao J, Chiba T, Kanzaki H 他	消化器内科	Serum Angiopoietin 2 acts as a diagnostic and prognostic biomarker in hepatocellular carcinoma.	J Cancer. 2021; 12(9):2694-2701.	Original Article
289	Ao J, Chiba T, Shibata S 他	消化器内科	Acquisition of mesenchymal-like phenotypes and overproduction of angiogenic factors in lenvatinib-resistant hepatocellular carcinoma cells.	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Apr 16;549:171-178.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
290	Koroki K, Kanogawa N, Maruta S 他	消化器内科	Posttreatment after Lenvatinib in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Liver Cancer. 2021 Apr 20;10(5):473-484.	Original Article
291	Akizue N, Okimoto K, Arai M 他	消化器内科	Comprehensive mutational analysis of background mucosa in patients with Lugol-voiding lesions.	Cancer Med. 2021 Jun;10(11):3545-3555.	Original Article
292	Asano K, Mikata R, Chiba T 他	消化器内科	Analysis of circulating cell-free DNA after endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Pancreatology. 2021 Sep;21(6):1030-103.	Original Article
293	Tokunaga M, Okimoto K, Akizue N 他	消化器内科	Genetic Profiles of Barrett's Esophagus and Esophageal Adenocarcinoma in Japanese patients.	Sci Rep. 2021 Sep 3;11(1):17671.	Original Article
294	Yoshida R, Koroki K, Makishima H 他	消化器内科	Controlling Major Portal Vein Invasion Progression during Lenvatinib Treatment by Carbon-Ion Radiotherapy in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Case Rep Oncol. 2021;14:1103-1110.	Case report
295	Okimoto K, Maruoka D, Matsumura T 他	消化器内科	Utility of underwater EMR for nonpolypoid superficial nonampullary duodenal epithelial tumors ≤20 mm.	Gastrointest Endosc. 2022 Jan;95(1):140-148.	Original Article
296	Mikata R, Yasui S, Kishimoto T 他	消化器内科	Diagnostic value of IMP3 and p53 immunohistochemical staining in EUS-guided fine-needle aspiration for solid pancreatic tumors.	Sci Rep. 2021 Aug 26;11(1):17257.	Original Article
297	Okimoto K, Maruoka D, Matsumura T 他	消化器内科	Long-term outcomes of cold snare polypectomy for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumors.	J Gastroenterol Hepatol. 2022 Jan;37(1):75-80.	Original Article
298	Mukai S, Kanzaki H, Ogasawara S 他	消化器内科	Exploring microsatellite instability in patients with advanced hepatocellular carcinoma and its tumor microenvironment.	JGH Open. 2021 Oct 1;5(11):1266-1274.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
299	Kobayashi K, Ogasawara S, Takahashi A 他	消化器内科	Evolution of survival impact of molecular target agents in patients with advanced hepatocellular carcinoma.	Liver Cancer. 2021 Dec 6;11(1):48-60.	Original Article
300	Oura H, Matsumura T, Fujie M 他	消化器内科	Development and evaluation of a double-check support system using artificial intelligence in endoscopic screening for gastric cancer.	Gastric Cancer. 2022 Mar;25(2):392-400.	Original Article
301	Kusakabe Y, Chiba T, Oshima M 他	消化器内科	EZH1/2 inhibition augments the anti-tumor effects of sorafenib in hepatocellular carcinoma.	Sci Rep. 2021 Nov 1;11(1):21396.	Original Article
302	Kondo T, Koroki K, Maruta S 他	消化器内科	Impact of acute decompensation on the prognosis of patients with hepatocellular carcinoma.	PLoS One. 2022 Jan 27;17(1):e0261619.	Original Article
303	Ishii A, Tsukamoto S, Mishina T, et al.	血液内科	Successful allogeneic bone marrow transplantation after massive gastrointestinal bleeding in a patient with myelodysplastic syndrome associated with intestinal Behçet-like disease.	Leuk Res Rep. 2021 Oct 29;16:100278. doi: 10.1016/j.lrr.2021.100278. eCollection 2021.	Case report
304	Hino Y, Watanabe A, Seki R, et al.	血液内科	Reference Laboratory Surveillance on Fungal Isolates from Patients with Haematological Malignancy in Japan.	J Fungi (Basel). 2021 Sep 27;7(10):806. doi: 10.3390/jof7100806.	Original Article
305	Ohwada C, Yamazaki S, Shono K., et al.	血液内科	Pharmacokinetically guided, once-daily intravenous busulfan in combination with fludarabine for elderly AML/MDS patients as a conditioning regimen for allogeneic stem cell transplantation.	Int J Hematol. 2021 Dec;114(6):664-673. doi: 10.1007/s12185-021-03188-6. Epub 2021 Sep 14.	Original Article
306	Kimura K, Tsukamoto S, Miyazaki K., et al.	血液内科	Identification of clonal immunoglobulin λ light-chain gene rearrangements in AL amyloidosis using next-generation sequencing.	Exp Hematol. 2021 Sep;102:34-41.e4. doi: 10.1016/j.exphem.2021.08.001. Epub 2021 Aug 17.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
307	Mishina T, Oshima-Hasegawa N, Tsukamoto S., et al.	血液内科	Genetic subtype classification using a simplified algorithm and mutational characteristics of diffuse large B-cell lymphoma in a Japanese cohort.	Br J Haematol. 2021 Dec;195(5):731-742. doi: 10.1111/bjh.17765. Epub 2021 Aug 10.	Original Article
308	Muto T, Guillamot M, Yeung J., et al.	血液内科	TRAF6 functions as a tumor suppressor in myeloid malignancies by directly targeting MYC oncogenic activity.	Cell Stem Cell. 2022 Feb 3;29(2):298-314.e9.	Original Article
309	Makino S, Shirata N, Trejo JAO, et al.	腎臓内科	Dysfunction of proteasome in podocytes results in chronic kidney disease.	J Am Soc Nephrol. 32. 597-613. 2021	Original Article
310	Kato M, Ikeda K, Sugiyama T, et al.	アレルギー・膠原病内科	Associations of ultrasound-based inflammation patterns with peripheral innate lymphoid cell populations, serum cytokines/chemokines, and treatment response to methotrexate in rheumatoid arthritis and spondyloarthritis.	PLOS ONE. 2021 May 21;16(5):e0252116	Original Article
311	Furuya H, Nakajima M, Ikeda K, et al.	アレルギー・膠原病内科	Prognosis and treatment of myositis-associated severe interstitial lung disease: A descriptive study using a nation-wide inpatient database in Japan.	Arthritis Care Res (Hoboken). 2021 May 10. doi: 10.1002/acr.24646.	Original Article
312	Furuta S, Nakagomi D, Kobayashi Y, et al.	アレルギー・膠原病内科	Effect of Reduced-Dose vs High-Dose Glucocorticoids Added to Rituximab on Remission Induction in ANCA-Associated Vasculitis A Randomized Clinical Trial.	JAMA.2021 Jun 1;325(21):2178-2187.	Original Article
313	Kageyama T, Ikeda K, Tanaka S, et al.	アレルギー・膠原病内科	Antibody responses to BNT162b2 mRNA COVID-19 vaccine and their predictors among healthcare workers in a tertiary referral hospital in Japan.	Clin Microbiol Infect. 2021 Aug 8;S1198-743X(21)00437-7.	Original Article
314	Nakamura K, Ohbe H, Ikeda K, et al.	アレルギー・膠原病内科	Intravenous cyclophosphamide in acute exacerbation of rheumatoid arthritis-related interstitial lung disease: A propensity-matched analysis using a nationwide inpatient database.	Semin Arthritis Rheum. 2021 Oct;51(5):977-982	Original Article
315	Sugiyama T, Furuta S, Hiraguri M, et al.	アレルギー・膠原病内科	Latent class analysis of 216 patients with adult-onset Still's disease.	Arthritis Res Ther.2022 Jan 3;24(1):7.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
316	Ishida A, Igarashi K, Ruike Y et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Association of urinary free cortisol with bone formation in patients with mild autonomous cortisol secretion	Clin Endocrinol (Oxf). 2021 Apr;94(4):544-50.	Original Article
317	Takeda K, Ono H, Ishikawa K et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Central administration of sodium-glucose cotransporter-2 inhibitors increases food intake involving adenosine monophosphate-activated protein kinase phosphorylation in the lateral hypothalamus in healthy rats	BMJ Open Diabetes Res Care. 2021 Apr;9(1):e002104.	Original Article
318	Kato H, Maezawa Y, Ouchi Y et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Generation of disease-specific and CRISPR/Cas9-mediated gene-corrected iPSC cells from a patient with adult progeria Werner syndrome	Stem Cell Res. 2021 May;53:102360.	Original Article
319	Yokote K, Yamashita S, Arai H et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Effects of pemafibrate on glucose metabolism markers and liver function tests in patients with hypertriglyceridemia: a pooled analysis of six phase 2 and phase 3 randomized double-blind placebo-controlled clinical trials	Cardiovasc Diabetol. 2021 May;20(1):96.	Original Article
320	Ishiwata K, Suzuki S, Igarashi K et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Characteristics of benign adrenocortical adenomas with 18F-FDG PET accumulation	Eur J Endocrinol. 2021 Jun;185(1):155-65.	Original Article
321	Minamizuka T, Koshizaka M, Shoji M et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Low dose red yeast rice with monacolin K lowers LDL cholesterol and blood pressure in Japanese with mild dyslipidemia: A multicenter, randomized trial	Asia Pac J Clin Nutr. 2021 Sep;30(3):424-35.	Original Article
322	Kobayashi J, Minamizuka T, Koshizaka M et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Serum HDL-C values: An extremely useful marker for differentiating homozygous lipoprotein lipase deficiency from severe hypertriglyceridemia with other causes in Japan: A meta-analysis based on literatures on Japanese homozygous lipoprotein lipase deficiency	Clin Chim Acta. 2021 Oct;52:85-9.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
323	Ogura M, Toyoda Y, Sakiyama M et al.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Increase of serum uric acid levels associated with APOE ε 2 haplotype: a clinico-genetic investigation and in vivo approach	Hum Cell. 2021 Nov;34(6):1727-33.	Original Article
324	Yokote K, Suzuki R, Gouda M	糖尿病・代謝・内分泌内科	Association between glycemic control and cardiovascular events in older Japanese adults with diabetes mellitus: An analysis of the Japanese medical administrative database	J Diabetes Investig. 2021 Nov;12(11):2036-45.	Original Article
325	Ono H, Yokote K	糖尿病・代謝・内分泌内科	Can we catch the second loach employing BACE1 inhibition, even as the first one might be escaping?	J Diabetes Investig. 2021 Nov;12(11):1942-3.	Original Article
326	Sakata T, Mogi K, Matsuura K et al.	心臓血管外科	Mid-term functional recovery after tricuspid annuloplasty concomitant with left-sided valve surgery.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Apr;69(4):662-672.	Original Article
327	Kohno H, Matsumiya G, Sawa Y et al.	心臓血管外科	Can the intermittent low-speed function of left ventricular assist device prevent aortic insufficiency?	J Artif Organs. 2021 Jun;24(2):191-198.	Original Article
328	Takahashi Y, Hayano K, Ohira G, et al.	食道・胃腸外科	Histogram Analysis of Diffusion-Weighted MR Imaging as a Biomarker to Predict Survival of Surgically Treated Colorectal Cancer Patients	Dig Dis Sci. 2021 Apr;66(4):1227-1232	Original Article
329	Kurata Y, Hayano K, Ichinose M, et al.	食道・胃腸外科	Preoperative prediction of difficult laparoscopic cholecystectomy based on diffusion-weighted magnetic resonance imaging	Asian J Endosc Surg. 2021 Jul;14(3):520-528	Original Article
330	Otsuka R, Hayano K, Yoshida M, et al.	食道・胃腸外科	Subtotal versus total gastrectomy for remnant gastric cancer: a systematic review and meta-analysis of observational studies	Langenbecks Arch Surg. 2021 Aug;406(5):1379-1385	Original Article
331	Murakami K, Yoshida M, Uesato M, et al.	食道・胃腸外科	Does thoracoscopic esophagectomy really reduce post-operative pneumonia in all cases?	Esophagus. 2021 Oct;18(4):724-733	Review

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
332	Kurata Y, Hayano K, Ohira G, et al.	食道・胃腸外科	Computed tomography-derived biomarker for predicting the treatment response to neoadjuvant chemoradiotherapy of rectal cancer	Int J Clin Oncol. 2021 Dec;26(12):2246-2254	Original Article
333	Kurata Y, Hayano K, Matsusaka K, et al.	食道・胃腸外科	A case report of duodenal arteriovenous malformation: usefulness of intraoperative indocyanine green angiography for precise identification of the lesion	Surg Case Rep. 2022 Jan 4;8(1):4	Case report
334	Yonemoto S, Uesato M, Aoyama H, et al.	食道・胃腸外科	A double-scope technique enabled a patient with an esophageal plastic fork foreign body to avoid surgery: a case report and review of the literature	Clin J Gastroenterol. 2022 Feb;15(1):66-70	Case report
335	Otsuka R, Sakata H, Murakami K, et al.	食道・胃腸外科	SIRT1 Expression Is a Promising Prognostic Biomarker in Esophageal Squamous Cell Carcinoma: A Systematic Review and Meta-analysis	Cancer Diagn Progn. 2022 Mar 3;2(2):126-133	Review
336	Kuboki S, Furukawa K, Takayashiki T et al.	肝胆膵外科	Clinical implication of ICG test in major hepatectomy for biliary tract cancer	Minerva Surg. 2021 Jun;76(3):202-10.	Original Article
337	Sakai N, Furukawa K, Takayashiki T et al.	肝胆膵外科	Differential effects of KRAS mutational status on long-term survival according to the timing of colorectal liver metastases	BMC Cancer. 2021 Apr 15;21(1):412.	Original Article
338	Sakai N, Furukawa K, Takayashiki T et al.	肝胆膵外科	Recurrence patterns and their effects on clinical outcomes after R1 resection of colorectal liver metastases: a propensity score-matched analysis.	Langenbecks Arch Surg. 2021 Dec;406(8):2739-47.	Original Article
339	Konishi T, Yoshidome H, Shida T et al.	肝胆膵外科	Phosphorylated mTOR expression as a predictor of survival after liver resection for colorectal liver metastases	J Surg Oncol. 2021 Sep;124(4):598-606.	Original Article
340	Shimazaki R, Takano S, Satoh M et al.	肝胆膵外科	Complement factor B regulates cellular senescence and is associated with poor prognosis in pancreatic cancer.	Cell Oncol (Dordr). 2021 Aug;44(4):937-50	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
341	Kawasaki K, Kuboki S, Furukawa K et al.	肝胆膵外科	LGR5 induces β -catenin activation and augments tumor progression by activating STAT3 in human intrahepatic cholangiocarcinoma	Liver Int. 2021 Apr;41(4):865-81.	Original Article
342	Sasaki K, Takano S, Tomizawa S et al.	肝胆膵外科	C4b-binding protein α -chain enhances antitumor immunity by facilitating the accumulation of tumor-infiltrating lymphocytes in the tumor microenvironment in pancreatic cancer.	J Exp Clin Cancer Res. 2021 Jun 24;40(1):212.	Original Article
343	Suda R, Sakai N, Matsushita K et al.	肝胆膵外科	Prediction of mismatch repair deficient biliary tract cancer: Role of morphological features and host immune response detected by routine hematoxylin-eosin staining	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2021 Aug;28(8):680-91.	Original Article
344	Sato N, Sakai N, Furukawa K et al.	肝胆膵外科	Tumor-suppressive role of Smad ubiquitination regulatory factor 2 in patients with colorectal cancer.	Sci Rep. 2022 Mar 31;12(1):5495.	Original Article
345	Takada M, Tanaka G, Hashimoto H, et al.	乳腺甲状腺外科	Practical approach to prevent COVID-19 infection at breast cancer screening.	Breast Cancer 28: 969-976, 2021.	Original Article
346	Morita A, Namiki T, Nakaguchi T, et al	和漢診療科	Role of Blood Stasis Syndrome of Kampo Medicine in the Early Pathogenic Stage of Atherosclerosis: A Retrospective Cross-Sectional Study	Evid Based Complement Alternat Med. 26;2021:5557392. 2021 May.	Original Article
347	Morita A, Murakami A, Noguchi K, et al	和漢診療科	Combination Image Analysis of Tongue Color and Sublingual Vein Improves the Diagnostic Accuracy of Oketsu (Blood Stasis) in Kampo Medicine.frontiers in Medicine	frontiers in Medicine. 2022 March.doi: 10.3389/fmed.2021.790542.	Original Article
348	Fan, M. Arai, M. Tawada, A.他	腫瘍内科	Contrasting functions of the epithelial-stromal interaction 1 gene, in human oral and lung squamous cell cancers	Oncol Rep 2022 Vol. 47 Issue 1	Original Article
349	Takahashi K, Ohyama H, Mikata R.他	腫瘍内科	Successful endoscopic retrieval of a migrated pancreatic stent using a basket catheter for peroral cholangioscopy through a biliary plastic stent pusher tube: a case report.	J Rural Med. 2022 Jul;17(3):189-192.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
350	"Takahashi K, Ohyama H, Mikata R,他	腫瘍内科	Intraperitoneal bleeding from the right gastroepiploic artery by endoscopic ultrasonography: a case report.	J Rural Med. 2022 Jul;17(3):184-188.	Case report
351	"Takahashi K, Ohyama H, Ouchi M,他	腫瘍内科	Feasibility of a Single Pigtail Stent Made by Cutting a Nasobiliary Drainage Tube in Endoscopic Transpapillary Gallbladder Stenting for Acute Cholecystitis.	Cureus. 2022 May 17;14(5):e25072.	Original Article
352	"Takahashi K, Ohyama H, Nagashima H, 他	腫瘍内科	Successful endoscopic treatment of huge infected biloma and hepatic abscess after endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy with brain abscess.	Clin J Gastroenterol. 2022 Jun 28. doi: 10.1007/s12328-022-01659-9.	Case report
353	Niwano A, Sasaki H, Takaoka H, et al.	検査部	Almost Three Decades Conservative Follow-up of Pseudoaneurysm of the Mitral-Aortic Intervalvular Fibrosa Without Radical Surgery.	Circ J. 2021 Nov 25;85(12):2247.	Original Article
354	Tsuchida S, Umemura H, Murata S, et al.	検査部	Effect of humidity during sample preparation on bacterial identification using matrix-assisted laser desorption/ionization time-of-flight mass spectrometry.	J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci. 2021 Jun 30;1176:122780.	Original Article
355	Kyosuke Koide, Atsuhiko Sugiyama, Hajime Yokota 他	脳神経内科	Nerve Hypertrophy and Altered Diffusion in Anti-Myelin-Associated Glycoprotein Neuropathy Detected by Brachial Plexus Magnetic Resonance Neurography	European neurology.2022;85(2) 95-103	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
356	Kiyoshi Shikino, Mana Iwasaki, Ayaka Takahara 他	総合医療教育研修センター 総合診療科	Online clinical reasoning skill training course for medical students: General medicine interest group.	Journal of general and family medicine.2022 Mar;23(2) 133-134	Original Article
357	Tadashi Hasegawa, Tomomi Seo, Yoko Kubota 他	緩和ケアセンター	Reliability and validity of the Japanese version of the 4A's Test for delirium screening in the elderly patient.	Asian journal of psychiatry.2022 Jan; 67 102918-102918	Original Article
358	Hajime Kasai, Kiyoshi Shikino, Go Saito 他	総合医療教育研修センター 呼吸器内科	Alternative approaches for clinical clerkship during the COVID-19 pandemic: online simulated clinical practice for inpatients and outpatients—A mixed method	BMC Medical Education.2021 Dec; 21(1) 149-149	Original Article
359	Kuroda M, Bujo H, Yokote K, et al.	未来開拓センター	Current Status of Familial LCAT Deficiency in Japan	J Atheroscler Thromb. 2021 Jul 1;28(7):679-691.	Review
360	Tsukiji M, Sasaki T, Nakata Y, et al.	薬剤部	Risk factors for early-phase clozapine discontinuation: A nested case-control study	Asian J Psychiatr. 2021 Aug;62:102745.	Original Article
361	Goto Y, Nakajima T, Suzuki T, et al.	薬剤部	Evaluation of tacrolimus and mycophenolic acid removal by simultaneous continuous hemodiafiltration and plasma exchange in a lung transplant patient	J Clin Pharm Ther. 2021 Apr;46(2):515-518.	Case report
362	Rikihisa N, Takatsuka H, Suzuki T, et al.	形成外科	Efficacy and Safety of Propranolol Gel for Infantile Hemangioma: A Randomized, Double-Blind Study	Biol Pharm Bull. 2022 Jan 1;45(1):42-50.	Original Article
363	Kaneko H, Yamazaki S, Uchida M, et al.	薬剤部	Decrease of voriconazole trough levels during therapy with enteral nutrition: a case report	J Pharm Health Care Sci. 2022 Feb 3;8(1):6.	Case report
364	Uchida M, Hanada N, Yamazaki S, et al.	薬剤部	Analysis of the variable factors affecting changes in the blood concentration of cyclosporine before and after transfusion of red blood cell concentrate	J Pharm Health Care Sci. 2022 Feb 1;8(1):4.	Original Article
365	Yamazaki S, Yamagishi K, Murata S, et al.	薬剤部	Antibiotics prescriptions for pneumonia analyzed by claim information in Japan	Int J Clin Pharmacol Ther. 2021 Apr;59(4):289-297.	Original Article

計365件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。				
2	報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属する)				
3	「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。				
4	「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。				
5	「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること (出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。 記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)				
6	「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。				

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Horii S, Pham HTT, Dang TTN, et al.	次世代医療構想センター	Nurses' Perception of Individual and Organizational Changes	Nurse Education Today. 2021 Jul; 102, 104901-104901. PMID: 33910114.	Original Article

計1件

- (注)
- 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 - 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
<p>・ 手順書の主な内容</p> <p>臨床研究の審査は臨床研究倫理審査委員会が附属病院に設置されており、それぞれ規程と手順書が整備されている。手順書には、医薬品等の臨床試験に関わる業務手順が示されている。ネットワークとしての中央倫理審査委員会機能を果たすことができる手順となっている。また、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に対応した倫理学・法律学の専門家、一般の立場から意見を述べることのできる委員が適切に指名された構成となっている。令和2年4月より医学部とは別に附属病院に生命倫理審査委員会を新設し、定期的に委員会を開催している。令和3年6月30日より医学系指針とゲノム指針が、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に統合されているが、当院では引き続きそれぞれの委員会で審査を行っている。</p> <p>なお、臨床研究法下で実施される特定臨床研究を審査する認定臨床研究審査委員会が千葉大学により、附属病院に設置されている。</p> <p><u>1. 千葉大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会規程</u></p> <p>千葉大学医学部附属病院（以下「病院」という。）で行われる人を対象とする生命科学・医学系研究（以下「研究」という。）について、次の各号に掲げる宣言及び指針の趣旨に沿って人間の尊厳及び人権を尊重し、社会の理解と協力を得て適正な研究を実施するため、その審査に当たることを目的として千葉大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。</p> <p>一 ヘルシンキ宣言（1964年世界医師会採択、2013年世界医師会修正）</p> <p>二 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省告示第3号）</p> <p><u>2. 千葉大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会運営手順書</u></p> <p>1 委員会は、千葉大学医学部附属病院（以下「本院」という。）及び1の研究計画書に基づき複数の研究機関において実施される研究（以下「多機関共同研究」という。）の他の研究機関において、人を対象とする生命科学・医学系研究に定める研究を行うことの適否及び継続して行うことの適否等について、ヘルシンキ宣言と人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）（以下「指針」という。）等に基づいて審査する。</p> <p>2 委員会は、研究責任者（多機関共同研究については研究代表者）から研究実施の適否等について意見を求められたときは、すべての研究対象者の人権、安全及び福祉を保護するため、ヘルシンキ宣言と人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）等に基づき、倫理的観点及び科学的観点から、研究機関及び研究者等の利益相反に関する情報も含めて中立的かつ公正に審査を行い、文書にて意見を述べるものとする。</p>	

<p>3. 千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会規程</p> <p>千葉大学医学部附属病院に、人を対象とする生命科学・医学系研究について、次の各号に掲げる宣言及び指針の趣旨に沿って人間の尊厳及び人権を尊重し、社会の理解と協力を得て適正な研究を実施するため、その審査を行い、研究責任者に対して文書又は電磁的方法により意見を述べることがを目的として、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会を置く。</p> <p>一 ヘルシンキ宣言（1964年世界医師会採択、2013年世界医師会修正）</p> <p>二 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）</p>									
<p>4. 千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会運営手順書</p> <p>千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会規程の定めるところにより、千葉大学医学部附属病院生命倫理審査委員会の運営手順を定め、人を対象とする生命科学・医学系研究に関わる倫理審査に関する運営手順等を示すものである。</p>									
<p>③ 倫理審査委員会の開催状況</p>	<table border="1"> <tr> <td>臨床研究倫理審査委員会</td> <td>年</td> <td>11</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>生命倫理審査委員会</td> <td>年</td> <td>11</td> <td>回</td> </tr> </table>	臨床研究倫理審査委員会	年	11	回	生命倫理審査委員会	年	11	回
臨床研究倫理審査委員会	年	11	回						
生命倫理審査委員会	年	11	回						

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

<p>① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況</p>	<p>○・無</p>
<p>② 利益相反の管理に関する規定の整備状況</p>	<p>○・無</p>
<p>・規定の主な内容</p> <p>1. 国立大学法人千葉大学利益相反委員会規程</p> <p>国立大学法人千葉大学に、本学利益相反マネジメントポリシーに基づき、本学の役員及び職員に係る利益相反に適切に対処するとともに利益相反に関する重要事項を審議するため、利益相反委員会を置き、次に掲げる事項を審議する。</p> <p>一 利益相反マネジメントポリシーに関すること。</p> <p>二 利益相反ガイドラインに関すること。</p> <p>三 利益相反防止に関する施策及び啓蒙活動に関すること。</p> <p>四 利益相反に関する調査及び審査に関すること。</p> <p>五 その他利益相反に関する重要事項</p> <p>本規程第9条に、「臨床研究に係る利益相反委員会については、別に定める」ことが規定されている。</p> <p>2. 千葉大学医学部附属病院各種委員会規程及び別表 常置委員会</p> <p>千葉大学医学部附属病院各種委員会規程第3条に基づく常置委員会として、別表 常置委員会のとおり、①臨床研究に係る利益相反ポリシーに関する事項、②臨床研究に係る利益相反マネジメントに関する事項、③臨床研究に係る利益相反防止に関する施策及び啓蒙活動に関する事項、④臨床研究に係る利益相反に関する調査及び審査に関する事項、⑤その他臨床研究に係る利益相反に関する重要事項を所轄する。</p>	

<p>3. 千葉大学医学部附属病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー</p> <p>本ポリシーは平成17年9月に制定され、臨床研究を行う研究者と関係者、被験者、大学などを取り巻く利益相反の存在を明らかにすることによって、被験者の保護を最優先としつつ、大学や研究者などの正当な権利を認め社会の理解と信頼を得て、大学の社会的信頼を守り、臨床研究の適正な推進を図る。</p>	
<p>4. 千葉大学医学部附属病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント規程</p> <p>千葉大学医学部附属病院における臨床研究に係る利益相反の取扱い・マネジメントは、国立大学法人千葉大学利益相反委員会規程第9条に基づき、千葉大学医学部附属病院臨床研究に関する利益相反委員会を設置し、千葉大学医学部附属病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー、臨床研究の利益相反ポリシー策定に関するガイドライン（平成18年3月文部科学省）、厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針（平成20年3月31日科発第0331001号厚生科学課長決定）並びに法令又はこれに基づく特別の定めによるほか、この規程の定めるところによる。</p> <p>本規程第4条（管理の手続き）及び第5条（管理の実施）に従い、臨床研究実施者（必要に応じて臨床研究関係者）は臨床研究の利益相反に関する自己申告書を臨床研究実施計画書と共に病院長に提出し、利益相反委員会において審査並びにマネジメントを行う。利益相反委員会の審査結果を臨床研究倫理審査委員会に報告し、臨床研究倫理審査委員会の審査結果も踏まえて、利益相反管理も含めて審査を行っている。</p>	
<p>5. 臨床研究の利益相反に関する自己申告書</p> <p>臨床研究実施者及び倫理審査委員会の委員等は、利益相反委員会に利益相反に関する自己申告書を提出し、適切なマネジメント受け、必要な場合には試験実施計画書を変更等の対応を実施している。</p> <p>臨床研究法下で実施する試験は、提出された申告内容について事実確認を行い、必要に応じて利益相反委員会のマネジメントを受けている。</p>	
<p>③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況</p>	<p>年 11 回</p>

（注）前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

<p>① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況</p>	<p>年 7 回</p>
<p>・ 研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研究入門講義 3回 「臨床試験の法的枠組/臨床試験の手続き」 「利益相反/研究倫理」 「説明・同意/説明文書の作成」 ・ 倫理審査委員会研修会 2回 「研究への患者・市民参画(PPI)の紹介」 「臨床研究における個人情報の取り扱いについて」 ・ 臨床研究に関わる特別セミナー 2回 「臨床研究と産学連携：COI管理にかかる最近の動向」 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（生命・医学系指針）について」 	

（注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(目的と特徴)
<ul style="list-style-type: none">● 初期研修を修了した医師・歯科医師が臨床医学系専門領域の専門医を取得する● 2年間の卒後研修を含む新しい枠組みでの専門医を取得できるプログラム● 内科、外科の場合は内科認定医・認定内科専門医、外科専門医を取得できると共に、さらにサブスペシャリティーの専門医を取得できるプログラム
(研修期間)
<ul style="list-style-type: none">● 研修期間は3～5年（卒後研修：2年を含まない）原則として各専門領域の専門医取得に定められた期間
(到達目標)
<ul style="list-style-type: none">● 専門医としての患者ケアのための臨床能力を身につける● 専門医としての患者ケアのための知識の習得と応用が出来る● 診療経験を振り返り臨床能力を向上させることが出来る● 必要かつ十分なコミュニケーション能力を示すことが出来る● 医師としてのプロフェッショナリズムを身につける● 家族・地域・制度などの医療資源を理解し活用することが出来る● 指導医としての教育的役割を果たすことが出来る● 臨床研究の意義を理解し倫理原則にしたがって研究を行うことが出来る

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	150人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
加藤 直也	消化器内科	科長 (教授)	35年	
堺田 恵美子	血液内科	科長 (准教授)	27年	
浅沼 克彦	腎臓内科	科長 (教授)	26年	
中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	科長 (教授)	33年	
小野 啓	糖尿病・代謝・内分泌内科	科長 (准教授)	26年	
小林 欣夫	循環器内科	科長 (教授)	33年	
小林 欣夫	冠動脈疾患治療部	部長 (教授)	33年	
鈴木 拓児	呼吸器内科	科長 (教授)	27年	
桑原 聡	脳神経内科	科長 (教授)	37年	
生坂 政臣	総合診療科	科長 (教授)	36年	
並木 隆雄	和漢診療科	科長 (准教授)	36年	
猪狩 英俊	感染症内科	科長 (准教授)	33年	
瀧口 裕一	腫瘍内科	科長 (教授)	38年	
松宮 護郎	心臓血管外科	科長 (教授)	35年	
松原 久裕	食道・胃腸外科	科長 (教授)	37年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大塚 将之	肝胆膵外科	科長（教授）	33年	
長嶋 健	乳腺・甲状腺外科	科長（准教授）	33年	
吉野 一郎	呼吸器外科	科長（教授）	34年	
菱木 知郎	小児外科	科長（教授）	28年	
滝口 裕一	臨床腫瘍部	部長（教授）	38年	
磯野 史朗	麻酔・疼痛・緩和医療科	科長（教授）	37年	
市川 智彦	泌尿器科	科長（教授）	34年	
大鳥 精司	整形外科	科長（教授）	27年	
馬場 隆之	眼科	科長代理（准教授）	24年	
松江 弘之	皮膚科	科長（教授）	34年	
花澤 豊行	耳鼻咽喉・頭頸部外科	科長（教授）	32年	
三川 信之	形成・美容外科	科長（教授）	30年	
伊豫 雅臣	精神神経科	科長（教授）	37年	
岩立 康男	脳神経外科	科長（教授）	38年	
生水 真紀夫	婦人科・周産期母性科	科長（教授）	40年	
濱田 洋通	小児科	科長（教授）	31年	
宇野 隆	放射線科	科長（教授）	33年	
中田 孝明	救急科	科長（教授）	22年	
安部 隆三	集中治療部	部長（准教授）	22年	
浅沼 克彦	人工腎臓部	部長（教授）	26年	
村田 淳	リハビリテーション科	科長（准教授）	35年	
伊豫 雅臣	こどものこころ診療部	部長（教授）	37年	
松下 一之	検査部	部長（准教授）	33年	
池田 純一郎	病理診断科・病理部	科(部)長（教授）	19年	
加藤 順	内視鏡センター	センター長（准教授）	28年	
鵜澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	科長（教授）	32年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>医師1～2名（例：指導医、研修医）、看護師2～3名（例：熟練、中堅、新人看護師）、他職種でチームを形成し、1～2チームがあらかじめ作成したシナリオ（1～2種類）にもとづいてシミュレーション実習を行う。シミュレーターはSimMan 3G、SimBaby、HPSを用いる。シナリオ内容は作成者およびセミナー管理者にのみ知らされ、実習参加者はシナリオの内容を知らずに急変対応を行っていく。実習の様子はビデオモニターで撮影・記録され、上記チーム以外の参加者はその映像をリアルタイムで観察する。実習終了後、記録ビデオを参考にしながら、全参加者でデブリーフィング(振り返り)を行う。</p> <p>・ 研修の期間・実施回数</p> <p>3回／年（新型コロナウイルス感染症のためすべての回を中止）</p> <p>・ 研修の参加人数</p> <p>0名（研修を中止したことによるもの）</p>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>「新任看護師長研修」病院及び看護部運営の実際と看護管理</p> <p>病院・看護部組織と運営、人事・労務管理、人材確保、人材育成、看護業務の進め方、看護の質保証、看護と経営、医療安全、部署の看護管理に活かすため、他部署・他部門、他施設の見学研修</p> <p>・ 研修の期間・実施回数</p> <p>「新任看護師長研修」令和3年4月14日、15日、19日、20日、23日、5月7日、21日 （他部署見学研修 令和4年1月20日、21日、2月8日、15日、16日、17日、22日、25日）</p> <p>・ 研修の参加人数</p> <p>「新任看護師長研修」2名</p>
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>・ 研修の期間・実施回数</p>

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	(2) 現状
管理責任者氏名	病院長 横手 幸太郎	
管理担当者氏名	企画情報部長 鈴木 隆弘	総務課長 荘野 典文
	薬剤部長 石井 伊都子	管理課長 渡辺 勉
	医療安全管理部長 相馬 孝博	経営企画課長 細川 敬貴
	感染制御部長 猪狩 英俊	研究推進課長 大塚 隆司
	臨床工学センター長 磯野 史朗	医事課長 富永 吉司
	総合医療教育研修センター長 伊藤 彰一	医療サービス課長 高橋 実

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	企画情報部 医療サービス課
		看護記録	企画情報部 医療サービス課
		検査所見記録	企画情報部 医療サービス課
		エックス線写真	企画情報部
		紹介状	企画情報部 医療サービス課
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	企画情報部 医療サービス課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	研究推進課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課 医療サービス課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課 医療サービス課 薬剤部

に規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課医療安全室	管理担当者は、病院の管理及び運営に関する諸記録について、所管部門の施錠可能な場所（キャビネット等）で保管・管理している。また、事務LAN内に電子ファイルもあわせて保存している
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課医療安全室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総合医療教育研修センター 医事課医療安全室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部 医事課医療安全室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一條の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課医療安全室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課医療安全室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課医療安全室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部 医事課医療安全室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医事課医療安全室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医事課医療安全室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医事課医療安全室
		医療機器安全管理責任者の配置状況	管理課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医事課医療安全室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課医療安全室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療サービス課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課医療安全室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課医療安全室
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課医療安全室
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部 医事課医療安全室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課医療安全室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課医療安全室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課 総合医療教育研修センター 医事課医療安全室
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課医療安全室
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 横手 幸太郎	
閲覧担当者氏名	総務課長 荘野 典文 管理課長 渡辺 勉 経営企画課長 細川 敬貴 研究推進課長 大塚 隆司 医事課長 富永 吉司 医療サービス課長 高橋 実	
閲覧の求めに応じる場所	千葉大学医学部附属病院	
閲覧の手続の概要 国立大学法人千葉大学は「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(以下「情報公開法」)の適用を受けており、この法律に基づき、千葉大学の保有する法人文書の開示を請求することができる。 開示請求者より法人文書の開示請求があった場合、該当法人文書の探索・特定を実施し、情報公開・個人情報保護委員会を開催し、開示又は不開示の決定を行い、その結果を請求者に通知し、法人文書の開示を実施することとなる。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な考え方 2. 病院長の責務 3. 医療安全に関する組織と取組 4. 医療安全管理のための職員研修 5. 医療上の事故等の報告 6. 医療上の事故等発生時の対応 7. 患者等への当該基本方針の閲覧 8. 患者からの相談への対応 9. その他の医療安全推進への対応 10. その他 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・開催状況：年 12 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院において重大な問題やその他委員会において取扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関する事 2. 上記の分析の結果を活用した医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに病院職員への周知に関する事 3. 上記の改善のための方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関する事 4. 入院患者が死亡した場合における当該死亡の事実及び死亡前の状況に関する医療安全管理部への報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関する事 5. 入院患者の死亡以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときにおける当該事象の発生の実事及び発生前の状況の医療安全管理部への報告の実施の状況に関する確認及び確認結果の病院長への報告に関する事 6. 4. 及び5. の実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための病院職員への研修及び指導に関する事 7. その他医療安全管理に関する事 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回安全セミナー 令和3年 6月23日～7月21日（e-ラーニング） 「人を動かすのは言葉です」「求められる情報モラルとリテラシー」 「早期のMETコールで重症化予防～RRSとして当院METの役割～」 「病院機能評価にむけてICTからお願いしたいこと」 「当院における抗菌薬適正使用の取組み」「画像診断に係る安全管理」 2. 第2回安全セミナー 令和3年 12月8日（講演） 12月22日～1月14日（e-ラーニング） 「血液培養について ～みなさんへお願い～（AST）」 「手指衛生と個人防護具について（ICT）」「注射薬を安全に投与するために」 「情報の保護・管理に関する最新情報」「医療機器の一元管理と医療機器管理システムの利用方法」 「部位確認、病理診断報告書と標本の取り扱い、同意取得の際のカルテ記載の留意点について」 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

・医療機関内における事故報告等の整備 (・無)

・その他の改善のための方策の主な内容：

1. 医療上の問題

「千葉大学医学部附属病院インシデント及び医療上の事故発生時の対応に関する取扱要項」に則り、インシデントが発生した場合はインシデント報告システムにより速やかに報告され、部署リスクマネージャー及びゼネラルリスクマネージャーが内容を把握する。インシデントの詳細な情報は、部署リスクマネージャーが確認し、収集する。ゼネラルリスクマネージャーは報告内容に応じて当該部署に出向き、当事者及び関係者から情報を収集する

2. 分析

各部署では当該部署のリスクマネージャーが中心となり、KYTやPOAMなどの分析手法を活用し対策を検討している。医療安全管理部のゼネラルリスクマネージャーが部署への分析手法の指導・支援を行っている

3. 改善策の検討

マニュアル改正などはリスクマネジメント会議において多職種による検討を行い、医療の質・安全管理委員会で承認する。また、医療事故発生の原因調査及び原因究明は事例検討委員会において検討する

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な考え方 2. 委員会，その他組織に関する事 3. 院内感染対策のための研修等 4. 感染症の発生状況及び抗菌薬使用状況の報告 5. 院内感染発生時の対応 6. 患者等への当該基本方針の閲覧 7. その他の院内感染対策推進への対応 8. その他 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 14 回
<p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染の実態把握のための調査及び点検に関する事 2. 院内感染予防対策の立案に関する事 3. 院内感染発生時の対策に関する事 4. 職員に対する院内感染予防対策の教育に関する事 5. 院内感染予防対策マニュアルの作成及び改訂に関する事 6. その他院内感染予防対策に関する事 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回安全セミナー 令和3年 6月23日～7月21日（eラーニング） 「病院機能評価にむけてICTからお願いしたいこと」「当院における抗菌薬適正使用の取組み」 2. 第2回安全セミナー 令和3年 12月8日（講演） 12月22日～1月14日（eラーニング） 「血液培養について ～みなさんへお願い～（AST）」「手指衛生と个人防护具について（ICT）」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICT活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンド（週1回）と報告 ・ Weeklyラウンド ・ 月間ラウンド（MRSA・MDRP・CREを対象（月1回）と報告 ・ 分離菌報告 2. AST活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 血液培養陽性患者のモニター ・ 診療コンサルテーション報告 ・ 抗菌薬の許可制 ・ 特定薬剤使用状況報告 ・ ASTラウンド 3. 感染制御部・事務職員・清掃業者による環境清掃ラウンド（月2回）と報告 4. 職員感染対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 針刺し・切創、血液・体液曝露外来の実施 ・ 職員の抗体検査と予防接種の実施 ・ 病院職員・外部委託業者に対するワクチン接種 	

5. 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック
 - ・カテーテル関連血流感染（血液内科）
 - ・手術部位感染（肝胆膵外科、食道・胃腸外科、心臓血管外科）
 - ・手指衛生サーベイランス（払い出し量からみた手指衛生指数・直接観察法）
 - ・J-SIPHE（感染対策連携共通プラットフォーム）を活用した他医療機関比較の充実
6. 感染防止対策の地域連携に関する活動
 - ・感染防止対策地域連携加算に係る相互チェックの実施（連携医療機関と相互に年1回ずつ）
 - ・感染防止対策加算に係るカンファレンスの開催（連携医療機関と年4回）
 - ・院内感染地域支援ネットワーク事業と連携した地域の感染対策向上を目的とした活動（研修会・アウトブレイク支援・感染対策相談等）
7. アウトブレイク発生時の対応と終息に向けた対策
 - ・新型コロナウイルス感染症クラスター発生と活動
 - ・NICU・GCUにおけるMRSAのアウトブレイクと活動
8. 手指消毒剤個人携帯の推奨や手指衛生サーベイランスの結果報告や手指衛生指導等、手指衛生啓発活動
9. 国公立大学附属病院感染対策協議会における活動（感染対策チェック）
 - ・国公立大学感染対策協議会の指示により自己チェックのみ実施し、自施設の改善活動の実施
 - ・国公立大学感染対策協議会（総会）WEB参加
10. 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・新型コロナウイルス感染症対策本部と情報共有を行い院内感染対策を強化した
 - ・行政の会議委員として会議・連絡会等に参加

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>1. 新規採用ガイダンス（研修医を含む新規採用者対象） 令和3年4月1日 「薬剤部業務と医療安全」</p> <p>2. 新規採用ガイダンス（研修医を含む新規採用者対象） 令和3年4月8日 「抗がん薬の取り扱いについて」</p> <p>3. 第2回医療安全セミナー 令和3年12月8日（講演） 12月22日～1月14日（e-ラーニング） 「注射薬を安全に投与するために」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成（有・無）</p> <p>・手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>1. 医薬品の採用を審議する薬事委員会の開催及び適正運用の実施</p> <p>2. 医薬品の購入及び麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、嚴重管理薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施</p> <p>3. 患者に対する安全な医薬品供給のための処方、調剤、交付、指示出し・指示受け、過誤防止対策、薬剤管理指導等の実施</p> <p>4. 医薬品の情報の収集及び提供の実施</p> <p>5. 医薬品の使用に関する教育・研修の実施</p> <p>6. 各部門における手順書に基づいた業務実施状況の確認 等</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</p> <p>・未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腸管不全合併肝障害に対するOmegavenの使用 ・院内製剤の調製及び使用について（リドカインクリーム10%） <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>未承認医薬品については臨床倫理審査委員会にて承認が得られたもののみを使用するルールをとり、当該委員会で審議するための必要情報を収集するなどの対応をしている。</p> <p>院内製剤についても、日本病院薬剤師会の指針に則りクラス分類を導入し、クラスに応じた審査を取り入れている。また、使用後の評価も徹底する運用としている。</p> <p>その他、医薬品の安全使用に係る医薬品情報は医薬品の安全使用のための措置に係る実施担当者（医薬品情報室長）から医薬品安全管理責任者への報告を行い、医薬品安全管理責任者から院内への周知を行っている。</p>	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 23 回
<p>・研修の主な内容： 安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる下記の医療機器に関して、定期的に研修を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器 (2回) ・閉鎖式保育器 (2回) ・血液浄化装置 (2回) ・人工心肺及び補助循環装置 (9回) ・除細動器 (2回) ・新規導入の機器 (2回) ※Eラーニングによるものを含む。 ・診療用高エネルギー放射線発生装置 (リニアック) の安全講習会 (年2回) ・診療用放射線照射装置 (アフターローディング) の安全講習会 (年2回) 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・機器ごとの保守点検の主な内容： 診療用高エネルギー放射線発生装置 (リニアック)、診療用放射線照射装置 (アフターローディング)、生命維持管理装置 (人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・閉鎖式保育器)、当院で定めた機器 (CT・MRI・血管造影装置・核医学診断装置、輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニター 等)</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容： 医療法施行規則第9条の23第1項第8号に則り、未承認医療機器については臨床倫理審査委員会にて承認が得られたもののみを使用するルールをとり、当該委員会で審議するための必要情報を収集するなどの対応をしている。 臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができている。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者の資格 (医師・歯科医師) ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 「千葉大学医学部附属病院における医療安全管理に関する基本方針」第2の1において、千葉大学医学部附属病院規程第6条第6項の規定により医療安全管理責任者に任命された副病院長は、医療安全管理部、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等を統括すると定めている。本院の医療安全管理責任者である常勤医師の副病院長は医療の質・安全管理委員会等に出席し組織的に医療事故防止について検討し、患者に安全・確実な医療を提供するため病院長と共に医療安全管理対策に取り組んでいる。 	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (10名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 「千葉大学医学部附属病院医薬品に関する安全管理規程」において、医薬品安全管理責任者は医薬品の安全使用のための措置に係る実施担当者を指名し、医薬品の安全使用のための業務に資する医薬品に関する情報の整理、周知及び当該周知状況の確認を行わせることとしている。 医薬品情報室長を実施担当者として指名し、病院における未承認等の医薬品の使用のための処方状況や、採用されている医薬品全般の医薬品の添付文書情報のほか、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等からの情報を広く収集し、管理するとともに、得られた情報のうち必要なものは院内全教職員へメールにて周知を行っている。また、特に周知状況の確認が必要と思われる重要周知事項については、全職員がシステムからログインして閲覧を行う事により、閲覧状況を確認できる方策をとっている。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 「千葉大学医学部附属病院医薬品に関する安全管理規程」において、医薬品安全管理責任者は医薬品の安全使用のための措置に係る実施担当者を指名し、未承認等の医薬品の使用に関し、当該未承認等の医薬品の使用状況の把握のための体系的な仕組みの構築並びに当該仕組みにより把握した未承認等の医薬品の使用の必要性等の検討の状況の確認、必要な指導及びこれらの結果の共有を行わせることとしている。 薬剤師ゼネラルリスクマネージャーを実施担当者として指名し、未承認新規医薬品等担当部門と連携を取ることで、院内における未承認新規医薬品等の使用の適否決定状況及び適正使用の確認を行っている。 ・ 担当者の指名の有無 (有) ・ 無) ・ 担当者の所属・職種： (所属：薬剤部，職種：薬剤師 (医薬品情報室長)) (所属：薬剤部，職種：薬剤師 (GRM)) 	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 診療情報管理委員会において、説明・同意文書の新規作成・更新の際に、「病院として定めた必要項目が記載されているか」について確認を行い、承認された文書のみ使用する。 また、診療情報管理士が、各診療科が説明に使用する文書を適切に使用しているか、文書を用いて説明を行った際に、診療録にも説明時の状況や患者の反応の記載がなされているか等、遵守状況を確認(監査)し、説明書の追記が必要な部分に追記がない、診療録に説明時の状況等の記載がないなど不適切な場合は指導を行っている。 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学医学部附属病院診療情報管理規程に基づき、診療録等の記載内容の確認および監査を行っている。 ・入院基本情報、入院診療計画、医療行為等の説明と同意、経過記録、退院時サマリー等を対象とした多職種監査を定期的実施し、その結果を診療情報管理委員会に報告している。また、監査結果は、診療情報責任者ならびに診療情報管理ワーキンググループ委員に対して報告し、記載方法等の指導をしている。 ・監査結果の報告を受けた診療情報責任者は、速やかに対策を講じ、その結果を診療情報管理責任者へ報告している。 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従(4)名、専任(1)名、兼任(23)名 うち医師：専従(1)名、専任(0)名、兼任(12)名 うち薬剤師：専従(1)名、専任(0)名、兼任(2)名 うち看護師：専従(2)名、専任(0)名、兼任(2)名 (注)報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療の質・安全管理委員会に係る事務 2. 事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又家族への説明、当該事象の発生原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく病院職員への必要な指導 3. 医療に係る安全管理に係る連絡調整 4. 医療に係る安全の確保のための対策の推進 5. 医療安全の確保に資する診療状況のモニタリング 6. 全病院職員に対する医療安全に係る教育・研修の企画、実施及び医療安全に関する認識状況の確認 7. 各部署における医療安全対策の実施状況の評価に基づく、医療安全確保のための業務改善計画書の作成及びそれに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果の記録 8. 医療の質・安全管理委員会との連携状況、医療安全に係る職員研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録 9. 医療安全に係る取組み及びその評価を行うカンファレンスの実施 10. その他医療安全の推進に関する事 	

※診療状況のモニタリングとしては、医療の質・安全管理委員会へ転倒・転落発生率、損傷発生率、剖検率、Ai 実施率、デスカンファ実施率などを報告している。

※従業者の医療安全の認識についてのモニタリングについては、医療安全管理に係る全職員に対する研修を実施した際に、e-ラーニング等により理解度の把握を行っている。

※平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
本院において高難度新規医療技術を用いて実施する医療行為を対象に、高難度新規医療技術の施行についての申請書や患者に対する同意説明文書を通じ、審査・評価している。承認後は、診療録等の記載内容を確認し、有害事象が生じた場合は速やかに報告を受ける。また、当該高難度新規医療技術が千葉大学医学部附属病院高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等取扱規程に基づいて施行されていたかどうかについても確認を行う。実施後は、完了や中止・中断の有無、有害事象の有無などの結果報告について文書にて報告を受ける。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
本院において未承認新規医薬品等を用いて実施する医療行為を対象に、未承認新規医薬品等の使用についての申請書や患者に対する同意説明文書を通じ、審査・評価している。承認後は、診療録等の記載内容を確認し、有害事象が生じた場合は速やかに報告を受ける。また、当該未承認新規医薬品等が千葉大学医学部附属病院高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等取扱規程に基づいて使用されていたかどうかについても確認を行う。実施後は、完了や中止・中断の有無、有害事象の有無などの結果報告について文書にて報告を受ける。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 434 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 140 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容：
 1. 入院患者が死亡した場合における当該死亡の事実及び死亡前の状況に関する医療安全管理部への報告の実施の状況の確認及び確認結果の病院長への報告に関すること
 2. 入院患者の死亡以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして病院長が定める水準以上の事象が発生したときにおける当該事象の発生の事実及び発生前の状況の医療安全管理部への報告の実施の状況に関する確認及び確認結果の病院長への報告に関すること
 3. 上記の実施の状況が不十分な場合における適切な報告のための病院職員への研修及び指導に関すること

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：東京大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：群馬大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況：

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、訪問調査を取りやめ、紙面調査のみとされ、調査シートに基づき紙面での相互チェックを実施した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況：

患者支援センター内の患者相談窓口もしくは電話にて受付を行い、医療安全管理に関する相談内容の場合は医療安全管理部及び関係者に報告と対応を行う。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況：
 1. 第1回安全セミナー
令和3年 6月23日～7月21日（eラーニング）
「人を動かすのは言葉です」「求められる情報モラルとリテラシー」
「早期のMETコールで重症化予防～RRSとして当院METの役割～」
「病院機能評価にむけてICTからお願いしたいこと」
「当院における抗菌薬適正使用の取組み」「画像診断に係る安全管理」
 2. 第2回安全セミナー
令和3年 12月8日（講演） 12月22日～1月14日（eラーニング）
「血液培養について ～みなさんへお願い～（AST）」
「手指衛生と个人防护具について（ICT）」「注射薬を安全に投与するために」
「情報の保護・管理に関する最新情報」「医療機器の一元管理と医療機器管理システムの利用方法」
「部位確認、病理診断報告書と標本の取り扱い、同意取得の際のカルテ記載の留意点について」

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況：

- ・ 管理者 : 令和3年12月23日 2021年度特定機能病院管理者研修
公益財団法人日本医療機能評価機構主催
- ・ 医療安全管理責任者 : 令和4年2月14日 2021年度特定機能病院管理者研修
公益財団法人日本医療機能評価機構主催
- ・ 医薬品安全管理責任者 : 令和3年12月8日 2021年度特定機能病院管理者研修
公益財団法人日本医療機能評価機構主催
- ・ 医療機器安全管理責任者 : 令和4年2月14日 2021年度特定機能病院管理者研修
公益財団法人日本医療機能評価機構主催
- ・ 医療放射線安全管理責任者 : 令和4年2月2日 2021年度特定機能病院管理者研修
公益財団法人日本医療機能評価機構主催

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価「一般病院3」を2021年7月13日より15日にかけて受審。2022年8月30日に改善要求のあった審査項目について再審査を受審した。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

なし（準備中）

・評価を踏まえ講じた措置

- ①説明同意書について管理部署の承認を得た書式を使用する仕組みを作るとともに、使用状況を把握するためのカルテ監査体制を構築した。
- ②手術部位感染サーベイランスの対象診療科を拡大し、術後感染の発生を評価／分析して改善するサイクルを構築した。
- ③コロナ禍で中断されていたBLS訓練を再開し受講歴の一元的管理を開始した。
- ④診療業務に関するマニュアル等の文書一元管理を開始した。
- ⑤病棟において注射用抗がん薬を投与する際、投与前・中・後の患者の状態や反応等の観察記録を残す仕組みを構築した。
- ⑥病棟において抗がん薬投与に関わる際、職員の曝露対策として個人防護服等の着用ルールが遵守されるように研修を実施し、定着させるための定期的なラウンド評価を開始した。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 一 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力 二 組織管理能力等の当該病院を管理運営する上で必要な資質及び能力 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <p>本学ホームページ及び本院ホームページにて選出基準を掲載している。</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有 ・ 無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>一 病院規程その他規程等の制定改廃に関する事項</p> <p>二 病院に関する将来計画，中期目標及び年度計画に関する事項</p> <p>三 病院に関する予算の作成及び決算に関する事項</p> <p>四 病院，診療科，中央診療施設その他の重要な組織の設置又は廃止に関する事項</p> <p>五 執行部会において必要と判断された重要事項</p> <p>六 その他病院の管理・運営・診療に関する重要事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>議事要録を院内ホームページへ掲載している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>本学ホームページへ掲載している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
横手 幸太郎	○	医師	教授
吉野 一郎		医師	教授
磯野 史朗		医師	教授
加藤 直也		医師	教授
小林 欣夫		医師	教授
大塚 将之		医師	教授
中島 裕史		医師	教授
大鳥 精司		医師	教授
箭内 博子		看護師	看護部長

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
相馬 孝博		医師	教授
井上 貴裕		事務職員	特任教授
多田 典史		事務職員	事務部長
猪狩 英俊		医師	教授
花澤 豊行		医師	教授
伊藤 彰一		医師	教授
金田 篤史		医師	教授
堺田 恵美子		医師	准教授
浅沼 克彦		医師	教授
小野 啓		医師	准教授
鈴木 拓児		医師	教授
並木 隆雄		医師	准教授
瀧口 裕一		医師	教授
松宮 護郎		医師	教授
松原 久裕		医師	教授
長嶋 健		医師	准教授
市川 智彦		医師	教授
中田 孝明		医師	教授
馬場 隆之		医師	教授
猪爪 隆史		医師	講師
鶴澤 一弘		医師	教授
三川 信之		医師	教授
村田 淳		医師	准教授
伊豫 雅臣		医師	教授
岩立 康男		医師	教授
碓井 宏和		医師	准教授
尾本 暁子		医師	助教
濱田 洋通		医師	教授
菱木 知郎		医師	教授

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
宇野 隆		医師	教授
池田 純一郎		医師	教授
生坂 政臣		医師	教授
松下 一之		医師	准教授
大島 拓		医師	准教授
加藤 順		医師	准教授
田口 奈津子		医師	准教授
大曾根 義輝		医師	特任教授
清水 栄司		医師	教授
藤本 肇		医師	特任教授
鈴木 隆弘		医師	准教授
花岡 英紀		医師	教授
竹内 公一		医師	特任准教授
本橋 新一郎		医師	教授
林 秀樹		医師	教授
花輪 道子		技術職員	特任教授
勝野 達郎		医師	准教授
諏訪園 靖		医師	教授
石井 伊都子		薬剤師	教授

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
千葉大学医学部附属病院規程を本院ホームページへ掲載している。
千葉大会計規程を本学ホームページへ掲載している。
- ・ 規程の主な内容
 - <病院規程>
 - 一 本院の目的
 - 二 病院長の権限（診療科長等の任命・解任権限など）
 - 三 本院の組織
 - 四 役職者等の任期及び業務内容
 - 等
 - <会計規程>
 - 一 会計に関する目的、概要等
 - 二 会計機関、予算、資金・資産管理等
 - 三 契約・決算
 - 四 予算管理責任者の権限（予算配分、予算執行）
 - 等
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - <副病院長>
副病院長は、経営、安全管理、広報などそれぞれの役割において、病院長の職務を補佐する。
副病院長は、病院長に事故あるときはその職務を代理し、病院長が欠員のときはその職務を行う。
 - <院長補佐>
病院長補佐は、病院長の指示する重要事項について企画・立案等を行う。
 - <企画スタッフ>
病院長企画室を設置し、病院経営及び運営に関する分析、企画及び立案を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - <人事>
副病院長は、病院長が指名し、学長が任命する。病院長補佐は、病院長が任命する。
科長は、当該科に対応する医学研究院の研究領域又は当該科の教授のうちから、病院長が任命する。部長・センター長は医学研究院又は病院の教授のうちから病院長が任命する。
 - <研修>
厚生労働省が主催するトップマネジメント研修（2021年1月26日開催）に、病院長、副病院長等が参加し、医師の働き方改革についての講義聴講、及び意見交換を行った。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容： 監事及び監査室との連携の下、次に掲げる病院業務について監査を行う。 一 医療に係る安全管理に関すること。 二 特定臨床研究の業務執行の状況に関すること。（※） 三 その他委員長が必要と認める病院業務に関すること。 （※）医療安全の観点から、臨床研究中核病院の立入検査と同時開催としている。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・公表の方法： 本学ホームページ及び本院ホームページにて、設置規程及び委員名簿（選定理由についても記載有）、監査結果報告書を掲載している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
宮坂 信之	東京医科歯科大学 名誉教授	○	医療安全識見者 かつ病院管理経験者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
花輪 正明	塩野義製薬株式会社 社薬事部長		臨床研究識見者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	3
藤原 康弘	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 構理事長		臨床研究識見者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	3
東宮 秀夫	一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事・研修事業本部長		臨床研究識見者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	3
山崎 晋一郎	千葉県病院事業管理者		医療安全識見者 かつ病院管理経験者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	3
宗像 令夫	独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部千葉大亥鼻イノベーションプラザチーフインキュベーションマネージャー		臨床研究識見者	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	3

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中谷 晴昭	千葉大学理事		医療及び臨床研究に関する学識経験者	○有・無	3
後藤 弘子	千葉大学大学院社会科学研究院教授		法律学専門家	○有・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
<ul style="list-style-type: none"> ・体制の整備状況及び活動内容 千葉大学監事監査において、管理者の業務が法令に適合することを確認・指導する。 ・専門部署の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・内部規程の整備の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・公表の方法 本学ホームページにて、関係規程を掲載している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 千葉大学役員会において附属病院の業務の監督を行っている。 ・会議体の実施状況（年 14 回 ※うち3回は臨時開催） ※うち定例開催時に、病院の業務監督を行う ・会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年 12 回 ※うち3回は臨時） ・会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・公表の方法 本学ホームページにて、関係規程を掲載している。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：（回答不要）			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・通報件数（年 1 件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・周知の方法 ポスター掲示や院内ホームページで周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページや広報誌、パンフレット等において、特定機能病院としての役割についてわかりやすく案内している。</p> <p>また、各診療科の診療実績を公表するなど、患者さんや地域に向けた情報発信を積極的に行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p>	